

Panasonic[®]

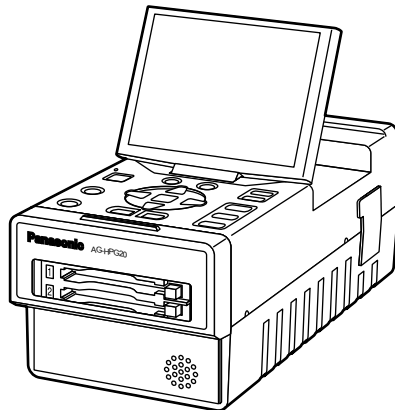
■本機は P2HD 5 年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは 116 ページをご覧ください。

取扱説明書

メモリーカード ポータブルレコーダー

品番 AG-HPG20

P2HD



AVC INTRA DVC PRO HD DVC PRO 50 DVC PRO LX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(7～10 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

F0109T0 -M D
Printed in Japan

JAPANESE

VQT1X50

はじめに

各部の名称

準備

再生

記録

保存

編集

表示

メニュー

ご参考

本機の使いかた

本機は、バッテリー駆動ができるコンパクトな筐体に、2つのP2カードスロットと3.5型の液晶モニター、USB2.0/IEEE1394/コンポジット/SDIなどの多彩な入出力端子を備えた小型P2記録再生機です。P2カメラレコーダーで撮影したコンテンツを手軽に再生することができるほか、P2カードへのバックアップ収録やファイル管理が可能で、屋外フィールドでの収録もサポートします。

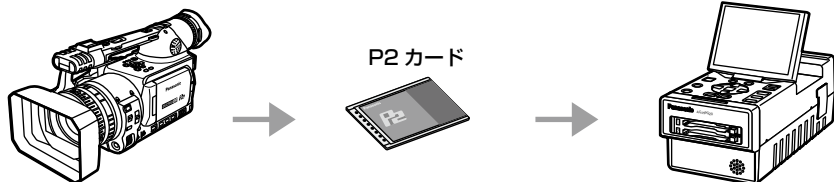
P2カード内のコンテンツを再生する

1 本機の液晶モニターで再生 (→ 55 ページ)

P2カメラレコーダーでP2カードに撮影したコンテンツをその場で再生(映像/音声)することができます。

P2カメラレコーダー

AG-HPG20 (本機)

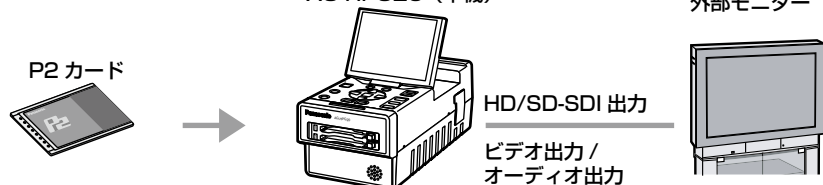


2 外部モニターに出力して再生 (→ 60 ページ)

P2カード内のコンテンツを外部モニターに出力して再生(映像/音声)できます。

AG-HPG20 (本機)

外部モニター



- 再生モード以外では、VIDEO/SDI/1394出力はモニター用途にご利用ください。映像/音声/タイムコード(TC/UB)などが不正になることがあるので、記録用途には適していません。
- P2カードに記録されたコンテンツの記録フォーマットがDVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO25、DVのとき、DVCPRO/DV入出力端子(IEEE1394)からも出力します。(AVC-Intra100、AVC-Intra50は、1394出力に対応していません)

P2カードに記録する

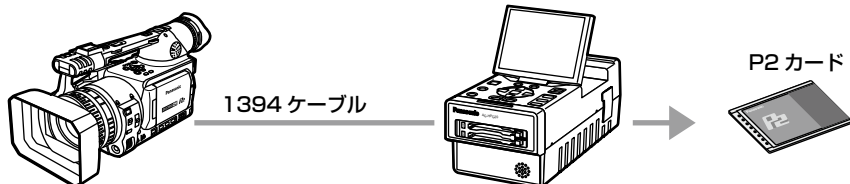
3 1394接続 (→ 61 ページ)

P2カメラレコーダーなど1394(DVCPRO/DVストリーム)出力を備えた外部機器と接続して、P2カードに記録することができます。また、一部のカメラレコーダーから本機の記録開始操作および停止操作ができます。

- 1394入力ではAVC-Intra100、AVC-Intra50での記録はできません。

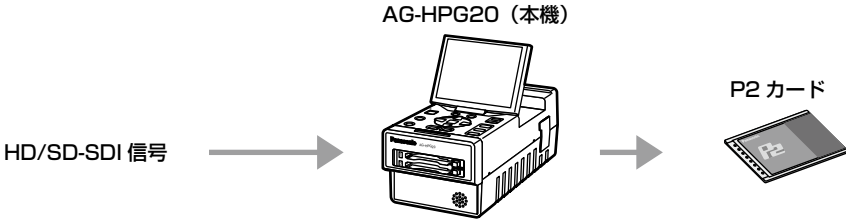
P2カメラレコーダー

AG-HPG20 (本機)



4 HD/SD-SDI 接続 (→ 61 ページ)

HD/SD-SDI 出力を備えた外部機器と接続して、P2 カードに記録することができます。
また、一部のカメラレコーダーから本機の記録開始操作および停止操作ができます。(SDI 入力選択時)
(対応機器については 89 ページを参照してください)



外部ハードディスク (HDD) を利用する

5 外部 HDD に保存 (→ 65 ページ)

P2 カード内のコンテンツを外部 HDD に保存することができます。
また、外部 HDD に保存した P2 コンテンツを P2 カードに戻すこともできます。
(USB HOST モード時のみ)
・ 1394 接続 (ファイル転送) には対応していません。



6 外部 HDD に保存したコンテンツの確認 (→ 76 ページ)

外部 HDD に保存した P2 コンテンツを再生し、確認することができます。(コマ落とし再生となります)
(USB HOST モード時のみ)
・ 1394 接続 (ファイル転送) には対応していません。
・ DVCPRO/DV 入出力端子 (IEEE1394) には出力されません。

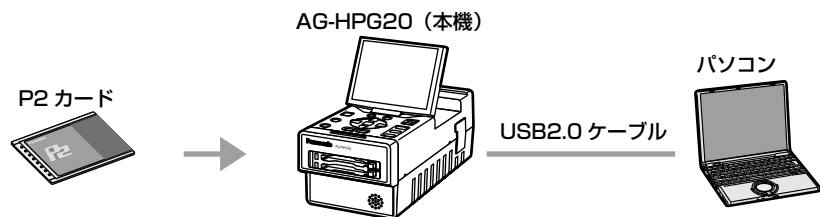


パソコンを利用する

7 パソコンと接続して編集 (→ 77 ページ)

パソコンと USB 接続して P2 カード内のコンテンツをパソコンで編集 (データのやり取りなど) することができます。(USB DEVICE モード)

- 1394 接続 (ファイル転送) には対応していません。



もくじ

本機の使いかた.....	2
安全上のご注意 必ずお守りください.....	7
パナソニック純正バッテリー (充電式電池) ご使用のおすすめ.....	11

はじめに

使用上のご注意.....	12
本書の見かた.....	14
ご使用の前に.....	14
付属品.....	15

各部の名称

各部の名称.....	16
操作部.....	16
機構部 / 入出力端子部.....	17

準備

バッテリーの充電.....	18
充電する.....	18
電源の取り付け・取り外し.....	19
バッテリーの取り付け・取り外し.....	19
電源コードの取り付け・取り外し.....	19
基本の操作.....	20
電源の入れかた・切りかた.....	20
液晶モニターを使う.....	20
メニューの操作.....	21
操作モードについて.....	22
液晶モニターの設定.....	24
年月日・時刻をあわせる.....	25
P2 カードについて.....	26
P2 カードの挿入.....	26
P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について.....	26
P2 カードのフォーマット.....	27
P2 カードの保護について.....	27
P2 カードを取り出す.....	28
P2 カードの記録時間について.....	29
4GB 超でのクリップ分割について.....	29
LOOP REC 記録.....	30
その他.....	30
USER ボタン.....	30
内蔵電池の充電.....	30
SD/SDHC メモリーカードを使う.....	31
SD カードの挿入・取り出し.....	31
SD カードのフォーマット.....	31
SD カード使用上の注意.....	31
SD カードに USER ファイルを保存する.....	32

再生

サムネール表示.....	33
再生フォーマットについて.....	33
サムネール表示画面各部の名称とはたらき.....	33
サムネール表示画面の表示の変更.....	36
表示する項目を設定する.....	37
クリップの管理.....	38
クリップを選択する.....	38
クリップを削除する.....	38
クリップを修復・連結する.....	39
クリップをコピーする.....	40
クリップ情報を表示する.....	41
クリップ情報を編集する.....	43
クリップにメタデータを付加する.....	44
クリップにショットマークを付加する.....	52
P2 カードの状態を表示する.....	52
SD カードの各種情報を表示する.....	54
クリップの再生.....	55
クリップを再生する.....	55
単一クリップ再生.....	56
可変速再生.....	57
クリップおよびテキストメモ送り / 戻し.....	57
早送り / 早戻し再生.....	57
コマ送り再生.....	57
リピート再生.....	57
テキストメモ付加.....	58
テキストメモ位置からの再生.....	58
テキストメモの削除.....	59
テキストメモによるクリップ分割コピー.....	59
サムネール画像の置き換え.....	59
外部モニターに出力して再生する.....	60
出力設定をする.....	60
記録 / 再生時の出力音量調整.....	60
可変速再生時の出力音量調整.....	60

記録

P2 カードに記録する.....	61
記録.....	61
2 スロット連続記録.....	62
ウェーブフォームモニター (WFM) 表示.....	62
タイムコード表示.....	63
記録タイムコードを設定する.....	63
ユーザーズビットを設定する.....	64

保存

P2 カードから HDD にコピーする	65
USB HOST モードに切り替える	66
使用できる HDD	66
HDD のタイプと利用できる機能について	67
HDD のフォーマット	68
カード単位での HDD へのエクスポート	69
クリップ単位での HDD へのエクスポート	70
HDD の情報表示	72
パーティション削除	73
HDD のクリップのサムネール表示	74
HDD のクリップ情報を表示する	74
HDD を接続して利用する	75
HDD から P2 カードへのインポート	75
HDD のクリップの簡易再生 (素材ビューイング用途)	76
HDD のクリップを削除する	76

編集

外部機器で編集する	77
P2 カードのコンテンツを編集する (USB DEVICE モード)	77
USB DEVICE モードで編集する	77

表示

画面の表示	78
通常の表示	78
主な警告表示	80
画面表示内容の選択	83
記録 / 出力対応フォーマット一覧	84

メニュー

設定メニューの基本操作	86
設定メニューを初期化する	86
設定メニューの構成	87
設定メニューの一覧	88
RECORDING SETUP 画面	88
TIMECODE SETUP 画面	91
SW MODE 画面	95
PLAYBACK FUNCTIONS 画面	96
AV OUT SETUP 画面	97
DISPLAY SETUP 画面	101
CARD FUNCTIONS 画面	103
OTHER FUNCTIONS 画面	104
DIAGNOSTIC 画面	105
OPTION MENU 画面	106

ご参考

警告システム一覧表	107
故障?と思ったら (Q&A)	108
本機搭載ドライバーのアップデート	111
お手入れについて	111
結露	111
保管上のお願い	112
P2 カード記録データの取り扱いについて	113
SD/SDHC メモリーカードのご使用について	114
本製品に関するソフトウェア情報	115
保証とアフターサービス (よくお読みください)	116
定格	117

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
 - 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
 - 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
 - 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
 - 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
- ⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- ⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては 12 ページをご参照ください。
- ⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用の AC アダプターで充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

AC アダプターは…



- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）



警告

ポータブルレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使うと、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
⇒ 販売店にご相談ください。



- 乗り物を運転しながら使わない
(事故の誘発につながります。)
⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない
(落雷すると、感電につながります。)



分解禁止

- 分解や改造をしない
(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
(火災や感電の原因になります。)
⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

警告 (つづき)

ACアダプターは…



- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない
[傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]
- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
- たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100V ~ 240V 以外での使用はしない
(感電や火災の原因になります。)
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない
(感電や火災の原因になります。)



- 電源プラグは、根元まで確実に差し込み、ほこり等は定期的に取り
(感電や火災の原因になります。)
⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
⇒ 電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メモリーカードは…



- 乳幼児の手に届くところに置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

ポータブルレコーダーは…



- ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

ポータブルレコーダーや付属品は…



- 本機の放熱を妨げない
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
- 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない
(火災や感電の原因になります。)
- 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
- コードを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)



- 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う
(本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。)
⇒病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。



電源プラグ
を抜く

- 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く
(火災や感電の原因になります。)

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のおすすめ

平素よりパナソニック製品をご愛用頂きまして誠にありがとうございます。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しました。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常な低価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使うときは、本機に水が入らないようお気をつけください。

- 本機やカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります)

磁気を発生する機器（テレビ、テレビゲームなど）から本機を遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺で本機を使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、本機に悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器により本機が悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、本機の電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後本機の電源を入れます。

本機をラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりが本機に入らないようお気をつけください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときにはご注意ください)

ACアダプターとバッテリーについて

- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されずに放電したままになっているとき、[CHARGE] ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも [CHARGE] ランプが点滅し続けるときは、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなることがあります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ：
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion

本機を持ち運ぶとき、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃で本機本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

本機に殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、フル充電でも5分程度しか動作しないこともあります。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

本機からバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます)長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーを本機に入れたり、ACアダプターに付けたりすると、本機やACアダプター側を傷めることがあります。

P2カード・SDカードを破棄／譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について

- 液晶モニターに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 液晶部を固い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷が付く原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部に水滴(露)が付くことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- 本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

端子の保護について

接続端子を使用しないときは、端子部カバーを取り付けておいてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の見かた

本書内のイラストについて

- 本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（→ 14 ページ）のように示しています。

この説明書に記載されている、各種説明、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ご使用の前に

必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前に年月日・時刻、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。（→ 25 ページ）

録画内容の補償はできません

- 本機および P2 カード使用中、万が一不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

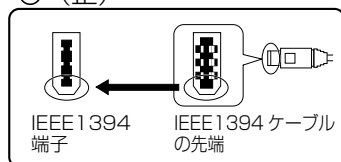
- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

IEEE1394 ケーブルの接続について

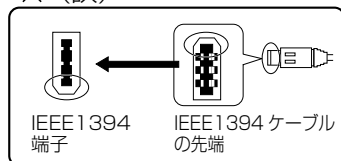
IEEE1394 ケーブル（別売）を接続するときは、以下のことを必ずお守りください。（正しく接続しないと、本機や外部機器の故障につながります）

- 接続されたすべての機器の電源を切ってから、IEEE1394 ケーブルの抜き差しを行ってください。アース（接地）端子がある機器は、すべてアース（接地）した状態（または共通の GND に接続した状態）でご使用ください。
- 4 ピン型の端子を持つ機器と本機を接続するときは、本機の端子（6 ピン型）を先に接続してください。
- IEEE1394 ケーブルの端子には方向性があります。
- 6 ピン型の IEEE1394 端子を搭載している外部端子と接続するときは、下記のように形状を確認して接続してください。

○（正）



×（誤）



- AVC-Intra100、AVC-Intra50 の記録・再生時には DVCPRO/DV 入出力端子 (IEEE1394) からの入出力は行えません。

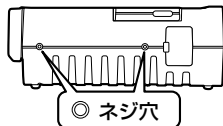
本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

- P2 カード (→ 26 ページ)
- SD/SDHC メモリーカード (→ 31 ページ)

本機のネジ穴について

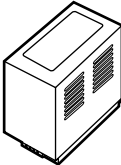
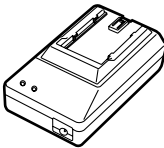

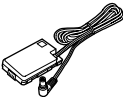

本機の側面にある 4 箇所 のネジ穴には、M5 (5 mm 径) タイプの長さ 10 mm のネジが使用できます。ネジを使用する場合は、無理に締め付けしないでください。また、M5 (5 mm 径) タイプの長さ 10 mm 以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。



反対の側面にも 2 箇所あります。

その他の使用上の注意については 12 ページをご覧ください。

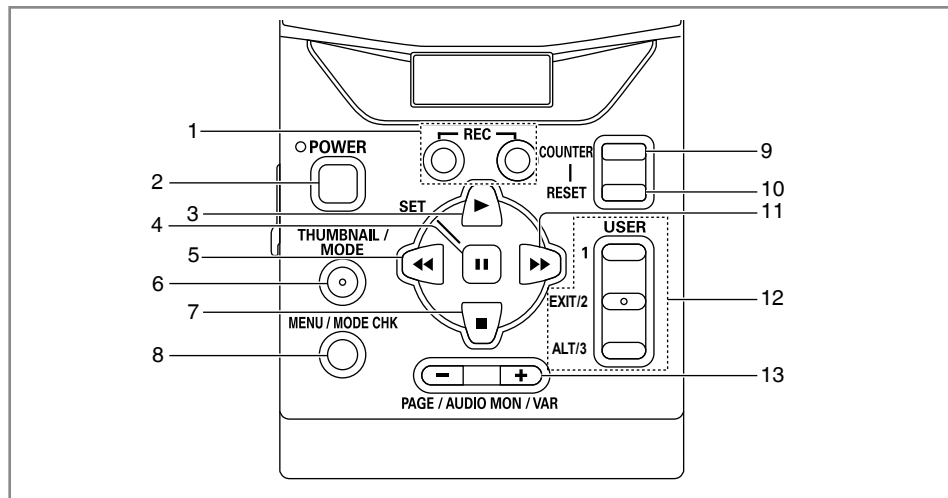
付属品

<p>バッテリー ※</p> 	<p>AC アダプター</p> 	<p>AC コード</p> 	<p>DC コード</p> 
<p>CD-ROM</p> 			

※ 「バッテリー」の品番につきましては、【付属品】(→ 119 ページ)を参照してください。

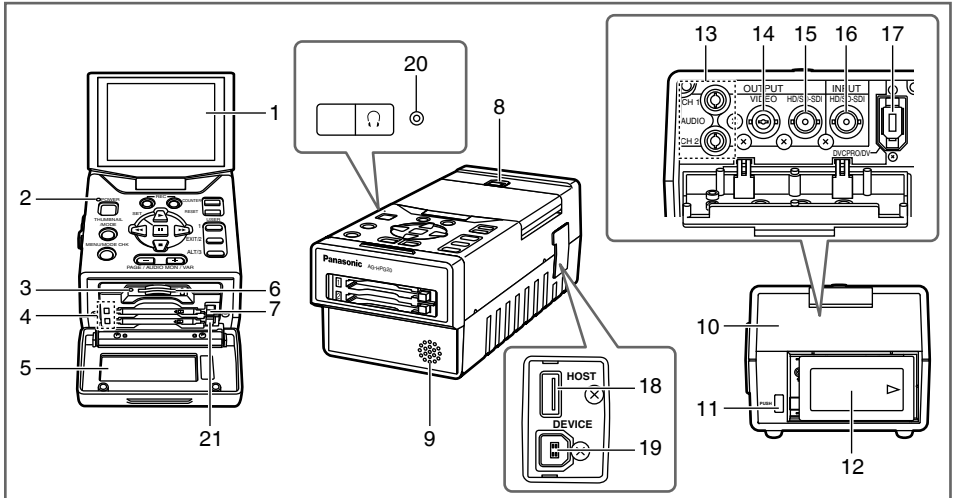
各部の名称

操作部



- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1 REC ボタン (→ 61 ページ) | 9 COUNTER ボタン (→ 63 ページ) |
| 2 POWER ボタン (→ 20、108 ページ) | 10 RESET ボタン
(→ 24、32、63、64 ページ) |
| 3 PLAY ボタン (→ 21、56 ページ) | 11 FF ボタン (→ 21、56 ページ) |
| 4 STILL/SET ボタン (→ 21、56 ページ) | 12 USER/EXIT/ALT ボタン (→ 30 ページ) |
| 5 REW ボタン (→ 21、56 ページ) | 13 PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン
(→ 38、57、60 ページ) |
| 6 THUMBNAIL/MODE ボタン
(→ 22 ページ) | |
| 7 STOP ボタン (→ 21、56 ページ) | |
| 8 MENU/MODE CHK ボタン
(→ 21、30 ページ) | |

•以降ボタン名を [THUMBNAIL/MODE] のように表します。



- | | |
|-------------------------------|--|
| 1 液晶モニター (→ 20、24 ページ) | 13 AUDIO OUT CH1/CH2 端子
(→ 60 ページ) |
| 2 電源表示 LED (→ 20、107 ページ) | 14 VIDEO OUT 端子 (→ 60 ページ) |
| 3 SD カードアクセス LED (→ 31 ページ) | 15 HD/SD-SDI OUT 端子 (→ 60 ページ) |
| 4 P2 カードアクセス LED (→ 26 ページ) | 16 HD/SD-SDI IN 端子 (→ 61 ページ) |
| 5 カードスロットカバー (→ 26、28 ページ) | 17 DVCPRO/DV 入出力端子 (IEEE1394)
(→ 61 ページ) |
| 6 SD カードスロット (→ 31 ページ) | 18 USB HOST 端子 (USB2.0 Type A)
(→ 65 ページ) |
| 7 P2 カードスロット (→ 26 ページ) | 19 USB DEVICE 端子 (USB2.0 Type B)
(→ 77 ページ) |
| 8 液晶モニターオープンボタン
(→ 20 ページ) | 20 ヘッドホン端子 (→ 60、80 ページ) |
| 9 スピーカー (→ 60、80 ページ) | 21 P2 カード取り出しボタン (→ 28 ページ) |
| 10 端子部カバー | |
| 11 バッテリー取り出しボタン (→ 19 ページ) | |
| 12 バッテリー (→ 18 ページ) | |

- HD/SD-SDI IN 端子、HD/SD-SDI OUT 端子に接続するケーブルは、5C-FB 相当のダブルシールドのものを使用してください。
- DVCPRO/DV 入出力端子 (IEEE1394) に接続するケーブルは、ダブルシールドのものを使用してください。

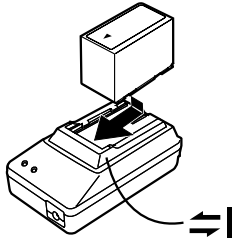
バッテリーの充電

充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、ACアダプターでフル充電を行ってください。また、予備のバッテリーを1本用意されることをおすすめします。

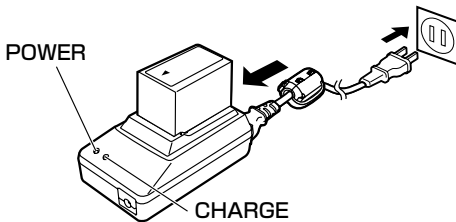
1 ACアダプターの≒マークにそってバッテリーを水平に載せ、スライドさせる

- ACアダプターにDCコードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していますと、充電できません。



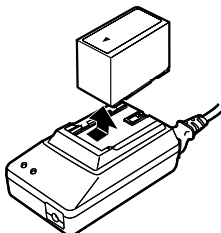
2 ACコードをコンセントに接続する

- ACアダプターのPOWERランプとCHARGEランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けたときにCHARGEランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



- 充電が終わると、ACアダプターのCHARGEランプが消灯します。

3 バッテリーをスライドさせて取り外す



付属のバッテリーの充電時間と再生時間

容量	充電時間	連続再生時間
5400 mAh	約 330 分	約 230 分

- 上の表は、AVC-Intra100モードで再生したときの目安です。
- 上の表は、動作周囲温度 20℃、動作相対湿度 60% での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。

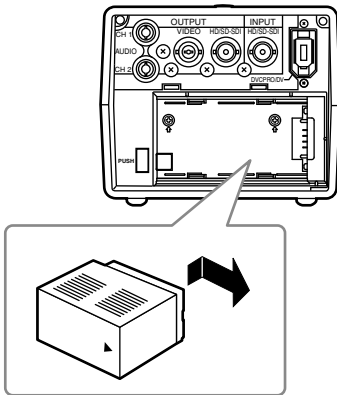
- バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 必要以上に再生と停止を繰り返すと、再生時間は上の表より短くなります。
長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているとき、CHARGEランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGEランプが点滅し続けるときは、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ACアダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ACアダプターから本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。
- バッテリーパック VW-VBD33 (1500 mAh) は動作を保証していません。

電源の取り付け・取り外し

バッテリーの取り付け・取り外し

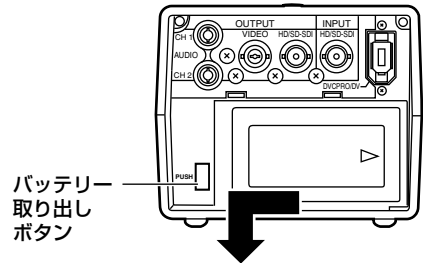
取り付け

- 1 カチッという音がするまでスライドさせ入れる



取り外し

- 1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を OFF にし、電源表示 LED が消灯したことを確認する (→ 20 ページ)
- 2 バッテリー取り出しボタンを押しながらバッテリーを取り外す
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

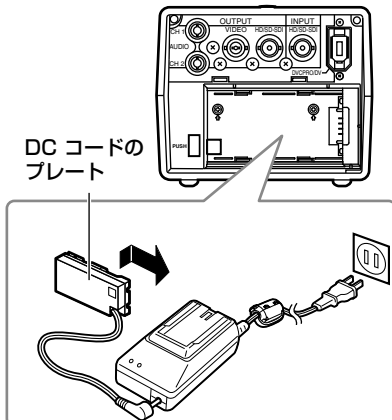


準備

電源コードの取り付け・取り外し

取り付け

- 1 DC コードを AC アダプターに接続する
- 2 AC コードをコンセントに接続する
- 3 DC コードのプレートのカチッという音がするまでスライドさせ入れる



取り外し

- 1 [POWER] を 2 秒以上押して電源を OFF にし、電源表示 LED が消灯したことを確認する (→ 20 ページ)
- 2 バッテリー取り出しボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す
- 3 AC コードをコンセントから抜く

- AC アダプターから本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧 (100 V - 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。
- 本機を使用しないときは、AC コードをコンセントから外してください。

基本の操作

電源の入れかた・切りかた

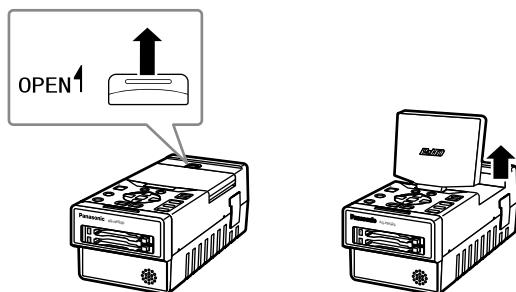
[POWER] を 1 秒以上押す

- 電源表示 LED が点灯し電源が ON になります。
- 電源 ON の状態で [POWER] を 2 秒以上押し続けたままにすると、電源表示 LED が消灯し電源が OFF になります。

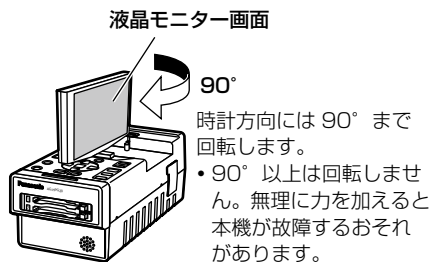
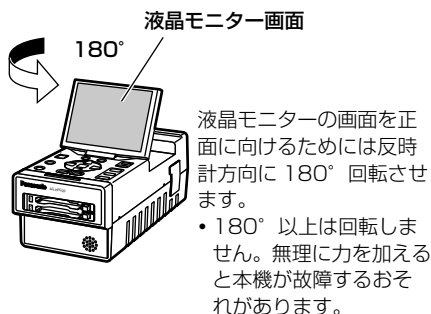
液晶モニターを使う

1 [POWER] を 1 秒以上押して電源を ON にする

2 液晶モニターオープンボタンを矢印の方向に押しながら液晶モニターを起こす



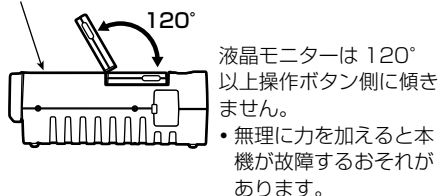
3 液晶の画面が一番見やすい位置にする



液晶モニターは、必ず垂直に起こした状態で回転させてください。



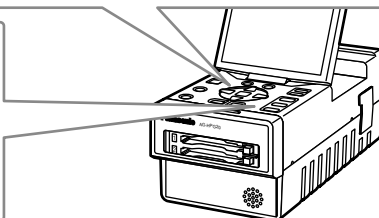
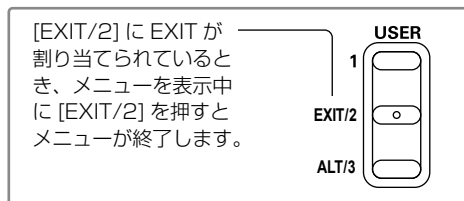
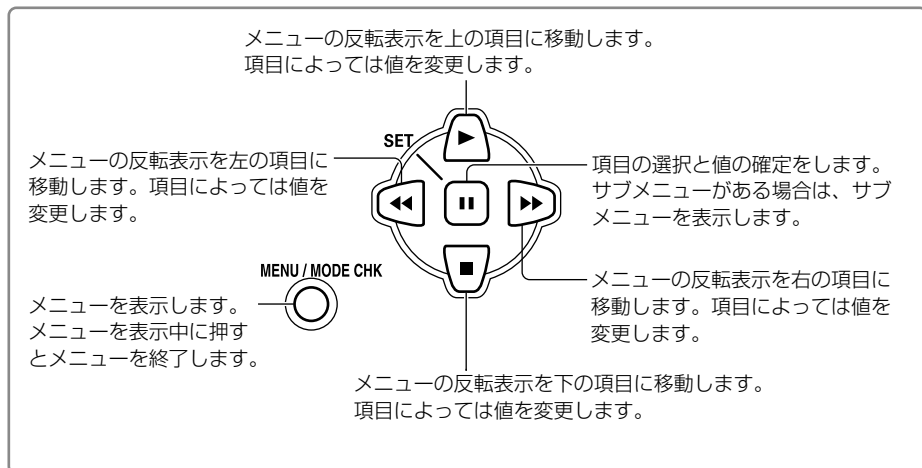
操作ボタン



メニューの操作

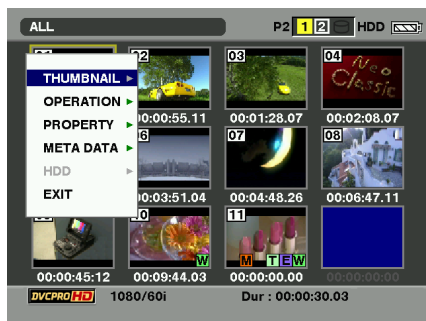
本機には、サムネール表示、通常表示 (SDI/1394 入力記録待機モード、INT SG (→ 89 ページ)、再生待機モードなど)、PC モード (USB HOST モード、USB DEVICE モード) の 3 種類の画面があり、それぞれの画面で [MENU/MODE CHK] を押すと、メニューが表示されます。(USB DEVICE モードでは、メニュー表示がありません)

■ 操作ボタンを押したときのはたらき



■ メニュー操作の例: (サムネール表示画面の場合)

1 [MENU/MODE CHK] を押してメニューを表示させる



2 左、右を押して、メニューの反転表示を移動させて項目を選ぶ

3 上下を押す

- さらにメニューが表示された場合は、手順 2 から 3 を繰り返します。
- 項目によっては、左、右、上、下で値を変更します。
- 項目によっては、確認画面が表示されます。
- 項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

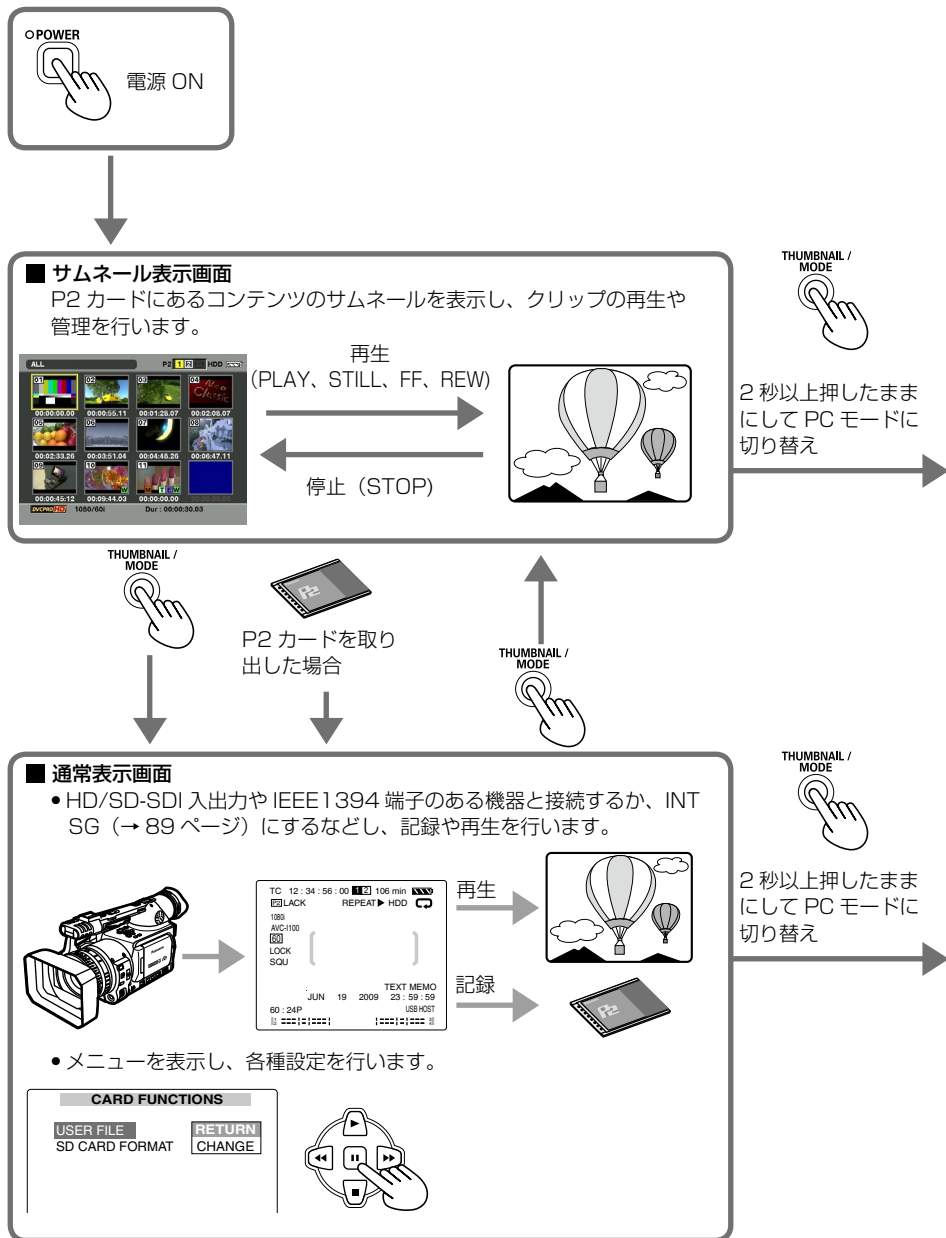
4 [MENU/MODE CHK] を押してメニューを終了する

通常表示画面のメニュー操作は、86 ページの「設定メニューの基本操作」を参照してください。

基本の操作 (つづき)

操作モードについて

本機には、次の3種類のモードがあり、[THUMBNAIL/MODE]を押して切り替えできます。

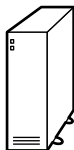
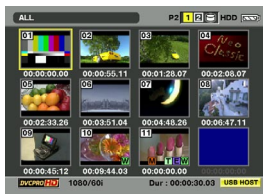


■ PC モード

外部機器と接続し、クリップの保存や管理を行います。接続のしかたや用途によって、「USB HOST モード」、「USB DEVICE モード」があり、各モードの設定は通常表示画面の設定メニューで行います。

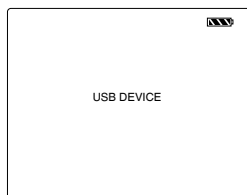
● USB HOST モード

USB 端子のある機器と接続し、接続機器を操作します。



● USB DEVICE モード

USB 端子のある機器と接続し、接続機器から本機の P2 カードのデータを操作します。



THUMBAIL /
MODE



2 秒以上押したままにしてサム
ネール表示画面に戻る

基本の操作 (つづき)

液晶モニターの設定

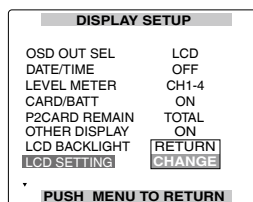
1 [POWER] を 1 秒以上押しして電源を ON にする
液晶モニターに映像が映っていることを確認したあと、画面が一番見やすい位置になるように液晶モニターの角度を調節してください。

2 [THUMBNAIL/MODE] を押しして通常表示画面にする

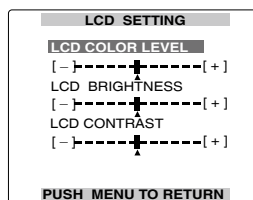
3 [MENU/MODE CHK] を押す

- 設定メニューの基本操作 (→ 86 ページ)

4 ▢、△、□ で設定メニュー「DISPLAY SETUP」
– 「LCD SETTING」で、「CHANGE」を選択する



5 設定する項目を▢、△で選ぶ



LCD COLOR LEVEL: 画面の色濃度を調整します。

LCD BRIGHTNESS: 画面の明るさを調整します。

LCD CONTRAST: 画面のコントラストを調整します。

- すべての液晶モニター調整値を最小にすると、メニュー画面が見えにくくなりますので、お気をつけください。

6 選んだ項目を▷または◁で調整する

- [RESET] を押すと選択項目の調整値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

7 [MENU/MODE CHK] を 3 度押しして、通常表示画面に戻る

年月日・時刻をあわせる

「CLOCK SETTING」の値は、コンテンツ（クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず「CLOCK SETTING」と「TIME ZONE」を確認・設定してください。年月日・時刻を2009年5月25日午後5時20分に設定する手順を示します。

1 [POWER] を1秒以上押して電源をONにする

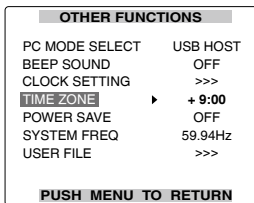
2 [THUMBNAIL/MODE] を押して通常表示画面にする

3 [MENU/MODE CHK] を押す

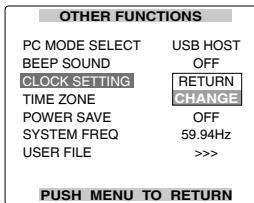
- 設定メニューの基本操作（→86ページ）

4 設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」－「TIME ZONE」で、グリニッジ標準時間からの時差を \leftarrow 、 \rightarrow で変更し、 \square を押す（→104ページ）

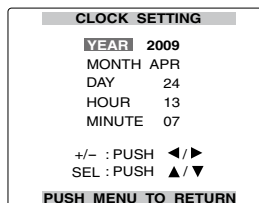
日本で使う場合、「+9:00」（工場出荷時の設定）に設定します。



5 設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」－「CLOCK SETTING」で「CHANGE」を選ぶ

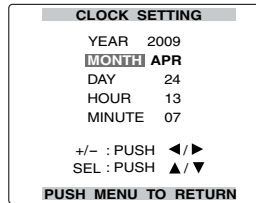


6 \leftarrow または \rightarrow を押して、「YEAR」を「2009」にする

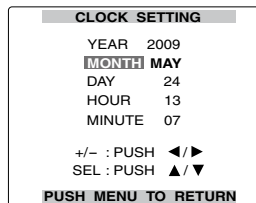


2000 から 2037 まで設定できます。

7 \leftarrow を押して、設定の項目を「MONTH」に移動する

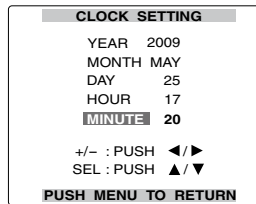


8 \rightarrow または \leftarrow を押して、「MONTH」を「MAY」にする



9 手順7、8と同様の方法で、「DAY」・「HOUR」・「MINUTE」を設定する

- 「HOUR」は24時間表示です。



10 [MENU/MODE CHK] を3度押して、通常表示画面に戻る

- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、「CLOCK SETTING」を現地時間に合わせるのではなく、「TIME ZONE」によるグリニッジ標準時間からの時差入力を行ってください。

P2 カードについて

P2 カードの挿入

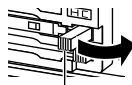
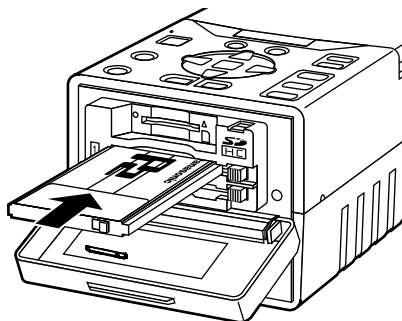
本機を最初に使用するときは、必ず内蔵の時計の設定を、先に行ってください。(→ 25 ページ)

1 [POWER] を 1 秒以上押して電源を ON にする

2 カードスロットカバーを開けて、P2 カードを P2 カードスロットに奥までしっかり差し込み、P2 カード取り出しボタンが飛び出してくるまで押し入れる

- 本機に P2 カードを挿入すると、P2 カードアクセス LED により P2 カードの状態表示を行います。
P2 カードの状態表示については、下表の「P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について」を参照してください。

3 飛び出した P2 カード取り出しボタンを右に倒して、カードスロットカバーを閉じる



P2 カード取り出しボタン

P2 カードアクセス LED と P2 カードの状態について

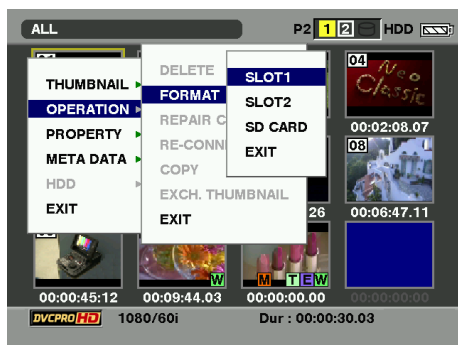
P2 カードアクセス LED	P2 カードの状態
緑色に点灯	書き込み／読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み／読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み／読み出し中です。
オレンジ色の速い点滅	P2 カード認識中です。
緑色の点滅	P2 カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。 P2 カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	P2 カードが正規のフォーマットをされていません。本機でフォーマットをやり直してください。 本機では使用できないカードです。カードを交換してください。 P2 カードが挿入されていません。 USB DEVICE モードで P2 カードにアクセスしていません。

- P2 カードの状態を詳細に確認することができます。
52 ページの「P2 カードの状態を表示する」を参照してください。

P2 カードのフォーマット

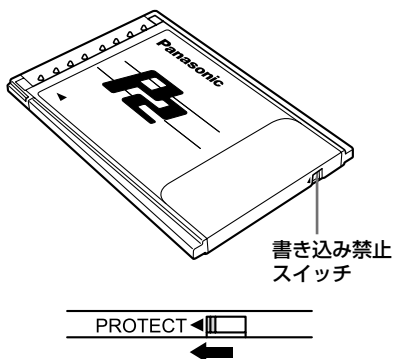
- 1 [POWER] を 1 秒以上押し、電源を ON にする
サムネール表示画面になります。
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 ◁、△、□ で [OPERATION] - [FORMAT] を選んで ◻ を押す
 - 下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選択します。フォーマットしない場合は [EXIT] を選択してください。
 - [MENU/MODE CHK] を押すと、メニュー表示が消えます。
- 4 確認の画面で [YES] を選んで ◻ を押す
 - 選択した P2 カードがフォーマットされます。
- 5 完了メッセージが表示されたら [OK] (◻) を押す

フォーマットを行うと、P2 カードに記録されている内部データはすべて消失しますので、お気をつけください。



P2 カードの保護について

P2 カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2 カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



P2 カードについて (つづき)

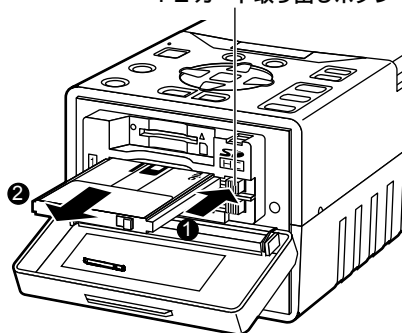
P2 カードを取り出す

- 1 P2 カードアクセス LED が、オレンジ色に点滅していないことを確認する
- 2 カードスロットカバーを開けて、P2 カード取り出しボタンを起こす



- 3 P2 カード取り出しボタンを押し込んで、P2 カードを取り出す

P2 カード取り出しボタン



- 4 P2 カードを取り出したあと、カードスロットカバーを閉じる

- P2 カード故障の原因となりますので、以下の期間は、P2 カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
 - ① P2 カード挿入後、オレンジ色の P2 カードアクセス LED の点滅が、点灯に変わるまでの間。
 - ② 記録中や記録終了処理中、および P2 カードアクセス LED が点滅している間。
 - ③ コピーやフォーマット中など、P2 カードアクセス LED が点滅している間。

- 万が一、フォーマットやアクセス中の P2 カードを取り出した場合、液晶モニターに“TURN POWER OFF”と表示されます。この場合、電源を入れ直してください。
フォーマット中に取り出したとき：
フォーマットをやり直してください。
アクセス中に取り出したとき：
クリップ (→ 33 ページ) が不正規の状態になることがあります。クリップをご確認の上、修復を行ってください。(クリップの修復について → 39 ページ)
- 再生中は、他の空きスロットに P2 カードを挿入しても認識されず、P2 カードアクセス LED は点灯しません。再生が終了してから、P2 カードの認識を始めます。
- サムネールが表示されているとき、P2 カードを取り出すとサムネール表示画面は解除され、通常表示画面となります。

P2 カード使用上の注意

P2 カードは必ず P2 機器でフォーマットしてご使用ください。

P2 カードの記録時間について

容量	DVCPRO/DV Audio 2/4CH	DVCPRO50 Audio 4CH AVC-Intra50 Audio 8CH	DVCPRO HD AVC-Intra100 Audio 8CH*
4 GB	約 16 分	約 8 分	約 4 分
8 GB	約 32 分	約 16 分	約 8 分
16 GB	約 64 分	約 32 分	約 16 分
32 GB	約 128 分	約 64 分	約 32 分
64 GB	約 256 分	約 128 分	約 64 分

※本機では、720p/30pN、720p/24pN、720p/25pN、1080/30pN、1080/24pN、1080/25pN などのネイティブ記録はできません。

- **AJ-P2C002SG (2 GB) のカードは使用できません。**
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- 上記の時間は、1 クリップとして連続記録したときのもので、記録するクリップ数によっては、全体の記録時間は上記より短くなる場合があります。
- P2 カードの種類によっては、本機搭載ドライバーのアップデートが必要になることがあります。(→ 111 ページ)

4GB 超でのクリップ分割について

● P2 カードに記録されるクリップの分割について


本機で 8GB 以上の P2 カードを使用した場合、1 回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2 機器にてクリップのサムネイル操作(表示、削除、修復、コピーなど)を行う場合は、1 つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフトおよびパソコンなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD	約 5 分
DVCPRO50	約 10 分
DVCPRO/DV	約 20 分
AVC-Intra100	約 5 分
AVC-Intra50	約 10 分

P2 カードについて (つづき)

LOOP REC 記録

P2 カードスロットに 2 枚の P2 カードが挿入されているとき、交互にカードを切り替えながら記録する機能です。P2 カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行うことにより、継続的な記録が可能です。LOOP REC 機能を使用するには、設定メニュー「RECORDING SETUP」－「LOOP REC」を「ON」にしてください。(→ 89 ページ)

- 電源を OFF にすると、次回電源投入時に LOOP REC 機能は OFF になります。
- LOOP REC を行うには、それぞれ 1 分以上の記録残量がある P2 カードをご使用ください。
- LOOP REC 中は、P2 カードアクセス LED が、すべてオレンジ色に点灯します。P2 カードを抜くと、LOOP REC は停止しますのでお気をつけください。
- LOOP REC モードのときは、画面表示の 1 行目に LOOP と表示されます。ただし、LOOP REC モードのときでも、カードが 1 枚しか挿入されていない場合、LOOP REC ができません。この場合、「 LACK」と「L-」が点滅します。
- LOOP REC モード時の P2 カード残量は、目安時間です。
- LOOP REC 中はショットマークの付加、解除はできません。
- LOOP REC 中はテキストメモの記録はできません。
- 1394 入力選択時、LOOP REC は行えません。

■ LOOP REC モードを終了するには

以下の 2 通りの方法があります。

- 設定メニュー操作で、「RECORDING SETUP」－「LOOP REC」を OFF に設定する。
- 電源を OFF にする。

その他

USER ボタン

工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

また、USER2 ボタンのみに EXIT、USER3 ボタンのみに ALT 機能を割り当てることができます。詳しくは、設定メニュー「SW MODE」の USER 1～3 項目 (→ 95 ページ) を参照してください。


USER1 : SYS FORMAT

USER2 : EXIT

USER3 : ALT

- [USER] に割り当てた内容は、通常表示画面で [MENU/MODE CHK] を 2 秒以上押したままにすると表示されます。
- モードによっては、割り当てた機能が動作しないことがあります。

内蔵電池の充電


年月日・時刻は内蔵電池を使って記憶させています。液晶モニターの画面に  の表示が出るときは、内蔵電池が消費しています。以下の方法で充電してください。充電完了後、年月日・時刻を設定してください。

1 本機に AC アダプターを接続する

本機の電源は、OFF のままにします。

2 約 4 時間、そのままの状態しておく

内蔵電池が充電されます。

充電後も  が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

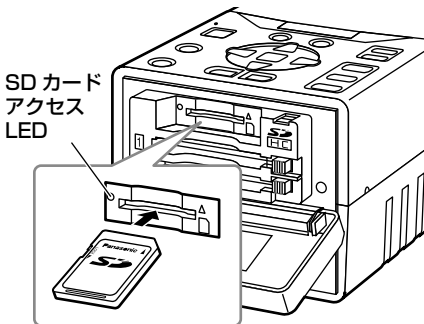
SD/SDHC メモリーカードを使う

SD / SDHC メモリーカード（以後、両カードとも **SD カード** と記載します）を使って、USER ファイルの保存・読み込みができます。（→ 32 ページ）さらに、メタデータアップロードファイルを SD カードに保存しておく、それを読み込んでクリップメタデータとして記録ができます。（→ 44 ページ）

SD カードの挿入・取り出し

<挿入>

- 1 カードスロットカバーを開け、SD カードの向きに注意して入れる
- 2 カードスロットカバーを閉じる

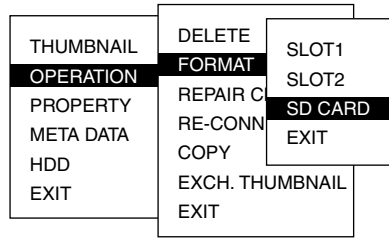


<取り出し>

- 1 カードスロットカバーを開け、SD カードアクセス LED が点灯していないことを確認する
- 2 SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く
- 3 カードスロットカバーを閉じる

SD カードのフォーマット

- 1 [POWER] を 1 秒以上押し続けて電源を ON にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 , , で [OPERATION] - [FORMAT] - [SD CARD] を選んで を押す
 - フォーマットしない場合は [EXIT] を選択してください。



- 4 確認の画面で「YES」を選んで を押す

- 選択した SD カードがフォーマットされます。

- 5 完了メッセージが表示されたら「OK」() を押す

- 設定メニュー「CARD FUNCTIONS」-「SD CARD FORMAT」からもフォーマットできます。（→ 103 ページ）
- SDHC カードの場合、32 KB の容量は使用済みとなります。

SD カード使用上の注意

本機で使用する SD カードは SD 規格 / SDHC 規格に準拠したものをお使いください。また、SD カードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。本機では、以下の容量の SD カードが使用できます。

SD(8 MB ~ 2 GB まで):

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB	128 MB
256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	

SDHC(4 GB ~ 32 GB まで):

4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
------	------	-------	-------

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

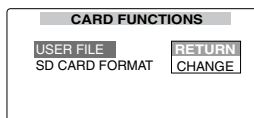
- SD カードを使用する際は、必ずカードスロットカバーを閉じてください。
- 114 ページの「SD / SDHC メモリーカードのご使用について」もご覧ください。

SD カードに USER ファイルを保存する

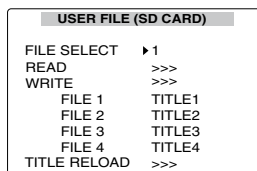
設定した設定値をファイルとしてそれぞれ4つまで、SD カードに保存、読み出しすることができます。

- サムネール表示画面のメニュー設定値については保存、読み出しできません。

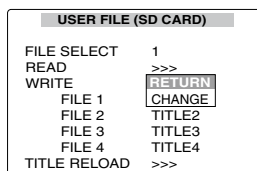
- SD カードをSDカードスロットに挿入する
- [THUMBNAIL/MODE] を押して通常表示画面にする
- [MENU/MODE CHK] を押す
- 設定メニュー「CARD FUNCTIONS」 - 「USER FILE」を選択し、「CHANGE」を選んで[ENTER]を押す
 - 設定メニューの基本操作 (→ 86 ページ)



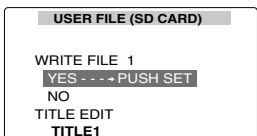
- 「FILE SELECT」を選んで[ENTER]を押す
- [ENTER]または[DOWN]でファイル番号 (1 ~ 4) を選んで[ENTER]を押す



- [ENTER]、[DOWN]で「WRITE」を選んで[ENTER]を押す



- [ENTER]、[DOWN]で「YES」を表示させ、[ENTER]を押す
 - 下図の場合は、「TITLE1」がファイル名になります。
 - 書き込みが完了すると、「WRITE OK」が表示されます。
 - 書き込みされた USER ファイルが白色の表示に変わります。



- [MENU/MODE CHK] を4回押して、通常表示画面にする

ファイルにタイトルを付けるには

- 手順 1 ~ 7 を行う。
- [ENTER]、[DOWN]で文字を選び、[RIGHT]で次の文字に移動する。
 - 入力できる文字数は 8 文字です。
 - 入力できる文字は以下の通りです。
(スペース)、A ~ Z、0 ~ 9、: ; < = > ?
@[¥] ^ _ - . /
 - 本体の [RESET] ボタンで全文字を消去できます。
- すべての入力が終わったら、文字の左端で[LEFT] (または右端で[RIGHT]) を押し、[DOWN]で「YES」を表示させて[ENTER]を押す。
 - 書き込みが完了すると、「WRITE OK」が表示されます。

ファイルを読み出すには

- 手順 1 ~ 6 を行う。
- [ENTER]、[DOWN]で「READ」に移動して「YES」を表示させ、[ENTER]を押す。
 - ファイル読み込みが行われます。
- 読み込み後、「TURN POWER OFF」が表示されたら、一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。読み込んだファイルが設定されます。

SD カードからファイルを再読み込みするには

- 手順 1 ~ 4 を行う。
- [ENTER]、[DOWN]で「TITLE RELOAD」に移動して「YES」を表示させ、[ENTER]を押す。
 - ファイルの再読み込みが行われます。

-
- 「WRITE NG FORMAT ERROR」が表示された場合は、SD カードをフォーマットしてください。(→ 31 ページ)
 - 「WRITE NG WRITE PROTECT」が表示された場合は、SD カードのプロテクトを解除してください。
 - 「WRITE NG CANNOT ACCESS」が表示された場合は、その他の動作 (再生中など) を終了してから操作してください。
 - 「WRITE NG ERROR」が表示された場合は、SD カードの不良が考えられます。交換してください。
-

サムネール表示

P2 カードでの 1 回の撮影によってできた映像データを、**クリップ**と呼びます。本機の電源を ON にしたときに、液晶モニターに各クリップがサムネール表示されます。(クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります)

再生フォーマットについて

本機で再生できるフォーマットは以下になります。

下記のフォーマットを同時にすべて再生できるわけではなく、実際に再生できるフォーマットは設定メニュー「SYSTEM FREQ」に応じたフォーマットのみとなります。

AVC-Intra100、AVC-Intra50

- 1080/60i
- 1080/50i
- 1080/30pN (ネイティブ記録)*
- 1080/24pN (ネイティブ記録)*
- 1080/25pN (ネイティブ記録)
- 720/60p
- 720/30pN (ネイティブ記録)*
- 720/24pN (ネイティブ記録)*
- 720/50p
- 720/25pN (ネイティブ記録)

DVCPRO HD

- 1080/60i (30p over 60i, 24p over 60i, 24pA over 60i)*
- 1080/50i (25p over 50i)
- 720/60p (30p over 60p, 24p over 60p)*
- 720/30pN (ネイティブ記録)*
- 720/24pN (ネイティブ記録)*
- 720/50p (25p over 50p)
- 720/25pN (ネイティブ記録)

DVCPR050/25、DV

- 480/60i (30p over 60i, 24p over 60i, 24pA over 60i)
- 576/50i (25P over 50i)

※ 24p は 23.98p、30p は 29.97p、60p は 59.94p、60i は 59.94i の周波数で動作します。

サムネール表示画面各部の名称とはたらき

サムネール表示画面のメニュー構成 (第 2 階層まで)

THUMBAIL

- ALL CLIP
- SAME FORMAT CLIPS
- SELECTED CLIPS
- MARKED CLIPS
- TEXT MEMO CLIPS
- SLOT CLIPS
- SETUP
- EXIT

OPERATION

- DELETE
- FORMAT
- REPAIR CLIP
- RE-CONNECTION
- COPY
- EXCH. THUMBAIL
- EXIT

PROPERTY

- CLIP PROPERTY
- CARD STATUS
- DEVICES
- PROPERTY SETUP
- EXIT

META DATA

- LOAD
- RECORD
- USER CLIP NAME
- INITIALIZE
- PROPERTY
- LANGUAGE
- EXIT

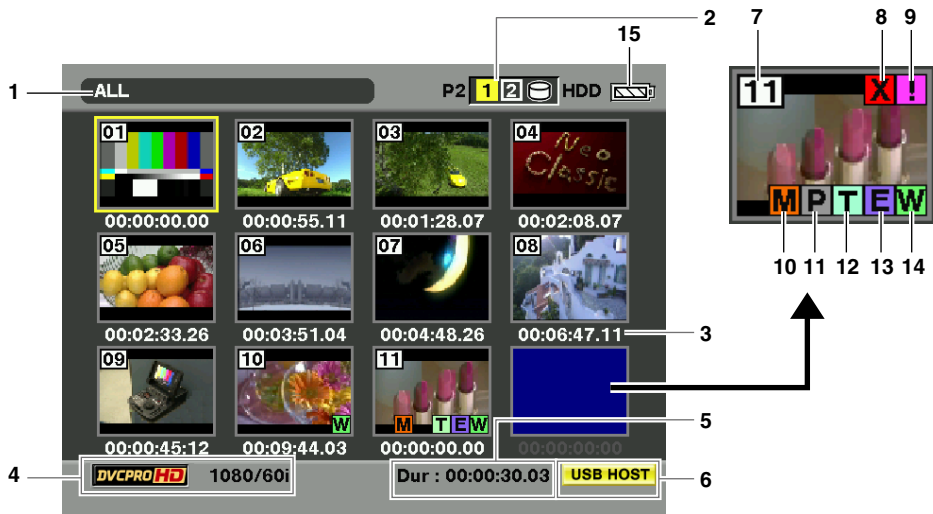
HDD

- EXPORT
- EXPLORE
- SETUP
- EXIT

(次ページへつづく)

サムネール表示 (つづき)

サムネール表示画面各部の名称とはたらき (つづき)



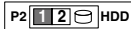
1 表示状態

画面に表示されている情報の種類が、次のように示されます。

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	STILL/SET ボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータがあるクリップ
SLOT n:	n 番スロットの P2 カード内のクリップ
PROPERTY:	クリップの詳細情報
P2/REMAIN:	メディア情報 (残量表記)
P2/USED:	メディア情報 (使用量表記)
META DATA:	本機に設定されたメタデータ

設定メニュー「INPUT SELECT」で SDI を選択し、SDI 入力端子へ信号を入力する場合、設定メニュー「SYS FORMAT」で設定した信号フォーマットと同一の信号を入力してください。違うフォーマットの信号を入力した場合、サムネール表示画面も乱れてしまいます。

2 P2 カードスロット番号・HDD 状態







• P2 カード

	P2 カードが挿入されていないスロット番号が灰色で表示されます。
	P2 カードが挿入されている P2 カードスロット番号が白色で表示されます。
	カーソル位置のクリップが記録されている P2 カードの P2 カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数の P2 カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが黄色で表示されます。

※挿入された P2 カードが以下のような場合に、枠がピンク色で表示されます。

- 「RUN DOWN CARD」
(→ 81 ページ)
P2 カードの規定の書き換え回数を超えています。
- 「DIR ENTRY NG CARD」
(→ 81 ページ)
P2 カードのディレクトリ配置が不規則となっています。

・HDD

 (灰色)	USB HOST モード以外か、USB HOST モードになっているが HDD が接続されていないとき、灰色で表示されます。
 (白色)	USB HOST モードになっていて、使用可能な HDD が接続されているとき、白色で表示されます。
 (黄色)	USB HOST モードになっていて、HDD のクリップがサムネイル表示されているとき、黄色で表示されます。
 (赤色)	USB HOST モードになっていて、HDD がコピー可能な状態でないときに赤色で表示されます。

3 クリップ情報表示

サムネイル表示画面のメニュー設定 (→ 37 ページ) により、クリップの記録開始時点のタイムコード / ユーザーズビット / 撮影時刻 / 撮影日 / 撮影日時 / USER CLIP NAME / SLOT 番号のいずれかを表示します。

4 クリップフォーマット

カーソルの位置のクリップの圧縮フォーマット、映像フォーマットおよびフレームレートが表示されます。

5 デュレーション

カーソルの位置のクリップの長さが表示されます。

6 USB HOST モードインジケータ



USB HOST モードに切り替わっている場合に表示されます。

7 クリップ番号

P2 カード内の正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。再生できないクリップは赤色で表示されます。

8 不良クリップインジケータ

不明クリップインジケータ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。詳しくは「不良クリップの修復」(→ 39 ページ) を参照してください。赤色の不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2 カードをフォーマットしてください。本機でサポートしていないフォーマットのクリップの場合、 の代わりに  が表示されます。

9 不完全クリップインジケータ

複数の P2 カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかの P2 カードが、P2 カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

10 ショットマークインジケータ

サムネイルにショットマークが付加されたクリップに表示されます。

11 プロキシ付きクリップインジケータ

プロキシが付加記録されているクリップに表示されます。

12 テキストメモインジケータ

テキストメモデータがあるクリップに表示されます。

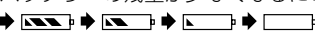
13 エディットコピークリップインジケータ


AJ-HPM110 など、エディットコピー対応機種でエディットコピーを行ったクリップに表示されます。エディットコピーについて、詳しくはエディットコピー対応機種取扱説明書を参照してください。


14 ワイドインジケータ

16:9 の画角で記録されたクリップに表示されます。ただし HD のフォーマットのクリップは表示しません。

15 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、 と変わります。





容量がなくなると、 (または ) が赤色の表示に変わります。

(AC アダプター使用時に  以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

サムネール表示 (つづき)

サムネール表示画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネール表示画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 、、で「THUMBNAIL」の下位の、表示するクリップの種類を選んでを押す



ALL CLIP:	すべてのクリップを表示するとき
SAME FORMAT CLIPS:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示するとき
SELECTED CLIPS:	STILL/SET ボタンで選択したクリップを表示するとき
MARKED CLIPS:	ショットマークが付加されたクリップを表示するとき
TEXT MEMO CLIPS:	テキストメモデータがあるクリップを表示するとき
SLOT CLIPS:	n 番スロットの P2 カード内のクリップを表示するとき
SETUP:	サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。
EXIT:	1 つ前のメニューに戻ります。

表示する項目を設定する

用途にあわせ、サムネールの表示方法をカスタマイズできます。サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。

1 サムネール表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 ◁、△、▷で「THUMBNAIL」 - 「SETUP」 の下位の、設定したい項目を選んで◁を押す

INDICATOR: サムネール上のインジケータの表示／非表示を設定する

ALL HIDE 選択する場合、インジケータをすべて非表示
選択しない場合、以下の
メニューの設定に従って
インジケータを表示

MARKER ショットマークインジケータ

TEXT MEMO テキストメモインジケータ

WIDE ワイドインジケータ

PROXY プロキシインジケータ

DATA DISPLAY: クリップ情報表示部 (→ 35 ページ)
に表示する内容を選択する

TC タイムコード

UB ユーザーズビット

TIME 記録時刻

DATE 記録日

DATE TIME 記録日時

USER CLIP NAME ユーザークリップ名の
先頭の最大 15 文字
(英語表示の場合)

SLOT スロット番号

DATE FORMAT: 記録日時の表示書式を選択する

Y-M-D 年月日

M-D-Y 月日年

D-M-Y 日月年

- この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、DATA DISPLAY で DATE を選択したときに表示される記録日時、およびメタデータのロードなど各種ファイル表示の作成日時にも反映されます。

THUMBNAIL SIZE: 画面に表示されるサムネールの大きさ

LARGE 大きい (横 3 × 縦 2 でサムネールを表示)

NORMAL 標準 (横 4 × 縦 3 でサムネールを表示)

PLAYBACK RESUME: 再生を停止したクリップからカーソルを動かさなかった場合に、次の再生を停止した位置から行う

ON 停止位置から再生

OFF クリップの先頭から再生

THUMBNAIL INIT: サムネールの表示設定を、工場出荷時の設定に戻す

SORT: サムネール表示におけるクリップ表示の順番を設定する

OFF 標準

SLOT スロット番号で表示をソート

EXIT: 1 つ前のメニューに戻ります。

_____ は工場出荷時の設定です。

クリップの管理

クリップを選択する

サムネール表示画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを次のように選択します。

1 △、▽、◀、▶を操作し、再生したいクリップにカーソル（黄色い枠）を合わせる

カーソルを左右に移動するときには、◀または▶で移動します。また、[ALT/3] を押しながら◀または▶でも移動します。

カーソルを上下に移動するときには、[ALT/3] を押しながら△または▽で移動します。

本書では、以降この操作を**十字カーソル操作**と呼びます。

2 □を押す

カーソルをあわせたクリップに青緑色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。



- USER ボタンに機能を割り当てる方法は、「USER ボタン」(→ 30 ページ) を参照してください。
- [ALT/3] に ALT 機能を割り当てていない場合、[ALT/3] は機能しません。
- 1 ~ 2 の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、[ALT/3] を押しながら□を押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置のクリップをまとめて選択できます。
- ページ移動をするには、◀▶ の◀または▶を押します。

選択を解除するには

1 選択状態のクリップにカーソルをあわせ、再度□を押す

選択が解除されます。

- [ALT/3] を押しながら [EXIT/2] を押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。

クリップを削除する

不要なクリップは、次の操作で P2 カードから削除できます。

1 サムネール表示画面にする

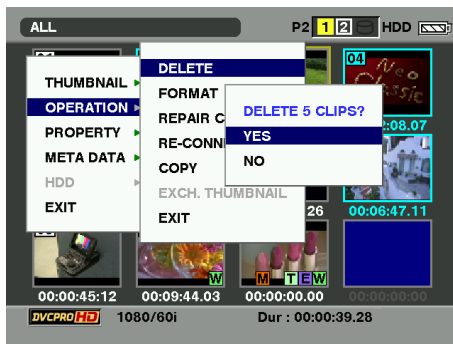
2 削除するクリップを選択する

3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 ▽、△、◀、▶で「OPERATION」 - 「DELETE」を選んで□を押す

5 「YES」を選んで□を押す


6 完了メッセージが表示されたら「OK」(□)を押す









- [X] 不良クリップインジケータや [?] 不明クリップインジケータが表示されたクリップは、削除できないことがあります。

クリップを修復・連結する


不良クリップの修復






記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケーター（黄色の ）が表示されます。不具合のあるクリップは、次の操作で修復できます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 修復するクリップを選択する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 、、で「OPERATION」－「REPAIR CLIP」を選んでを押す
- 5「YES」を選んでを押す

• 壊れ方によっては修復できないときがあります。そのときは赤色の が表示されます。

不完全クリップの連結

複数の P2 カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ（インジケーター）になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ（元の連結したクリップ）に復元することができます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 連結する不完全クリップを選択する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 、、で「OPERATION」－「RECONNECTION」を選んでを押す
- 5「YES」を選んでを押す

不完全クリップは以下のようなときにできます。

- 複数の P2 カードに記録されたクリップを、P2 カードごとに別々にコピーしたとき。
- 複数カードに記録されたクリップを、カードごとに別々に HDD へコピー後、P2 カードへ書き戻したとき。
- AVC-Intra100、DVCPRO HD で約 5 分以上（AVC-Intra50、DVCPRO50 では約 10 分以上、DVCPRO、DV は約 20 分以上）のクリップを HDD へコピー後、P2 カードに書き戻したとき。

- 通常、不完全クリップインジケーターのサムネールは、並んで表示されています。
- 3 つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップインジケーターが付いたままになります。

クリップの管理 (つづき)

クリップをコピーする

クリップを、別の P2 カードスロットの P2 カードにコピーできます。

- コピー中に電源を OFF にしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結したあとでコピーしてください。

1 サムネイル表示画面にする

2 コピーするクリップを選択する



3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 、、 で「OPERATION」 - 「COPY」 - 「SLOT n」(コピー先 P2 カードスロット番号) を選んで を押す

5 「YES」を選んで を押す

クリップのコピーが開始されます。





- 途中でコピーを中止するには、 を押して「YES」を選んでキャンセルしてください。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ (GLOBAL CLIP ID が同じ) が存在するときは、「OVER WRITE」と表示されます。上書きを行うときは「YES」を、コピーを行わないときは「NO」を選択し、 を押してください。(複数の P2 カードにまたがって記録されたクリップを部分的にコピーした場合、そのクリップの残りの部分をコピーするときにも「OVER WRITE」と表示されます)

6 完了メッセージが表示されたら「OK」() を押す

次のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。

- 「[LACK OF REC CAPACITY!]
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
- 「[UNKNOWN CONTENTS FORMAT!]
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
- 「[NO COPY TO SAME CARD!]
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われません。
- 「[TOO MANY CLIPS!]
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。
- テキストメモ画面下段でテキストメモ選択中にコピーを行うと、選択したテキストメモ位置とその次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの最後までをコピーします。

-  不良クリップインジケータが表示されたクリップは、コピーできません。
-  不明クリップインジケータが表示されたクリップは、コピーできないことがあります。

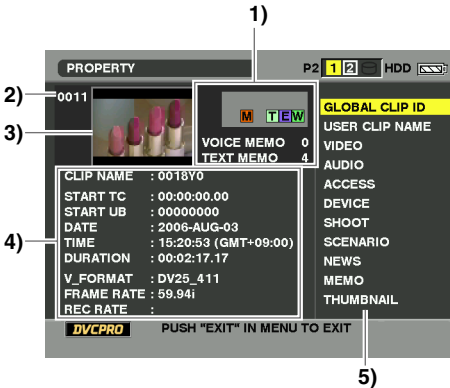
クリップ情報を表示する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 十字カーソル操作し、対象のクリップにカーソルをあわせる
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 \square 、 \triangle で「PROPERTY」を選んで \square を押す
- 5 表示されたサブメニューの「CLIP PROPERTY」を選んで \square を押す



対象のクリップに関する情報が表示されます。



1) クリップ付加情報 (→ 35 ページ)

クリップに付加された各種インジケーター、付加されているテキストメモやボイスメモの数が表示されます。また、クリップが記録された P2 カードに、ライトプロテクトがかかけられているとき、 \mathbb{P} マークが表示されます。

- \mathbb{V} ボイスメモ/インジケーター
ボイスメモが付加されたクリップに表示されません。クリッププロパティモードのときのみ表示されます。
- 本機ではボイスメモの記録/再生は行えません。

2) クリップ番号

3) サムネール

4) クリップ情報

次の情報が表示されます。

CLIP NAME:	クリップ名
START TC:	記録開始時のタイムコード
START UB:	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE:	記録した日付
TIME:	記録開始時の時刻
DURATION:	クリップの長さ
V_FORMAT:	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE:	再生フレームレート
REC RATE:	記録フレームレート (カメラレコーダーで VFR 記録など特殊な記録をしたクリップで表示される)

\square または \square を押すと、前後のクリップの情報が表示されます。

5) クリップメタデータ

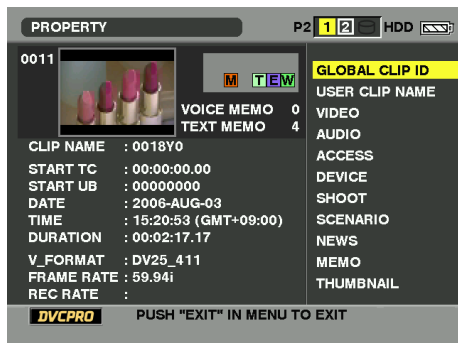
クリップの詳細情報 (クリップメタデータ) を参照するための項目が表示されます。

(次ページへつづく)

クリップの管理 (つづき)

クリップ情報を表示する (つづき)

6 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



◁, ▷ でクリップメタデータの項目を選んで⏎を押すと、次の情報が表示されます。

GLOBAL CLIP ID:	同じ番号が他のクリップに付くことがない、固有の番号
USER CLIP NAME:	ユーザーが付けることのできるクリップネーム 通常は GLOBAL CLIP ID が入っています。
VIDEO:	ビデオ信号方式など(フレームレート、ブルダウン、アスペクト比)
AUDIO:	オーディオの各チャンネル方式など(サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS:	最終更新日など (作成者、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE:	記録した機器のシリアル番号など (機材メーカー名、シリアル番号、モデル名)
SHOOT:	記録開始、終了した日付など (撮影者、撮影開始日、撮影終了日、撮影地情報、高度、経度、緯度、撮影地情報源、撮影地)
SCENARIO:	番組名、シーン No. など (プログラム名、シーン番号、テイク番号)
NEWS:	レポーター、取材対象など (レポーター、取材目的、取材対象)

MEMO:

テキストメモの番号、記録位置、名前、テキスト内容

- 記録位置については、先頭からのフレーム数で表します。サムネールのテキストメモ表示では、この記録位置を TC に直して表示しています。
- テキスト内容は最大 1000 文字添付可能ですが、先頭の 100 文字までを表示します。
- テキストメモの番号は◁または▷で動かしします。














THUMBNAİL:

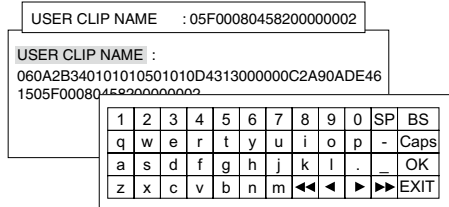
サムネール画像の情報
サムネールの元となる画像のフレーム位置や、サイズ(クリップ先頭からのオフセット、高さ、幅)を表示します。

7 [MENU/MODE CHK] を押して、「EXIT」を選んで終了する

クリップ情報を編集する




クリップの詳細な情報（クリップメタデータ）を編集することができます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 十字カーソル操作し、対象のクリップにカーソルをあわせる
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 , ,  で「PROPERTY」－「CLIP PROPERTY」を選んでを押す
 - クリップ情報が表示されます。
- 5 ,  で編集する項目を選んでを押す
- 6 編集する項目のウィンドウが表示されるので、で項目名を選んでを押す
- 7 ソフトキーボード画面が表示されるので、十字カーソル操作で入力文字を選択、で決定しながら編集する
- 8 十字カーソル操作で「OK」を選んでを押して編集を終了する
 - つづけて項目を編集する場合は、手順 6～8 を繰り返してください。
- 9 ,  で「OK」を選んで項目の表示を終了する
- 10 [MENU/MODE CHK] を押して、「EXIT」を選んでクリップ情報画面を終了する



次の情報が編集できます。

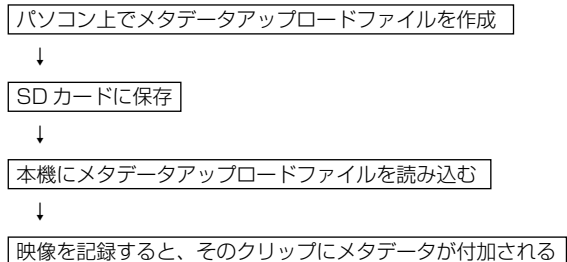
USER CLIP NAME	ユーザーが設定したクリップの名称を表示 初期値はグローバルクリップ ID が設定		
ACCESS	CREATOR	収録者名	
SHOOT	SHOOTER	撮影者名	
	LOCATION	ALTITUDE	撮影地の高度
		LONGITUDE	撮影地の経度
		LATITUDE	撮影地の緯度
SCENARIO	PLACE NAME	場所の名前	
	PROGRAM NAME	番組名	
	SCENE NO.	シーンナンバー	
	TAKE NO.	テイクナンバー	
NEWS	REPORTER	レポーター名	
	PURPOSE	取材目的	
	OBJECT	取材対象	
MEMO	PERSON	クリップに付加されたテキストメモの記録者	
	TEXT	テキストメモの内容	

- 「LONGITUDE」および「LATITUDE」は単独では削除できません。また、削除する場合は、「ALTITUDE」を空白に設定してください。
- 不完全クリップインジケーター  が表示されたクリップのメタデータを修正する場合は、残りのクリップが記録された P2 カードを挿入してください。
- 100 文字以上添付されている MEMO 項目は、修正することができません。
- 「LONGITUDE」または、「LATITUDE」の編集時の項目移動に、 や  を使用することがあります。

クリップの管理 (つづき)

クリップにメタデータを付加する

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイルを SD カードに保存しておく、それを読み込んでクリップメタデータとして記録することができます。



メタデータアップロードファイルの準備

メタデータアップロードファイルは、パソコン上で P2 ビューアーまたは P2 コンテンツマネジメントソフトウェア (最新アップデート版) を使用して作成します。

P2 ビューアーは P2 カードに記録されたクリップを、Windows PC で操作するためのアプリケーションソフトで、下記の URL で無償配布しています。

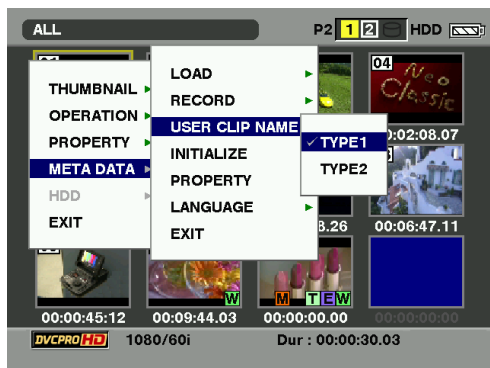
<http://panasonic.biz/sav/p2/>

P2 ビューアーまたは P2 コンテンツマネジメントソフトウェア (最新アップデート版) をパソコンにインストールし、メタデータアップロードファイルを作成して SD カードに書き込んでください。

-
- P2 ビューアーは最新アップデート版をご利用ください。
メタデータアップロードファイルの作成方法については、P2 ビューアーのヘルプを参照してください。
SD カードについては、31 ページを参照してください。
-

メタデータを付加するための設定

メタデータアップロードファイルを本機に読み込むための設定を行います。



■ USER CLIP NAME の記録方法の選択

USER CLIP NAME の記録方法を設定します。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 十字カーソル操作で「META DATA」 - 「USER CLIP NAME」にカーソルを合わせる
- 4 「TYPE1」または「TYPE2」にカーソルを合わせ、**[ENTR]**を押す

記録方法		記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを利用する	TYPE1	読み込んだメタデータ設定値
	TYPE2	読み込んだメタデータ設定値 + COUNT 値
クリップメタデータを利用しない*	TYPE1	GLOBAL CLIP ID と同じ
	TYPE2	CLIP NAME と同じ

*メタデータアップロードファイルを読み込んでいるが、「META DATA」 - 「RECORD」が「OFF」の場合

- 5 [MENU/MODE CHK] を押して、処理を終了する

(次ページへつづく)

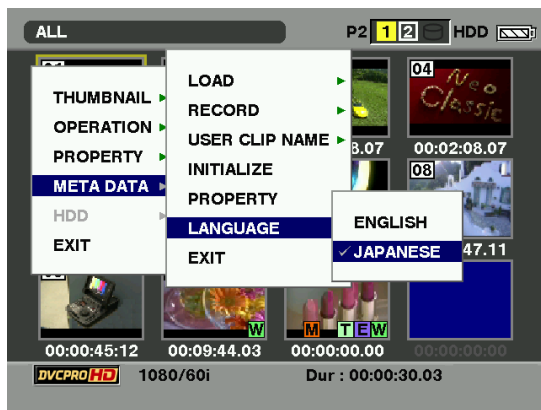
クリップの管理 (つづき)

クリップにメタデータを付加する (つづき)

メタデータの表示言語を設定する

メタデータを表示するときの表示言語を設定します。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 十字カーソル操作で「META DATA」 - 「LANGUAGE」 にカーソルを合わせる



- 4 表示言語にカーソルを合わせ、を押す

ENGLISH : 英語

JAPANESE : 日本語

_____ は工場出荷時の設定です。

-
- 日本語や中国語のメタデータを英語で表示したときやメタデータに英語の非表示文字などがあるときは、正しく表示されず、「*」で表示されます。
-

- 5 [MENU/MODE CHK] を押して、処理を終了する

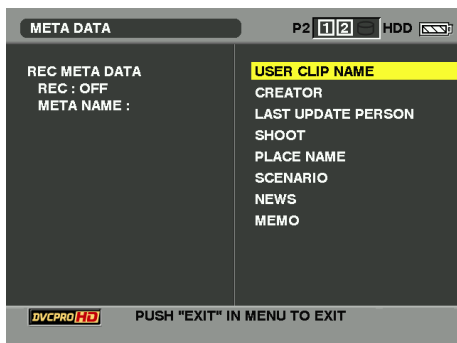
COUNT 値について

COUNT 値は、4 けたの数字で表示されます。USER CLIP NAME の記録方法を「TYPE2」に設定してクリップメタデータファイルを読み込み、P2 カード記録によって新しいクリップを生成するたびに、COUNT 値は 1 ずつ増加します。

■ COUNT 値をリセットするには

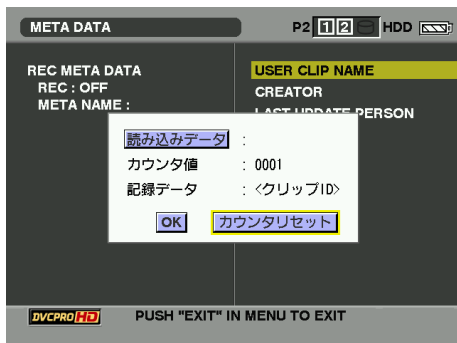
COUNT 値は、次の操作でリセットできます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 十字カーソル操作で [META DATA] - [PROPERTY] - [USER CLIP NAME] にカーソルを合わせ、を押す



- 4 十字カーソル操作で「カウンタリセット」にカーソルを合わせ、を押す

COUNT 値が 1 にリセットされます。



- 5 [MENU/MODE CHK] または [EXIT/2] を押して、処理を終了する

(次ページへつづく)

クリップの管理 (つづき)

クリップにメタデータを付加する (つづき)

4GB 超での USER CLIP NAME の COUNT 値カウントアップについて

次の場合は、1 ショットが複数のクリップとして記録され、そのとき COUNT 値も自動的に 1 ずつ増加して記録されます。

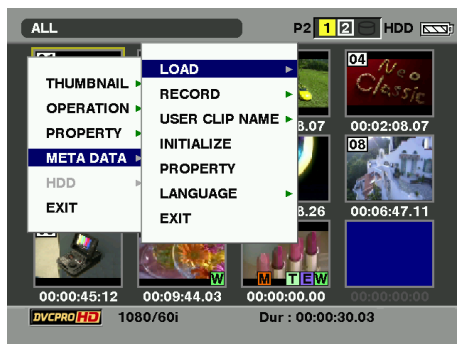
- 本機で 8GB 以上の P2 カードを使用して、1 回の連続記録時間が一定時間を超えると
詳しくは、「4GB 超でのクリップ分割について」(→ 29 ページ) を参照してください。
- 1 回の記録がカードをまたいで記録されたとき

なお、P2 機器でクリップのサムネイル表示およびプロパティ表示を行ったときは、クリップ 1 のサムネイルおよび COUNT 値が表示されます。

メタデータ設定値の読み込み

次の操作で SD カードからメタデータ設定値を読み込みます。

- 1 メタデータアップロードファイルを保存している SD カードを本機に挿入する
- 2 サムネイル表示画面にする
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 十字カーソル操作で「META DATA」 - 「LOAD」にカーソルを合わせ、**[OK]**を押す
SD カード内のメタデータアップロードファイルのファイル名が表示されます。



- 5 十字カーソル操作で、読み込むファイルにカーソルを合わせ、**[OK]**を押す
- 6 「YES」にカーソルを合わせ、**[OK]**を押す
メタデータが読み込まれます。
- 7 [MENU/MODE CHK] を押して、処理を終了する

読み込んだメタデータの確認および修正

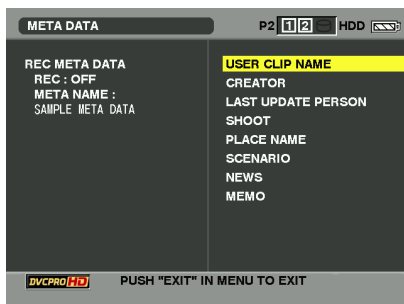
SD カードから読み込んだメタデータの内容を確認・修正できます。

1 [THUMBNAIL/MODE] を押す

液晶モニターにサムネール表示画面が表示されます。

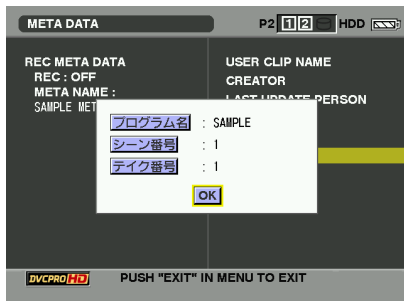
2 [MENU/MODE CHK] を押し、サムネールメニューから「META DATA」 - 「PROPERTY」を選択する

下記のような画面が表示されます。



3 十字カーソル操作でカーソルを動かし、[OK]を押す

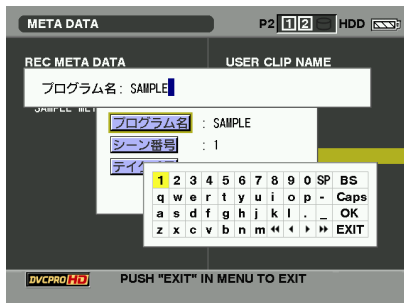
読み込んだメタデータの各設定内容が確認できます。



4 メタデータの各設定内容を確認中に、十字カーソル操作でカーソルを動かし、設定内容を変更したい

項目に合わせて [OK] を押す

ソフトキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。(→ 43 ページ)



(次ページへつづく)

クリップの管理 (つづき)

クリップにメタデータを付加する (つづき)

読み込んだメタデータの確認および修正 (つづき)

十字カーソル操作で確認したいメタデータの項目にカーソルを合わせ、**[OK]**を押すと、情報が表示されます。

USER CLIP NAME:	ユーザークリップネーム
CREATOR:	作成者
LAST UPDATE PERSON:	最終更新者
SHOOT:	撮影者
PLACE NAME:	撮影地
SCENARIO:	プログラム名、シーン番号、テイク番号
NEWS:	レポーター、取材目的、取材対象
MEMO:	メモ入力者、テキスト情報

- 内容を確認できたら、[EXIT/2] または **[OK]** を押します。
情報が表示されていた画面が消えます。
- 設定変更を終了するときには「OK」を選択します。

5 [MENU/MODE CHK] を押して、処理を終了する

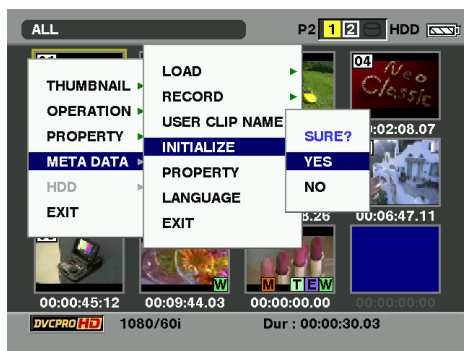
メタデータを削除する

次の操作で本機内部に保存されているメタデータを削除できます。

1 サムネイル表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 十字カーソル操作で「META DATA」 - 「INITIALIZE」にカーソルを合わせ、**[OK]**を押す



4 確認画面で「YES」にカーソルを合わせ**[OK]**を押す

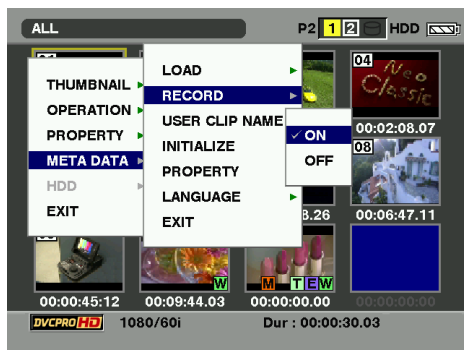
メタデータが削除されます。

5 [MENU/MODE CHK] を押して、処理を終了する

メタデータを付加したクリップの記録

クリップを記録するときに、読み込んだメタデータをクリップに付加します。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 十字カーソル操作で「META DATA」－「RECORD」にカーソルを合わせる



- 4 「ON」にカーソルを合わせ、[ENTER]を押す

この設定により、読み込んだメタデータを映像記録時に同時に記録します。また、USER CLIP NAME は設定した記録方法に従ってメタデータとして付加されます。

- 5 [MENU/MODE CHK] を押して、処理を終了する
- 6 本機で映像を記録する

• 手順 4 で「OFF」に設定したときは、クリップにメタデータは付加されません。

クリップの管理 (つづき)

クリップにショットマークを付加する

ショットマークを付加すると、他のクリップと区別することができます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 十字カーソル操作で、カーソルを対象のクリップにあわせる
- 3 ショットマーク機能を割り当てた [USER] を押す (→ 30 ページ)

ショットマークを解除するには、上記操作を再び行ってください。

1 回の撮影によってできた映像データが複数のクリップで構成される場合、その映像データを構成するすべての P2 カードが、スロットに挿入されていないとショットマークの付加、解除はできません。

- 書き込み禁止スイッチが PROTECT になっているカードには付加できません。
- ショットマークは記録中も付加することができます。(→ 61 ページ)
- 再生中はショットマークの付加、解除はできません。
- LOOP REC 中は、ショットマークの付加、解除はできません。

P2 カードの状態を表示する

P2 カードスロットの状態や P2 カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。

- 1 サムネール表示画面にする
- 2 [MENU/MODE CHK] を押す
- 3 ▢、△、□ で「PROPERTY」 - 「PROPERTY SETUP」 - 「P2 CARD CAP」を選んで□を押す

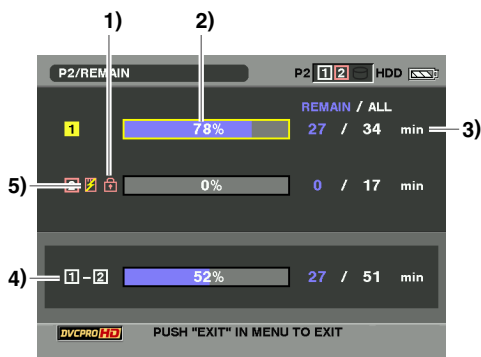
- 4 ▢、△で設定したい項目を選んで□を押す

REMAIN :	残容量表示 (初期値)
USED :	使用済み容量表示

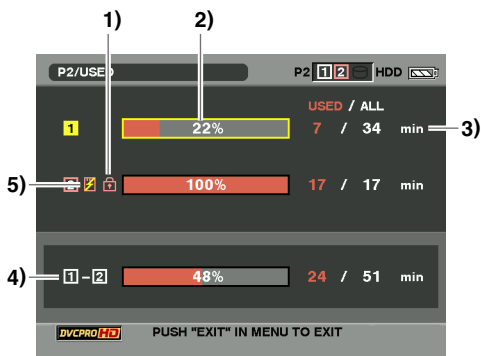
- 5 ◀を押す

- 6 ▢、△で「CARD STATUS」を選んで□を押す


[REMAIN を選択した場合]



[USED を選択した場合]



1) 書き込み禁止マーク



P2 カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

2) P2 カード状態


記録残量表示のときは、P2 カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。使用済み容量表示のときは、P2 カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。また、カードの状態によって次のように表示されます。

FORMAT ERROR:	フォーマットされていないP2カードが挿入されている。
NOT SUPPORTED:	本機に対応していないカードが挿入されている。
NO CARD:	P2 カードが挿入されていない。

P2 カード詳細表示

P2 カード状態表示のスロットにカーソルを合わせてを押すと、P2 カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。もう一度を押すと、詳細情報が消えます。

カードの状態が、次のように表示されます。

BRAND	: Panasonic
MODEL NO.	: AJ-P2C032RG
SERIAL NO.	: AAF07L0520
USER ID	:
	

3) P2 カード残量（または使用容量）／総容量


フォーマットにあわせて、P2 カードの記録残量（または使用容量）／総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2 カードごとの記録残量（または使用容量）の合計と総容量が一致しないことがあります。

4) スロット記録残量（または使用容量）合計

2 つの P2 カードスロットの記録残量（または使用容量）を総合計した数値が表示されます。

- ライトプロテクトがかかっている P2 カードの空き容量は、記録容量に含まれません。

5) P2 カード警告表示

P2 カードの状態が以下の場合にが表示されます。

警告の内容は、P2 カード詳細表示で確認できます。

- [RUN DOWN CARD]:
P2 カードの規定の書き換え回数を超過しています。
- [DIR ENTRY NG]:
P2 カードのディレクトリ配置が不正規となっています。

クリップの管理 (つづき)

SD カードの各種情報を表示する

SD カードの使用状況を画面に表示して確認できます。

1 サムネール表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 ▢、△、□で「PROPERTY」－「DEVICES」 －「SD CARD」を選んで□を押す

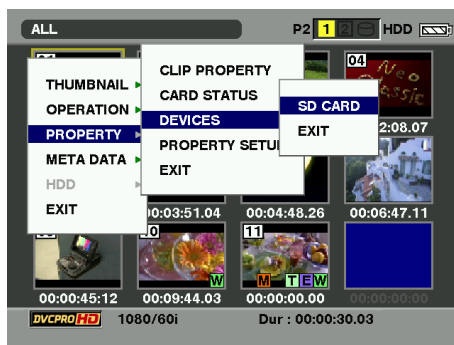
以下の情報が表示されます。

SD STANDARD:	SD カードが SD/SDHC 準拠でフォーマットされているか表示する。
	SUPPORTED : SD/SDHC 準拠
	NOT SUPPORTED : SD/SDHC 非準拠
USED:	使用済み容量 [バイト]
BLANK:	空き容量 [バイト]
TOTAL:	全容量 [バイト]
NUMBER OF CLIPS:	プロキシや P2 カムにて SD カードへクリップコピーを行ったときに、SD カードに入っているクリップ数
PROTECT:	書き込み禁止状態

・本機ではプロキシの記録はできません。

4 ▢を押す

5 [MENU/MODE CHK] を押して処理を終了する



クリップの再生

クリップを再生する

1 サムネール表示画面にする

2 十字カーソル操作で、カーソル（黄色い枠）を 対象のクリップにあわせる

3 〇を押す

カーソルをあわせたクリップから、再生がはじまります。カーソルをあわせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

- [USER]に「TEXT MEMO」を割り当てると（→95ページ）、再生中にテキストメモの付加ができます。（ショットマークの付加はできません）



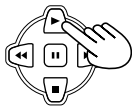




- クリップを再生するときには、クリップを選択（サムネールに青緑色の枠が表示された状態に）する必要があります。
- 不良クリップインジケター や不明クリップインジケター （→35ページ）の表示があるクリップは再生できません。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- サムネール表示設定を変更して（→36ページ）、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが付加されたクリップだけを再生したりすることができます。
- クリップの再生中に \odot を押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。
- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 次回の再生開始位置は、設定メニュー「THUMBNAIL」-「SETUP」-「PLAYBACK RESUME」（→37ページ）の設定に従います。
- 異なったフォーマット（AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV）を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声がかかりますが故障ではありません。
- 外部HDD内クリップの簡易再生を行うこともできます。76ページの「HDDのクリップの簡易再生（素材ビューイング用途）」を参照してください。
- サムネール表示画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモ位置からの再生を行うことができます。58ページの「テキストメモ位置からの再生」を参照してください。
- ホットスワップ再生（複数枚のカードに連続記録されたクリップを、再生しながらカード入れ替え）には対応していません。
- AVC-Intra50、AVC-Intra100フォーマットのクリップを再生した場合、DVCPRO/DV入出力端子（IEEE1394）には出力されません。

（次ページへつづく）

クリップの再生 (つづき)



クリップを再生する (つづき)

再生の基本操作

	<p>再生する (▶) 停止中に押すと、選択されたクリップの先頭*から再生します。再生中に押すと、可変速再生 (→ 57 ページ) になり、× 1 倍速で再生します。 ※「PLAYBACK RESUME」が「ON」のとき、カーソル移動しなければ前回の停止位置から再生します。</p>
	<p>早送り再生をする (▶▶) 再生中に押すと、選択中のクリップ内で早送り再生します。(× 4 倍速) サムネール表示画面でなければ、停止中でも操作できます。押したままにすると、速度が速くなります。(設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」 - 「SPEED MAX」の設定値になります) 一時停止中に押すと、次のクリップもしくはテキストメモに進みます。(設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」 - 「SEEK POS」の設定による)</p>
	<p>早戻し再生をする (◀◀) 再生中に押すと、選択中のクリップ内で早戻し再生します。(× 4 倍速) サムネール表示画面でなければ、停止中でも操作できます。押したままにすると、速度が速くなります。(設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」 - 「SPEED MAX」の設定値になります) 一時停止中に押すと、前のクリップもしくはテキストメモに戻ります。(設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」 - 「SEEK POS」の設定による)</p>
	<p>停止する (■) 再生中に押すと、再生を停止し、サムネール表示画面に戻ります。</p>
	<p>一時停止する () 再度押すと、再生に戻ります。</p>

単一クリップ再生

[USER] に「ONE CLIP」が割り当てられている場合 (→ 95 ページ) は、その [USER] を押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。

- 単一クリップ再生の終了、あるいは  を押したときは、再生が停止しサムネール表示画面に戻ります。このとき、カーソルは次のクリップに移動します。
- 単一クリップの再生中は、 以外無効になります。
- 単一クリップの再生は、「PLAYBACK RESUME」の設定によらずクリップの先頭から開始します。
- 単一クリップの再生中は、テキストメモの付加はできません。

可変速再生





再生速度を変えて、場面を探すことができます。

1 再生中に、△を押す

1X▷が表示されます。

2 を押して、再生速度を切り替える

X▷ / X▷▷またはX</ X<<が表示されます。

- ボタンを押すごとに再生速度が変化します。
(可変速度の最大値は設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」-「SPEED MAX」設定値(→97ページ)に従います)
10倍速より大きい速度では音声は再生されません。ボタンを押し続けると、再生速度が順に変化します。HDDからのクリップ簡易再生においては可変速再生での音声は再生されません。
- で正方向に速度を変化させ、で逆方向に速度を変化させます。
- との同時押しで速度0状態になります。



通常の再生に戻すには、△を押します。

ネイティブ記録された素材の可変速再生(X1倍速を含む)では、ブルダウンシーケンスが均一でないときがあります。

クリップおよびテキストメモ送り / 戻し

1 再生中に、を押して、一時停止状態にする

2 またはを押す

設定メニュー「SEEK POS」の設定値(→97ページ)にしたがいクリップ先頭やテキストメモ位置に移動します。操作中はCLIPまたはCLIP&T , CLIPまたはCLIP&T が表示されます。

早送り / 早戻し再生

1 再生中に、またはを押す





×4倍速で早送り / 早戻し再生します。押したままにすると、速度が速くなります。(最大速度は設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」-「SPEED MAX」設定値(→97ページ)に従います)
操作中は▷▷ または<<が表示されます。

通常の再生に戻すには、△を押します。

コマ送り再生

1 再生中に、を押して、一時停止状態にする

2 を押す

- で正方向にで逆方向にコマ送りします。操作中は  または が表示されます。
- 押し続けると、連続してコマ送りします。

通常の再生に戻すには、△を押します。

リピート再生

選択したクリップを繰り返して再生します。

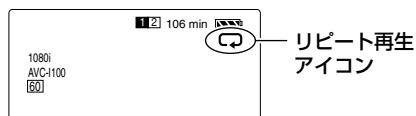
1 [THUMBNAIL/MODE] を押して通常表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 , , で「PLAYBACK FUNCTIONS」-「REPEAT PLAY」-「ON」を選んでを押す

4 [MENU/MODE CHK] を2回押す

通常表示画面にリピート再生アイコンが表示されます。



5 [THUMBNAIL/MODE] を押してサムネール表示画面にする


6 またはで、カーソル(黄色い枠)をリピート再生するクリップにあわせてを押す

7 [MENU/MODE CHK] を押す

8 , , で「THUMBNAIL」-「SELECTED CLIPS」を選んでを押す

9 △を押す

選択したクリップがリピート再生されます。

- が押されるまで、繰り返し再生を行います。
- サムネール表示設定を「SELECTED CLIPS」にしていない場合は、現在表示されている再生可能なすべてのクリップがリピート再生されます。
- リピート再生の設定を「OFF」にするには、手順3で「OFF」を選んでください。
- リピート再生中に早送り / 早戻し再生を行うと、再生可能なクリップの先頭のクリップまたは最後のクリップを再生後に停止します。

クリップの再生 (つづき)

テキストメモ付加

1 記録・再生・サムネール表示中に、「TEXT MEMO」を割り当てた [USER] を押す

- 記録・再生中にこのボタンを押すと、押したときの位置にテキストメモが付加されます。
- サムネール表示画面を表示中にこのボタンを押すと、クリップのサムネール画像がある位置（通常は先頭）にテキストメモが付加されます。

- テキストメモは、1 クリップに最大 100 個付加できます。
- 再生中に「TEXT MEMO」を割り当てた [USER] を押したときに、再生画が一瞬止まることがあります。故障ではありません。
- 1 倍速再生および一時停止時以外はテキストメモを付加できません。
- 単一クリップ再生、LOOP REC 時はテキストメモを付加できません。

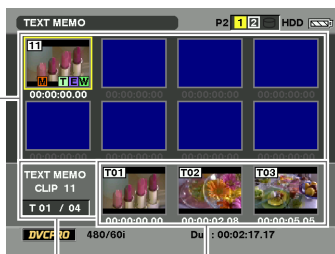
テキストメモ位置からの再生

1 サムネール表示画面にする

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 \square 、 \triangle 、 \square で「THUMBNAIL」 - 「TEXT MEMO CLIPS」を選んで \square を押す

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、カーソルがあわせられているクリップのテキストメモに関する情報が表示されます。



サムネール表示部

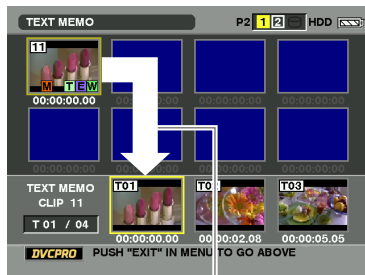
テキストメモ位置の静止画像を表示

クリップに付加されたテキストメモの総数を表示

上記、テキストメモを表示する画面のとき、EE 出力は BLACK となります。

4 \square と \square で再生したいクリップにカーソルをあわせ、 \square を押す

カーソルが液晶モニター下段に移動します。



カーソルが移動します

5 \square または \square で、カーソルを再生したいテキストメモ番号にあわせ、 \triangle を押す

カーソルがあわせられたテキストメモのタイムコード位置から再生します。クリップの終端で再生が終了すると、サムネール画面に戻り、再生を開始したタイムコード位置にカーソルが戻ります。

6 [MENU/MODE CHK] を押したあと、 \square 、 \triangle で「EXIT」を選んで \square を押す

[USER] に EXIT が割り当てられている場合は [EXIT/2] を押すとカーソルがサムネール画面の上段に戻ります。

- テキストメモは、クリップの再生中や、記録中に付加することができます。上記の「テキストメモ付加」を参照してください。ただし、上記のテキストメモ位置からの再生中は付加できません。
- テキストメモ位置からの再生中は、 \square 以外無効になります。

テキストメモの削除

- 1 「テキストメモ位置からの再生」の1～4の操作を行い、テキストメモ画面の下段へ移動する
- 2 削除したいテキストメモにカーソルをあわせ \square を押す
テキストメモは複数選択できます。
- 3 [MENU/MODE CHK]を押したあと、 \square 、 \triangle 、 \square で「OPERATION」－「DELETE」を選んで \square を押す
- 4 「YES」を選んで \square を押す
テキストメモが消去されます。

テキストメモによるクリップ分割コピー

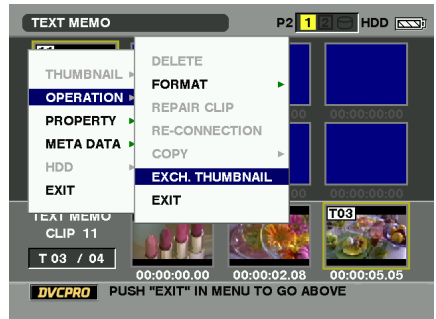
- 1 「テキストメモ位置からの再生」の1～4の操作を行い、テキストメモ画面の下段へ移動する
- 2 コピーしたいテキストメモにカーソルをあわせ \square を押す
テキストメモは複数選択できます。
- 3 [MENU/MODE CHK]を押したあと、 \square 、 \triangle 、 \square で「OPERATION」－「COPY」を選んで \square を押す
- 4 \square または \triangle と \square でコピー先のスロットを選択し、「YES」を選んで \square を押す
コピーが実行されます。
- 5 完了メッセージが表示されたら「OK」(\square)を押す

- 選択したテキストメモと、その次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモのあとにテキストメモがない場合は、テキストメモの位置からクリップの最後までをコピーします。
- コピー中は、コピーの進捗状況とキャンセルの表示を行います。コピーを途中で中断する場合は、 \square を押します。「YES/NO」の確認画面が表示されるので \square と \square で「YES」を選択してください。

サムネール画像の置き換え

クリップのサムネール表示画像を、テキストメモ位置の静止画像と置き換えることができます。

- 1 「テキストメモ位置からの再生」の1～4の操作を行い、テキストメモ画面の下段へ移動する
- 2 \square または \square で、サムネール表示画像としたいテキストメモ静止画像にカーソルをあわせる
- 3 [MENU/MODE CHK]を押す
- 4 \square 、 \triangle 、 \square で「OPERATION」－「EXCH. THUMBNAIL」を選んで \square を押す



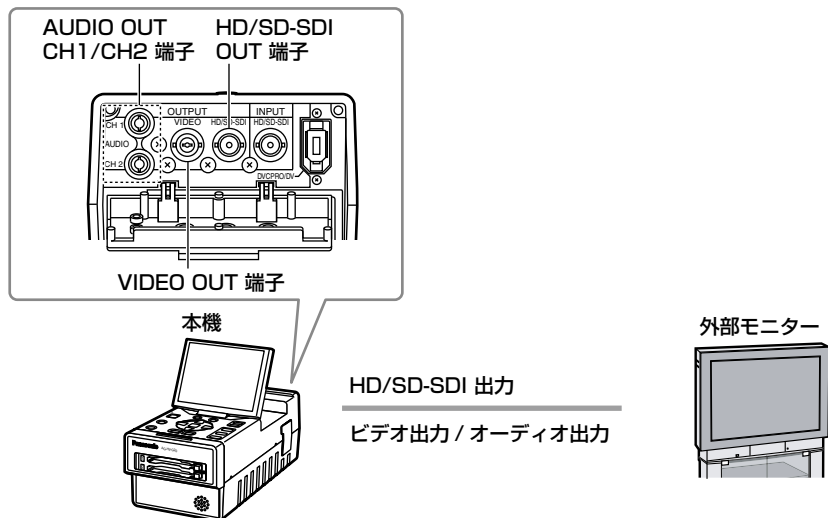
- 5 「YES」を選んで \square を押す

サムネール表示画像がカーソル位置の静止画像と置き換わります。

- クリップの情報表示の「THUMBNAIL」項目(→42ページ)でサムネールの変更位置(先頭からのフレーム数)を見ることができます。通常先頭フレームのサムネールの場合には0と表示されます。
- サムネールを変更してもサムネールからの再生はクリップの先頭からとなります。

外部モニターに出力して再生する



本機の出力端子と接続して外部モニターに出力して再生することができます。



出力設定をする


- 1 [POWER] を 1 秒以上押しして電源を ON にする
- 2 [THUMBNAİL/MODE] を押す
通常表示画面が表示されます。
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 ▽、△で「AV OUT SETUP」の設定する項目を選んで□を押す
- 5 ▽、△で設定値を選んで□を押す
- 6 [MENU/MODE CHK] を押しして処理を終了する

記録 / 再生時の出力音量調整

記録 / 再生中に、を押すとスピーカーとヘッドホン端子からの出力音量を調整することができます。サムネール表示画面のとき、[ALT/3] と を押すことで、スピーカーとヘッドホン端子からの出力音量を調整することができます。97 ページの AV OUT SETUP 画面を参照してください。

- 設定メニュー「SW MODE」で(→ 95 ページ)、[ALT/3] に ALT 機能を割り当てている必要があります。

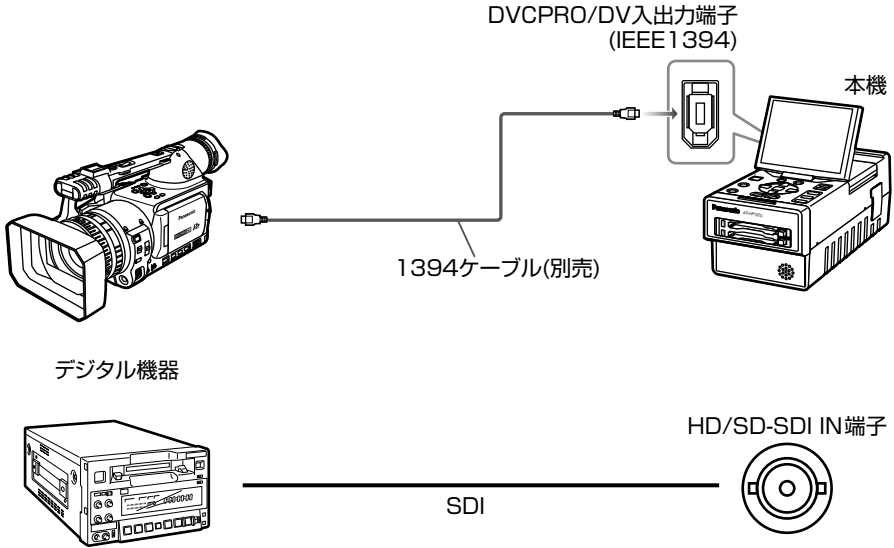
可変速再生時の出力音量調整

可変速再生時、[ALT/3] と を押すことで、スピーカーとヘッドホン端子からの出力音量を調整することができます。97 ページの AV OUT SETUP 画面を参照してください。

- 設定メニュー「SW MODE」で(→ 95 ページ)、[ALT/3] に ALT 機能を割り当てている必要があります。

P2 カードに記録する

SDI 端子および IEEE1394 端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを本機に記録することができます。



再生
記録

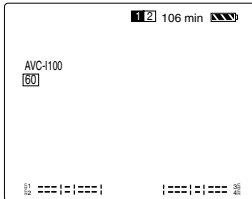
記録

1 [POWER] を1秒以上押し続けて電源をONにする

サムネイル画面が表示されます。

2 [THUMBNAİL/MODE] を押す

通常表示画面が表示されます。



3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 下記の項目を設定する

設定項目	メニュー
入力信号	[RECORDING SETUP] - [INPUT SELECT]
記録フォーマット*	[RECORDING SETUP] - [SYS FORMAT]、 [REC FMT(SD)]、 [REC FMT(HD)]
タイムコード、 ユーザズビット	[TIMECODE SETUP]

※ 入力する信号の映像フォーマットと本機の記録フォーマットをあわせてください。
詳しくは、設定メニュー「RECORDING SETUP」(→88ページ)および「TIMECODE SETUP」(→91ページ)を参照してください。

5 [REC]2つを同時押しする

記録が開始されます。

- 停止するときは [STOP] を押してください。
- 記録中に、[USER] (→95ページ) に割り当てたショットマークやテキストメモの付加ができます。

(次ページへつづく)

P2 カードに記録する (つづき)

記録 (つづき)

- 外部機器制御機能を備えたカメラレコーダーと HD-SDI/1394 接続を行うことにより、カメラレコーダーから本機の記録・記録一時停止などの操作が行えます。HD-SDI 接続における対応機器、ならびに本機の設定については設定メニュー「RECORDING SETUP」 - 「AUTO REC」(→ 89 ページ) を参照してください。
またカメラレコーダーの設定はカメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
- PC モード (→ 23 ページ) では記録できません。
- ネイティブ記録には対応していません。
- 映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
- 記録中に入力信号フォーマットが変化すると、正しい記録が行えません。
- 記録中に外部機器の出力を停止したりケーブルを抜いたりしないでください。再度記録を行うときに信号を正しく認識できないことがあります。
- 不正規信号や連続的な乱れのある入力信号を入力したまま記録開始しないでください。機器が正常に動作しないことがあります。
- EE や記録中に、SDI 入力信号に重畳されている SLTC や SVITC 内の時間情報データ識別コード (DBB1) がなくなったり、ON/OFF が切り替わったりすると、その切り替わり時に映像が乱れることがあります。(設定メニュー「INPUT SELECT」(→ 88 ページ) が SDI のとき)

1394 入力選択時は以下の制限があります。

- 記録フォーマットと同じ映像信号が入力されていないと記録が行われません。
- AVC-Intra100、AVC-Intra50 フォーマットでの記録はできません。
- DVCPRO HD 入力時の記録音声は 4ch となります。(→ 118 ページ)

2 スロット連続記録

2つの P2 カードスロット両方に P2 カードを装着すれば、2 枚のカードにわたって連続記録することができます。また、一方が記録中にもう片方のカードを差し替えて、3 枚以上に連続記録することもできます (ホットスワップ記録)。ただし、空きスロットに P2 カードを挿入するタイミング (2 つのスロットにわたって連続記録するときの前後) によって、P2 カードの認識が遅くなる場合があります。P2 カードを挿入する際は、現在記録中のカードの残量が 1 分以上ある状態で行うことを推奨します。

設定メニュー「SW MODE」の USER1 ~ 3 項目 (→ 95 ページ) で [USER] に [SLOT SEL] を割り当てると、ワンタッチで記録対象スロットを変更できます。

- スロットの変更は記録中にはできませんので、記録待機中に行ってください。
- ホットスワップ再生には対応していません。

ウェーブフォームモニター (WFM) 表示

画面に簡易波形モニターを表示し、映像監視などが行えます。

設定メニュー「DISPLAY SETUP」 - 「WFM」を設定すると表示できます。

- 設定メニュー「SW MODE」の USER1 ~ 3 項目 (→ 95 ページ) で [USER] に [WFM] を割り当てると
「DISPLAY SETUP」 - 「WFM」の設定が、「OFF」のとき
押すたびに「WAVE」→「VECTOR」→「OFF」→「WAVE」と切り替わります。
「DISPLAY SETUP」 - 「WFM」の設定が、「WAVE」のとき
押すたびに「WAVE」→「OFF」→「WAVE」と切り替わります。
「DISPLAY SETUP」 - 「WFM」の設定が、「VECTOR」のとき
押すたびに「VECTOR」→「OFF」→「VECTOR」と切り替わります。
- WFM が重畳される出力は、設定メニュー「OSD OUT SEL」の選択に連動します。
- クリップの再生時と入力信号が入力されているときに表示します。

タイムコード表示

タイムコード表示部の表示内容を変更することができます。(→78ページ)

1 [COUNTER] を押す

押すごとに、下記のデータに切り替わります。

TC:	タイムコード表示
UB:	ユーザズビット値
FR:	フレームレート情報
無表示:	データを表示しません
COUNTER:	カウンター表示(再生時を除く)

カウンター値をリセットする

通常表示画面でカウンター値を表示中に [RESET] を押します。

- 記録時のタイムコード表示が COUNTER の場合、設定メニュー「DISPLAY SETUP」－「REC COUNTER」で CLIP ごとのカウントを表示させるか、TOTAL のカウントを表示させるかを選択することができます。

記録タイムコードを設定する

設定メニュー「TIMECODE SETUP」－「EXT TC REGEN」で記録するタイムコードを選択できます。詳しくは、設定メニュー「TIMECODE SETUP」(→91ページ)を参照してください。

記録タイムコードを設定する

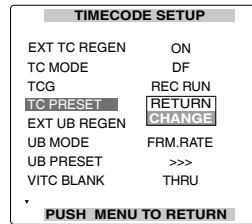
設定メニュー「TIMECODE SETUP」の下記項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(→91ページ)

- [TC MODE]
- [TCG]
- [TC PRESET]

タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)

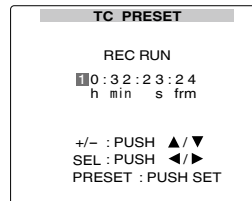
任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、「TC PRESET」でタイムコード値を設定します。

- 1 [POWER] を 1 秒以上押して電源を ON にする
- 2 設定メニュー「TIMECODE SETUP」－「EXT TC REGEN」で「OFF」を選択する
 - 設定メニューの基本操作 (→86ページ)
- 3 「TIMECODE SETUP」－「TC PRESET」で「CHANGE」を選んで [ENTER] を押す

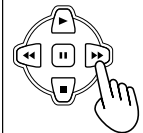
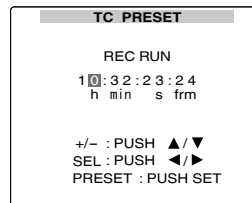


4 下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する

- [UP], [DOWN] でタイムコード値を選択します。



- [RIGHT] で次のけたに移動し、再度 [UP], [DOWN] でタイムコード値を選択します。



タイムコードを設定しているときに [RESET] を押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。

(次ページへつづく)

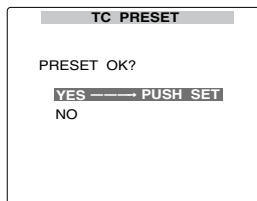
P2 カードに記録する (つづき)

記録タイムコードを設定する (つづき)

タイムコードを指定する (TC PRESET 項目) (つづき)

5 タイムコード値の設定が完了したら **[OK]** を押す

6 **[△]** で「YES」に移動し、**[OK]** を押す



7 **[MENU/MODE CHK]** を 2 度押して、メニューを終了する

ユーザズビットを設定する

ユーザズビットを設定することにより、16 進数 8 けたまでのメモ (日付、時刻) などの情報をサブコード領域に記録できます。ユーザズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切ったあとも保持されます。

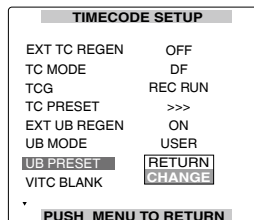
1 **[POWER]** を 1 秒以上押して電源を ON にする

2 設定メニュー「TIMECODE SETUP」－「EXT UB REGEN」を「OFF」にする

・設定メニューの基本操作 (→ 86 ページ)

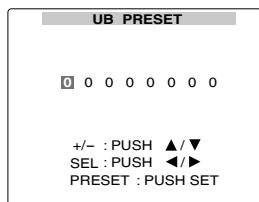
3 「TIMECODE SETUP」－「UB MODE」で「USER」を選択する

4 「TIMECODE SETUP」－「UB PRESET」で「CHANGE」を選んで **[OK]** を押す

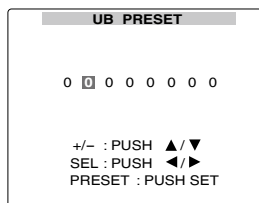


5 ユーザズビットを設定する

- ◁, △ でユーザズビットの文字を選択します。
- ・設定できるユーザズビットの文字は、数字の 0～9 とアルファベットの A～F です。



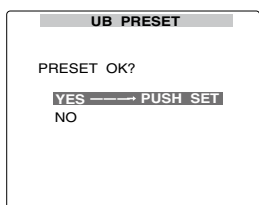
▷ で次のけたに移動し、再度 ◁, △ で文字を選択します。



ユーザズビットを設定しているときに **[RESET]** を押すと、ユーザズビットをゼロにリセットします。

6 ユーザズビットの設定が完了したら **[OK]** を押す

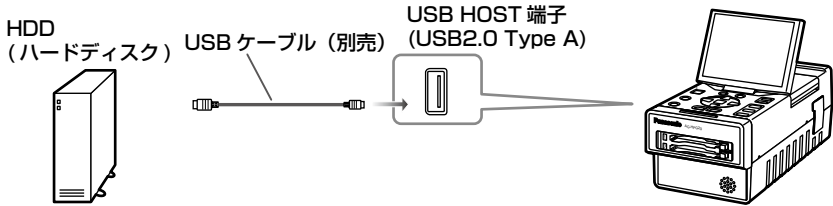
7 **[△]** で「YES」に移動し、**[OK]** を押す



8 **[MENU/MODE CHK]** を 2 度押して、メニューを終了する

P2 カードから HDD にコピーする

USB2.0 が搭載されている HDD (ハードディスク) を接続して、P2 カードのデータを HDD にコピーすることができます。



USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- 本機は、USB2.0 にのみ対応しています。USB2.0 対応の HDD をご使用ください。
- HDD は 1 台のみ接続してください。
- 本機と HDD の間にハブ等、他の機器が接続されている場合の操作は保証できません。また、USB ケーブルの長さは 3 m 以内のケーブルをご使用することをおすすめします。

- HDD は以下の条件でご使用ください。
 - 1) HDD の動作保証範囲内 (温度など) で使用する。
 - 2) HDD を振動する場所や不安定な場所に置かない。
- 2 TB 以上のハードディスクには対応していません。
- HDD によっては正しく動作しない場合があります。
- USB 変換ケーブルを介して接続された、SATA (シリアル ATA) や PATA (パラレル ATA) インターフェースのハードディスクは、認識できない場合があります。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、P2 カードを取り出したり、本機や HDD の電源を切ったりしないでください。電源の再起動が必要になります。
- HDD は非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。

HDD の故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーに使用している HDD の内容をパソコンなどほかの機器で更新した場合、以後の本機での動作、および HDD のデータは保証できません。
- 不良クリップ*が含まれる P2 カードは事前に、修復してから本機でコピーすることを推奨します。

*記録中に P2 カードを抜いたり、電源が切れた場合にできる、記録不具合のクリップで、サムネール画面を表示したときに マークなどが付いているクリップです。
- 弊社が下記の URL で無償配布しているドライブマウントコンバーターを使用するとハードディスクを Windows PC に接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。すでに割り当てられているネットワークとドライブが重なって見えないパーティションがある場合、ご利用ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

P2 カードから HDD にコピーする (つづき)

USB HOST モードに切り替える

- 1 [POWER] を 1 秒以上押しして電源を ON にする
サムネール表示画面になります。
- 2 [THUMBNAIL/MODE] を押しして通常表示画面にする
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 \square 、 \triangle 、 \square で [OTHER FUNCTIONS] - [PC MODE SELECT] を選んで \square を押す
- 5 \square 、 \triangle で [USB HOST] を選んで \square を押す
- 6 [MENU/MODE CHK] を 2 回押しして通常表示画面にする

- 7 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押ししたままにする

USB HOST モードになり、サムネール表示画面下部に「USB HOST」と表示されます。



- コピーに十分な容量の HDD をご使用ください。

USB HOST モードを終了するには

- 1 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押ししたままにする

USB HOST モードが解除され、画面右下の「USB HOST」が消えます。

使用できる HDD

次の HDD を使用できます。

- パナソニックポータブルハードディスクユニット P2 store (AJ-PCS060G)
- USB2.0 で接続できる HDD

- USB バスパワー (5V、0.5A) にも対応していますが、HDD によっては起動できないものもあります。その場合は HDD に別途電力を供給してください。
- HDD によっては正しく動作しない場合があります。
- USB メモリーなどのリムーバブルメディアは、使用しないでください。

HDD のタイプと利用できる機能について

使用する HDD により、利用できる機能が異なります。HDD のタイプは本機の HOST モードでのエクスペローラー画面の左側に「PARTITION : 」に続いて表示されます。

ハードディスクタイプ	特徴	利用できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み／読み込みするための特殊形式です。本機でフォーマットすると、この形式になります。	カード単位での書き込み／読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み、クリップの再生、フォーマット
P2STORE	P2 store (AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	カード単位での読み込み、サムネール表示、クリップ単位での読み込み、クリップの再生
FAT	先頭の基本パーティションが FAT16 または FAT32 になっている形式です。 そのパーティションのルートに「CONTENTS」フォルダーがない場合は作成します。	サムネール表示、クリップ単位での書き込み／読み込み、クリップの再生、フォーマット • 本機でフォーマットしたあとは、「TYPE S」の HDD として扱えます。
OTHER	上記以外の HDD です。 • 先頭パーティションが NTFS などの FAT16、FAT32 以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット • 本機でフォーマットしたあとは、「TYPE S」の HDD として扱えます。

P2 カードから HDD にコピーする (つづき)

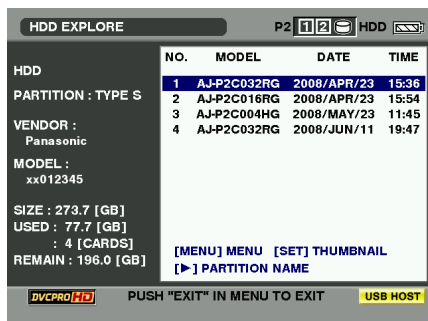
HDD のフォーマット

HDD を TYPE S で使用できる形式に初期化します。

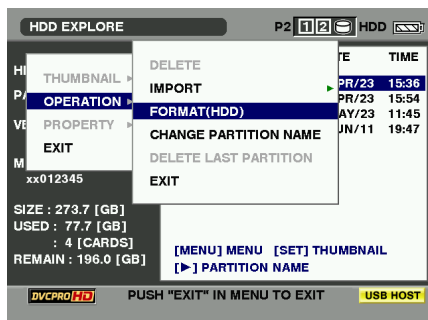
・HDD のフォーマットを行うと、HDD の内容はすべて消去されますのでお気をつけください。

- 1 USB HOST モードに切り替える
- 2 USB HDD を接続する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 ▢、△、□ で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んで□を押す

エクスプローラー画面が開きます。



- 5 [MENU/MODE CHK] を押して、▢、△、□ で「OPERATION」 - 「FORMAT(HDD)」を選んで□を押す



- 6 [YES] を選んで□を押す
- 7 再度確認メッセージが出たら、「YES」を選んで□を押す
HDD がフォーマットされます。
- 8 完了メッセージが表示されたら「OK」(□)を押す

カード単位での HDD へのエクスポート

TYPE S の HDD の場合、P2 カード単位で HDD へエクスポート（P2 カードから HDD への書き出し）を行うことができます。HDD は事前に本機でフォーマットを行ってください。（HDD に記録されているすべてのデータは消去されますのでお気をつけください）最大 23 枚のカードを HDD へ保存することができます。エクスポートしたデータは、コンピューターなどではエクスポートした P2 カードごとに別々のドライブとして認識されます。

1 USB HOST モードに切り替える

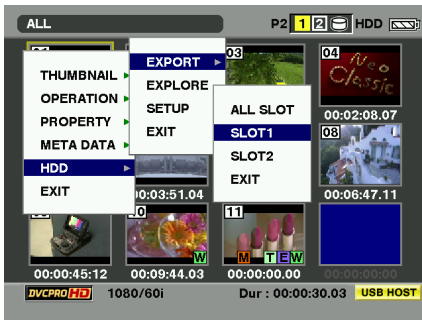
2 USB HDD を接続する

HDD を本機でフォーマットしていないときは、HDD をフォーマットします。「HDD のフォーマット」（→ 68 ページ）を参照してください。

3 P2 カードを挿入する

4 [MENU/MODE CHK] を押す



5 、、 で「HDD」－「EXPORT」を選んで を押す



6 コピー元の P2 カードスロット番号を選んで を押す

「ALL SLOT」を選ぶと、そのとき挿入されているカードすべてを一括エクスポートします。

7 「YES」を選んで を押す

- エクスポート中は進捗バーが表示されます。
- エクスポートを中断したいときは、 を押し、「CANCEL」の確認表示で「YES」にカーソルをあわせ、 を押しと中断できます。中断前に処理が完了しているカードは、そのままコピーされています。
- エクスポート時のペリファイを行わないように設定すると、エクスポート完了までの時間が短くなります。設定はメニューの「HDD」－「SETUP」－「VERIFY」を「OFF」にします。
- ペリファイ中に処理を中断しても、P2 カードのコピーは終了しています。






エクスポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

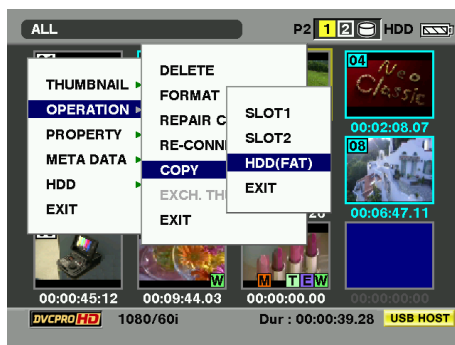




P2 カードから HDD にコピーする (つづき)

クリップ単位での HDD へのエクスポート

クリップを、FAT タイプの HDD にコピーできます。

- 1 USB HOST モードに切り替える
- 2 サムネール表示画面にする
- 3 HDD へコピーする P2 カード内のクリップを選択する
- 4 [MENU/MODE CHK] を押す
- 5 、、で「OPERATION」 - 「COPY」
- 「HDD (FAT)」を選んでを押す
FAT タイプの HDD が接続されていないときは、メニューが有効になりません。
- 6 「YES」を選んでを押す
クリップのコピーが開始されます。



- コピー中に電源を OFF にしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。不完全クリップは連結 (→ 39 ページ) したあとでコピーしてください。
- 途中でコピーを中止するには、を押してキャンセルしてください。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ (GLOBAL CLIP ID が同じ) が存在するときは、「OVER WRITE」と表示されます。上書きを行うときは「YES」を、コピーを行わないときは「NO」を選択し、を押してください。(複数の P2 カードにまたがって記録されたクリップを部分的にコピーした場合、そのクリップの残り部分をコピーするときにも「OVER WRITE」と表示されます)

次のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。

- 「LACK OF REC CAPACITY!」
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
- 「UNKNOWN CONTENTS FORMAT!」
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
- 「TOO MANY CLIPS!」
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。

本機では FAT タイプの HDD にコピーできるクリップの最大数は 1000 クリップです。

HDD 上に作成したクリップのうち、1 枚の P 2 カードの容量より大きいクリップは P 2 カードには戻せません。

- 不良クリップインジケータが表示されたクリップは、コピーできません。
 - 不明クリップインジケータが表示されたクリップは、コピーできないことがあります。
-
-

P2 カードから HDD にコピーする (つづき)

HDD の情報表示

HDD の情報を表示できます。

- 1 USB HOST モードに切り替える
- 2 USB HDD を接続する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 ▢、△、□で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んで□を押す
HDD の情報が表示されます。

TYPE S または、P2STORE の場合

7

NO.	MODEL	DATE	TIME
1	AJ-P2C032RG	2008/APR/23	15:36
2	AJ-P2C016RG	2008/APR/23	15:54
3	AJ-P2C004HG	2008/MAY/23	11:45
4	AJ-P2C032RG	2008/JUN/11	19:47

FAT の場合

NO.	MODEL	DATE	TIME
1	FAT32		

1. PARTITION	HDD の種類
2. VENDOR	ベンダー名
3. MODEL	HDD のモデル名
4. SIZE	HDD の総容量
5. USED	HDD の使用量 (単位: GB) と使用 P2 カード領域 (単位: 枚)
6. REMAIN	HDD の残量 (単位: GB)*
7. パーティション番号	HDD のパーティション (P2 カード 1 枚分の単位) 番号

※ FAT タイプの HDD の場合、HDD の対象となる領域だけの残量を表示します。

- ▢と□で日時などの一覧表示とユーザーが付けたパーティションの名称表示を切り替えることができます。FAT タイプの HDD の場合、切り替えはできません。
- TYPE S タイプの HDD の場合、HDD サムネール画面表示中およびエクスプローラー画面表示中に、[MENU/MODE CHK] を押して、「OPERATION」 - 「CHANGE PARTITION NAME」を選択すると、そのパーティションに名前 (最大 20 文字) を付けることができます。(TYPE S タイプ以外の HDD はできません)

ALL(HDD) P2 [1] [2] HDD []

01 02 03 04

PARTITION NAME: SAMPLE

00:00:00.00 00:00:55.11 00:01:28.07 00:02:08.07

05 06 07 08

00:02:33.26 00:03:00.00

SERIAL: AAF07L0520
MODEL: AJ-P2C032RG
NAME: SAMPLE

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 SP BS
q w e r t y u i o p - Caps
a s d f g h j k l . _ OK
z x c v b n m < > >> EXIT

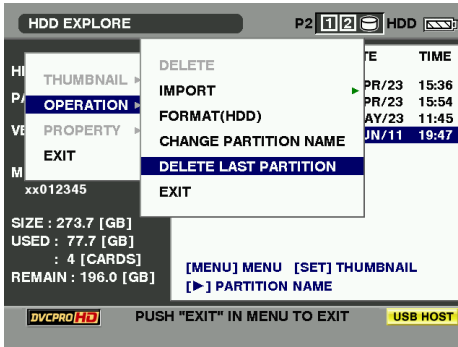
DVCPRO [HDD] 1080/60i Dur: 00:00:30.03 USB HOST

- P2 store に無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。
- FAT タイプの HDD の場合、最初の 1 パーティションのみが表示されます。

パーティション削除

TYPE S の HDD の場合、最後のパーティションを削除できます。

- 1 USB HOST モードに切り替える
- 2 USB HDD を接続する
- 3 [MENU/MODE CHK] を押す
- 4 ◀、▶、⏪ で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んで⏩を押す
HDD の情報が表示されます。
- 5 カーソルを移動して、最後のパーティションを選択する



- 6 「OPERATION」 - 「DELETE LAST PARTITION」を選んで⏩を押す

最後のパーティションが削除されます。最後のパーティションにカーソルがないと「DELETE LAST PARTITION」メニューは有効になりません。

- 削除できるのは最後のパーティションだけです。削除したパーティションは復元できませんので、よく確認してから削除してください。
- 途中のパーティションは削除できません。

P2 カードから HDD にコピーする (つづき)

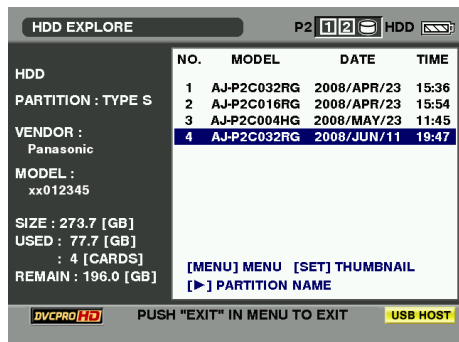
HDD のクリップのサムネール表示

HDD に保存したクリップも、本機に装着した P2 カードと同様にサムネール表示して管理できます。

1 エクスプローラー画面にする

2 、 で表示したいパーティションを選んで を押す

そのパーティションのクリップがサムネール表示されます。



1) 表示状態

HDD のクリップのサムネール表示状態を示します。

2) パーティション情報

次の情報が表示されます。

SERIAL: P2 カードのシリアル番号

MODEL: P2 カードのモデル名

3) 記録モード、システムフォーマット

カーソル位置クリップの記録モード、システムフォーマットが表示されます。

4) ディスク情報

NUMBER (NO.): パーティション番号 (1 ~ 23)

PARTITION: ハードディスクタイプを表示します。(→ 67 ページ)

DATE/TIME: パーティション記録日時

VERIFY: 記録時のベリファイの設定とベリファイ結果

ON/ FINISHED: ベリファイ実施し、一致

ON/ FAILED: ベリファイ実施したが不一致

OFF: ベリファイしていない

・P2 store のときは「--」と表示します。

NAME: パーティション名

- ・メニュー表示させて「EXIT」を選択すると、エクスプローラー画面に戻ります。
- ・必要に応じてサムネール表示画面の表示の変更を行うことができます。操作はカードのサムネール表示と同じです。「サムネール表示画面の表示の変更」(→ 36 ページ)を参照してください。それ以外の処理(修復、連結、テキストメモ付加など)は行えません。
- ・FAT タイプの HDD のサムネール画面からクリップの削除は行えますが、それ以外の処理(修復、連結、テキストメモ付加など)は行えません。
- ・FAT タイプの HDD の場合、1001 個以上のクリップは表示されません。
- ・P2 store の場合、DATE/TIME は協定世界時(UTC)で表示します。

HDD のクリップ情報を表示する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。内容は P2 カードのクリップのプロパティと同じです。

1 HDD のサムネール表示画面で、対象のクリップを選択する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 、、 で「PROPERTY」 - 「CLIP PROPERTY」を選んで を押す

詳細は「クリップ情報を表示する」(→ 41 ページ)を参照してください。

HDD を接続して利用する

HDD から P2 カードへのインポート

TYPE S の HDD や P2 store からパーティション単位でインポートする

パーティション単位（カード単位）で、元のカードと同一品番の P2 カードへインポート（ハードディスクから P2 カードへの読み込み）することができます。

1 インポート先となる P2 カードを挿入する

フォーマット済みの P2 カードを挿入してください。

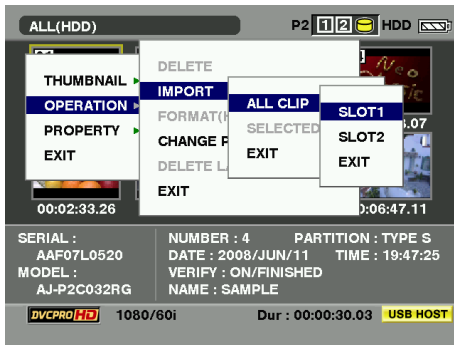
2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 、、 で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んでを押す

4 、 でコピー元のパーティションを選んでを押す

5 [MENU/MODE CHK] を押す


6 、、 で「OPERATION」 - 「IMPORT」 - 「ALL CLIP」を選んでを押す



7 フォーマット済みの P2 カードを挿入したインポート先の P2 カードスロット番号にカーソルをあわせ、を押す

8 「YES」を選んでを押す

インポートが始まります。インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

- 元の P2 カードとは異なる P2 カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全（ インジケータ付き）クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。「不完全クリップの連結」（→ 39 ページ）を参照してください。
- メニュー設定により、コピー時にベリファイを行うかどうかを切り替えることができます。
- 異なる品番の P2 カードへのパーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートしてください。

クリップ単位で P2 カードへのインポート

HDD のクリップを指定して、P2 カードにインポートできます。

1 インポート先となる P2 カードを挿入する

2 [MENU/MODE CHK] を押す

3 、、 で「HDD」 - 「EXPLORE」を選んでを押す

4 、 でコピー元のパーティションを選んでを押す

5 コピーするクリップを選択する

6 [MENU/MODE CHK] を押す

7 、、 で「OPERATION」 - 「IMPORT」 - 「SELECTED CLIPS」を選んでを押す

8 、 でインポートする P2 カードスロット番号を選んでを押す

9 「YES」を選んでを押す

インポートが始まります。インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

- クリップ単位でインポートするときは、ベリファイは行われません。
- クリップ単位でのインポート時の注意事項は「クリップをコピーする」（→ 40 ページ）を参照してください。
- P2 カード容量よりサイズが大きいクリップを P2 カードにインポートすることはできません。

HDD を接続して利用する (つづき)

HDD のクリップの簡易再生 (素材ビューイング用途)

HDD に保存したクリップの簡易再生を行うことができます。

- 1 HDD のクリップのサムネール表示画面にする
(→ 74 ページ)
- 2 十字カーソル操作で、再生したいクリップにカーソルを移動する
- 3 **△**を押す
クリップが再生されます。

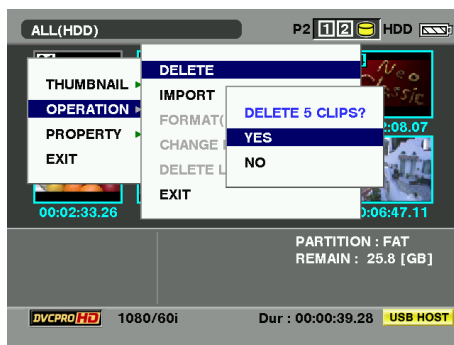


基本的な操作は、クリップ再生 (→ 55 ページ) と同じですが、下記の違いがあります。

- 再生フォーマットによって、画像を間引きながら再生を実施します。
- HDD の性能、使用状態などにより、正常な再生が実現できない場合があります。
- スロー再生はサポートしていません。
- 可変速再生時の音声は出力されません。
- HDD 素材に対して、再生中、サムネール表示中にかかわらず、テキストメモおよびショットマークは付加できません。
- HDD には、衝撃を与えないでください。
- P2 store 動作設定「USB モードでの衝撃検知」が ON 時に、HDD 内のクリップ再生中に、P2 store に衝撃を与えると、再生が停止しサムネール表示画面に戻ることがあります。
- HDD のクリップの簡易再生中に、P2 カードの抜き差しは行わないでください。その後の動作が不正規になる場合があります。
- タイムコード(TC/UB)出力は不連続となります。

HDD のクリップを削除する

ハードディスクタイプが FAT の HDD に対しては、次の操作で不要なクリップを削除できます。



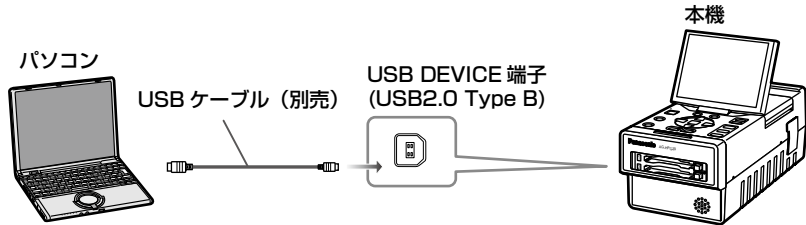
- 1 HDD のクリップのサムネール表示画面にする
(→ 74 ページ)
- 2 削除するクリップを選択する
- 3 **[MENU/MODE CHK]** を押す
- 4 **▽**、**△**、**□**で「OPERATION」 - 「DELETE」を選んで**□**を押す
- 5 「YES」を選んで**□**を押す
- 6 完了メッセージが表示されたら「OK」(**□**)を押す

× 不良クリップインジケータや **?** 不明クリップインジケータが表示されたクリップは、削除できないことがあります。

外部機器で編集する

P2 カードのコンテンツを編集する (USB DEVICE モード)

本機とパソコン (Windows・Apple Macintosh) を USB ケーブルで接続して、本機の P2 カード内のコンテンツをパソコンから操作することができます。



USB DEVICE モードで編集する

USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- Windows 2000 (SP4 以降)、Windows XP Professional (SP2 以降)、Windows Vista (Business 以上)、Mac OS X10.4.8 を搭載したパソコン。
- USB 接続をはじめて行うときは、本機に付属の CD-ROM から、P2 ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。
- 本機は、USB2.0 にのみ対応しています。USB2.0 対応のパソコンをご使用ください。
- パソコンは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパソコンの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。また、USB ケーブルの長さは 3 m 以内のケーブルをご使用することをおすすめします。

1 [POWER] を 1 秒以上押して電源を ON にする

サムネール表示画面になります。

2 [THUMBNAIL/MODE] を押して通常表示画面にする

3 [MENU/MODE CHK] を押す

4 ◁、▷、□ で「OTHER FUNCTIONS」 - 「PC MODE SELECT」を選んで◁を押す

5 ◁、▷ で「USB DEVICE」を選んで◁を押す

6 [MENU/MODE CHK] を 2 回押して通常表示画面にする

7 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押したままにする

「USB DEVICE」の表示のあと、ファイルアクセスが可能な状態になると「USB DEVICE CONNECT」と表示されます。

- USB DEVICE モード中は、モードの変更や、メニューの表示はできません。
- USB 接続中は、P2 カードを取り出さないでください。

8 パソコンで P2 カードのデータを編集する

9 編集が終了したら、USB ケーブルを取り外す

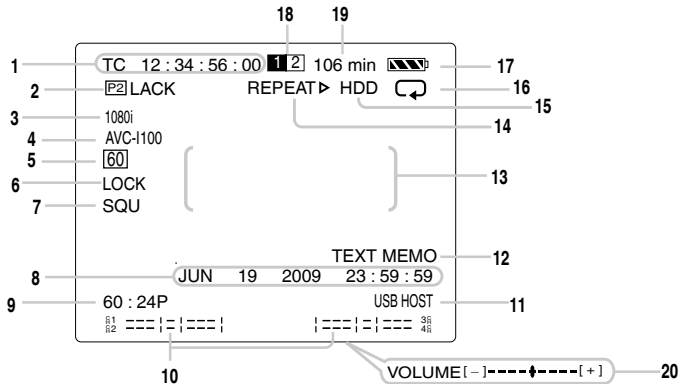
液晶モニターの表示が、「USB DEVICE CONNECT」から「USB DEVICE DISCONNECT」に変わります。

- ケーブルを取り外すときは、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。

10 [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押したままにする

通常表示画面に戻ります。

- USB 接続中、P2 カードアクセス LED はアクセス中だけ点灯します。
- USB DEVICE モードでは、外部モニターへの出力はできません。



1 タイムコード表示

[COUNTER] を押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。

COUNTER:（再生時を除く）

カウンター値

設定メニュー「DISPLAY SETUP」－「REC COUNTER」（→ 103 ページ）の値で記録クリップごとにリセットすることができます。このときは、先頭に CLIP が表示されます。

TC:

タイムコード値

タイムコード値が P2 カードから正しく読み取れなかったときには、[TC *] を表示します。

UB:

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が P2 カードから正しく読み取れなかったときには、[UB *] を表示します。

FR:

AG-HVX200 などのカメラレコーダーで撮影されたフレームレート情報

FR 60i : 60i インターレースモード
(60 フィールド / 秒)

FR 60P : 60p プログレッシブモード
(60 フレーム / 秒)

FR 30P : 30p プログレッシブモード
(30 フレーム / 秒)

FR 24P : 24p プログレッシブモード
(24 フレーム / 秒)

FR 24PA : 24p アドバンスモード
(24 フレーム / 秒)

FR 50i : 50i インターレースモード
(50 フィールド / 秒)

FR 50P : 50p プログレッシブモード
(50 フレーム / 秒)

FR 25P : 25p プログレッシブモード
(25 フレーム / 秒)

FR — : 情報なし

表示なし

2 ワーニング情報

:

P2 カードが挿入されていないときや記録禁止のときに点滅します。

FULL:

P2 カードの残量がないときに点滅します。

LACK:

ループ記録に必要な P2 カードの残量がないときや、P2 カードが 1 枚しか挿入されていないときに点滅します。

:

バッテリー残量がないときに点滅します。

:

カレンダー用の内蔵電池が消耗しているときに点滅します。(→ 30 ページ)

3 システムフォーマット表示

記録もしくは記録待機時は、設定メニューのシステムフォーマット表示

再生時は、再生しているクリップのシステムフォーマット表示

1080i:

1080i システムフォーマット記録再生

720P:

720p システムフォーマット記録再生

576i:

(設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」－「SYSTEM FREQ」が 50Hz のとき)

576i システムフォーマット記録再生

480i:

(設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」－「SYSTEM FREQ」が 59.94Hz のとき)

480i システムフォーマット記録再生

4 圧縮記録フォーマット表示

記録もしくは記録待機時は、設定メニューの記録フォーマット表示
再生時は、再生しているクリップの圧縮記録フォーマット表示

AVC-I 100:

AVC-Intra100 圧縮記録フォーマット

AVC-I 50:

AVC-Intra50 圧縮記録フォーマット

HD:

DVCPRO HD 圧縮記録フォーマット

50M:

DVCPRO50 圧縮記録フォーマット

25M:

DVCPRO 圧縮記録フォーマット

DV:

DV 圧縮記録フォーマット

5 システム周波数表示

60: 59.94 Hz

50: 50 Hz

6 INPUT LOCK

次に示す条件を同時に満たし、入力信号に出力信号がロック（同期）したときに表示します。

- 設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」→「SDI IN LOCK」（→97 ページ）が INPUT になっている。
- 設定メニュー「RECORDING SETUP」→「SYS FORMAT」で設定した信号フォーマットと同一である。
- 正規の SDI 信号が入力されている。

LOCK 表示のとき、出力信号は SDI 入力信号にロック（同期）しますが、その位相までは合っておりません。

7 スクイーズ記録表示

次に示すときに表示します。

- 設定メニューの「SYS FORMAT」が 480/60i または 576/50i で、設定メニューの「WIDE SELECT」を「WIDE」にしたとき
- スクイーズ（ワイド）記録された映像を再生したとき
- WIDE 情報が記録された信号を、1394 接続で入力したとき

8 日付と時刻表示

mmm, dd, yyyy, hh:mm:ss で表示（月日年時分秒）

- AG-HVX200 などのカメラレコーダーと 1394 ケーブルで接続したときは、カメラレコーダー側で設定されている日付と時刻を表示します。

9 再生フレームレート表示

24P、24PA、60P、30P、50P、25P

- AG-HVX200 などで撮影されたネイティブ記録のクリップを再生する場合は「バリエブルレート：記録レート」の表示になります。
例) 12：24P
12P（ネイティブ記録ではない、バリエブルレート記録の場合）
- 60i、50i のコンテンツ再生時は表示しません。

10 オーディオレベルメーター表示

記録もしくは記録待機時は入力レベル、再生時は再生している音声レベルを表示します。設定メニュー「DISPLAY SETUP」→「LEVEL METER」で設定したチャンネルのレベルを表示します。

11 USB HOST 表示

USB HOST モード時に表示します。

12 テキストメモ、ショットマーク表示

あらかじめショットマークまたはテキストメモを割り付けた [USER] を押してショットマークまたはテキストメモを記録するときに約 3 秒間表示します。

MARK ON: ショットマークを付加したとき

MARK OFF: ショットマークを削除したとき

TEXT MEMO: テキストメモを付加したとき

INVALID: ショットマークやテキストメモの付加や削除ができないとき

13 情報表示

状況に応じて下記の情報を表示します。

- 警告表示、エラー表示
- [USER] でのモード切り替え表示 (OSD OUTSEL、AUDIO OUT、SLOT SEL、SYS FORMAT、INPUT SELECT、REC FMT(SD)、REC FMT(HD))
- [MENU/MODE CHK] を押したままにしたときの表示（→83 ページ）

14 動作状態表示

REC: 記録

L-REC: ループ記録

PAUSE: 記録待機

L-PAUSE: ループ記録待機

A - : AUTO REC 設定表示（他の記録系表示と合わせて表示されます。USB HOST モード時を除く。）

▷: 通常再生

⏏: 再生一時停止

REPEAT▷: リピート再生

1CLIP▷: 単一クリップ再生

1CLIP R▷: 単一クリップリピート再生

（次ページへつづく）

画面の表示 (つづき)

▷▷ (<◁):

早送り再生 (早戻し再生)

◁▷ (<◁◁):

コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)

x▷ /x▷▷ (x◁ /x◁◁):

可変速再生 (逆方向可変速再生)

CLIP ◁▷ (CLIP <◁◁):

クリップ送り (逆方向クリップ送り)

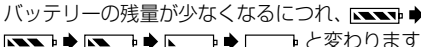
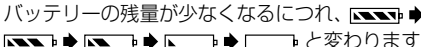
15 HDD 簡易再生表示

HDD からの簡易再生時に表示されます。再生性能が低くなった場合は 3 秒間点滅表示になります。HDD 故障時や HDD に振動が加わった場合には、表示は不正規になることがあります。

16 リPEAT再生設定表示


設定メニュー「PLAYBACK FUNCTIONS」
- 「REPEAT PLAY」を「ON」にしたときに表示されます。


17 バッテリー残量表示


バッテリーの残量が少なくなるにつれ、と変わります。容量がなくなると、液晶モニターに「LOW BATTERY」と表示されます。(AC アダプター使用時に 以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

18 メディア情報表示

P2 カードが挿入されているカードスロット、および基本情報を表示します。

 点灯: 記録可能な P2 カード

 点灯: 記録対象の P2 カード

 点滅: カード認識中

: カード未挿入

P: ライトプロテクトがかかっている

F: 残量なし


X: 認識不可

E: 不正なフォーマットの P2 カード (フォーマットすれば正常になる)

19 メディア残量表示

設定メニュー「DISPLAY SETUP」- 「P2CARD REMAIN」を「ONE CARD」にすると記録対象のスロットの残量を表示します。[USER] に割り付けた「SLOT SEL」で切り替えることにより対象スロットを変更できます。「TOTAL」にすると 2 枚のカードの残量合計を表示します。

20 モニター音量レベルメーター

 を押し、スピーカーとヘッドホン端子から出力される音量が表示されます。

◁、▷ ボタンで音量を調節できます。

可変速再生時には、[ALT/3] を押しながら◁、▷ ボタンで音量を調節できます。

主な警告表示

液晶モニターに表示される、主な警告表示を記載しています。その他の警告表示については、表示されるメッセージを確認してください。

■ C

CANNOT ACCESS!

コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。メディア、クリップを正常な状態にしてからご使用ください。

CANNOT ACCESS CARD!

P2 カードのアクセス中にエラーが発生しました。P2 カードを確認してください。

CANNOT ACCESS TARGET!

接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。HDD の状態や接続を確認してください。

CANNOT DELETE!

コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。

CANNOT FORMAT!

P2 カードなどの問題でフォーマットができません。P2 カードを確認してください。

CANNOT RE-CONNECT!

またぎクリップではないコンテンツを選んでいたりなどでクリップの再結合ができません。選択しているコンテンツを確認してください。

CANNOT RECOGNIZE HDD!

接続先のターゲットが正しく認識できません。HDD の電源を入れ直すか、接続する HDD を変更してください。

CANNOT REPAIR!

修復できると判断し修復を試みましたが、修復できませんでした。選択しているクリップを確認してください。

CARD FULL!

P2 カード、SD カードが一杯です。空き領域のあるメディアを挿入してください。

CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!

コピーする P2 カードが空です。空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。

COPY INHIBITED

コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

D

DIR ENTRY NG CARD

P2 カードのディレクトリ配置が不正規となっています。

動作は継続しますが、速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。

F

FORMAT ERR!

P2 規格に準拠していないカードです。

H

HDD CAPACITY FULL!

HDD の空き容量が足りません。接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。

HDD DISCONNECTED!

HDD との接続が切断されました。USB を付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。

I

INCOMPATIBLE CARD

規格が違うカードなので、使用することができません。

L

LACK OF REC CAPACITY!

カードの記録容量が不足しています。記録容量の十分あるカードを挿入してください。

LOW BATTERY

バッテリーの電源が消耗しているため操作できません。

M

MISMATCH COMPONENT!

コピー元とコピー先の P2 カードの品番が不一致のため、コピーできません。同一品番の P2 カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。

MISSING CLIP !

またぎクリップがすべてそろっていないクリップにはショットマークは付加できません。またぎクリップが入ったカードをすべて挿入してください。

N

NO CARD!

P2 カード、SD カードが入っていません。対応メディアを挿入してください。

NO COPY TO SAME CARD!

コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。

NO REPAIR CLIP !

修復するクリップが選択されていません。

P

P2 CARD IS UNFORMATTED!

P2 カードが未フォーマットです。フォーマットされた P2 カードを使用してください。

PLEASE FORMAT P2 CARD!

カード単位（パーティション単位）で HDD から P2 カードへのインポート時に、P2 カードが記録済みのためコピーできません。P2 機器でフォーマットしたあとに再度コピーを行ってください。

R

RUN DOWN CARD

P2 カードの規定の書き換え回数を超えています。

動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。

P2 カードの交換をおすすめします。

画面の表示 (つづき)

■ T

TOO MANY CLIPS!

選択しているクリップが多すぎます。選択しているクリップ数を減らしてください。

TOO MANY PARTITIONS!

パーティションが多すぎます。HDDの最大パーティション数は、USB HOST モード時は 23 です。新しいHDD またはフォーマットした HDD を使用してください。

TOO MANY TARGETS!

複数の機器が接続しています。1 台のみの USB HDD と接続できます。ハブやマルチ HDD を使用していないかご確認ください。接続を解除後、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。

TURN POWER OFF!

一度、電源を切ってからご使用ください。

■ U

UNKNOWN CONTENTS FORMAT!

不明クリップインジケーターが表示されたクリップやコンテンツバージョンが不整合です。本機とコンテンツのバージョンをあわせてください。

UNKNOWN DEVICE CONNECTED!

未対応の DVD ドライブなどが接続されています。接続を解除後、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。

■ V

VERIFICATION FAILED!

コピー後のベリファイで不一致が発見されました。再度コピーを行ってください。

■ W

WRITE PROTECTED!

P2 カード、SD カードがライトプロテクトされています。書き込み可能なメディアを挿入してください。

エラー表示

本機や P2 カードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■ 数字

1394 INITIAL ERROR

(接続異常)

DVCPRO/DV 入力端子 (IEEE1394) の接続に異常があるか、信号が正しく入出力できていません。本機や相手機器の接続を確認してください。エラー表示が消えない場合は、電源を入れ直してください。

1394 INPUT ERROR (OTHER FORMAT)

入力信号フォーマットがシステムフォーマットと異なります。

■ C

CANNOT PLAY

再生時に異常が生じたときに表示します。

CARD ERR (1) (2) (1/2)

(数字のスロットの P2 カード異常)

- 警告がつづく場合は電源を OFF にしてください。
- 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

■ R

REC WARNING

記録時に異常が生じたときに表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ S

SYSTEM ERROR

以下の異常時に表示します。

- システムに異常が発生したとき表示します。電源を入れ直してください。
 - 接続 HDD の故障が考えられます。接続 HDD をチェックしてください。
- P2 MICON ERROR (P2 マイコン応答なし)
P2 CONTROL ERROR (P2 制御異常)

■ T

TURN POWER OFF

カードをアクセス中に抜いて異常が発生したときに表示します。電源を入れ直してください。

画面表示内容の選択

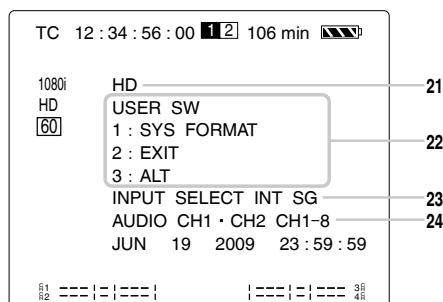
液晶モニター画面に表示する下記の項目は、[MENU/MODE CHK] を押しただままにしたときや、設定メニュー「DISPLAY SETUP」-「OTHER DISPLAY」(→101 ページ) の設定により表示します。

表示項目	MODE CHECK	OTHER DISPLAY の設定	
		ON	OFF
1 タイムコード表示	○	—	—
2 ワーニング情報	—	—	—
3 システムフォーマット表示	○	○	×
4 圧縮記録フォーマット表示	○	○	○
5 システム周波数表示	○	○	×
6 INPUT LOCK	—	○	×
7 スクイーズ記録表示	○	○	×
8 日付と時刻表示	○	—	—
9 再生フレームレート表示*	○	○	×
10 オーディオレベルメーター表示	○	—	—
11 USB HOST 表示	○	○	○
12 テキストメモ、ショットマーク表示	—	—	—
13 情報表示	○	—	—
14 動作状態表示	○	○	○
15 HDD 簡易再生表示	○	○	○
16 リピート再生設定表示	○	○	×
17 バッテリー残量表示	○	—	—
18 メディア情報表示	○	—	—
19 メディア残量表示	○	—	—
20 モニター音量レベルメーター	—	—	—
21 設定圧縮記録フォーマット	○	×	×
22 USER SW	○	×	×
23 INPUT SELECT	○	×	×
24 音声出力チャンネル	○	×	×

○：表示する ×：表示しない —：他の設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、[MENU/MODE CHK] を押しただままにすると表示される項目を示しています。

※ FRAME RATE が 60i のときは表示されません。



21 設定圧縮記録フォーマット

設定されている圧縮記録フォーマットを表示します。(→79 ページ)

22 USER SW

設定メニュー「SW MODE」の USER1 ~ 3 項目に割り当てられている機能を表示します。(→95 ページ)

23 INPUT SELECT

ビデオとオーディオの入力信号を表示します。(→88 ページ)

24 音声出力チャンネル

左から設定メニュー「AUDIO OUT」(→96 ページ) と「SD SDI AUDIO」(→99 ページ) の設定値を表示します。

記録／出力対応フォーマット一覧

■システム周波数の設定

設定メニューの設定により、以下のように記録／出力フォーマットが選択されます。

AG-HPG20 出力フォーマット一覧 (EE/記録時)

設定メニュー						記録	出力	設定メニュー	出力	設定メニュー	出力			
SYSTEM FREQ	SYS FORMAT	REC FMT (SD)	25M REC CH	REC FMT (HD)	INPUT SELECT	P2 カードに記録される信号	1394 信号フォーマット AUDIO	SDI SEL	SDI	SD SDI AUDIO	SDI AUDIO パケット ^{*1}			
59.94Hz /50Hz	1080/60i 1080/50i	-	-	AVC100 AVC50	SDI INT SG	1080i Audio 8ch	/	AUTO	1080i	-	8ch			
				1080i				1080i						
											720P	720p		
										480i/576i	480i, 576i	CH1-8 CH1-4/ CH5-8	8ch 4ch	
					DVCPRO (DVCPRO HD)	1394	1080i Audio 4ch のみ (ch1-4)	/	AUTO	1080i	-	8ch (ch5-8 は無音)		
										1080i			1080i	
									720P	720p		8ch (ch5-8 は無音)		
									480i/576i	480i, 576i	CH1-8 CH1-4/ CH5-8	8ch (ch5-8 は無音) 4ch (ch5-8 は無音)		
				AVC100 AVC50	SDI INT SG	720p Audio 8ch	/	AUTO	720p	-	8ch			
									1080i			1080i		
								720P	720p					
								480i/576i	480i, 576i	CH1-8 CH1-4/ CH5-8	8ch 4ch			
				DVCPRO (DVCPRO HD)	1394	720p Audio 4ch のみ (ch1-4)	/	AUTO	720p	-	8ch (ch5-8 は無音)			
													1080i	1080i
								720P	720p		8ch (ch5-8 は無音)			
								480i/576i	480i, 576i	CH1-8 CH1-4/ CH5-8	8ch (ch5-8 は無音) 4ch (ch5-8 は無音)			
		50M (DVCPRO50)	-	-	SDI INT SG 1394	480i/576i Audio 4ch (ch1-4)	/	AUTO	480i, 576i	-	4ch			
													1080i	1080i
								720P	720p		8ch (ch5-8 は無音)			
			4CH	-				480i/576i	480i, 576i		4ch			
	480/60i 576/50i				SDI INT SG 1394	480i/576i Audio 2ch (ch1-2)	/	AUTO	480i, 576i	-	4ch (ch3-4 は無音 ^{*2})			
													1080i	1080i
								720P	720p		8ch (ch3-8 は無音)			
			2CH	-				480i/576i	480i, 576i		4ch (ch3-4 は無音 ^{*2})			

※1 「EMBEDDED AUDIO」がOFF のときは AUDIO パケットは重畳しません。

※2 1394 入力で DV 信号を入力する場合、入力されるオーディオ信号が 32kHz/4ch(12Bit) の場合は、4ch 音声が出力されます。

- 1394 出力フォーマットは、AUTO のみとなります。1394 入出力は、AVC-Intra100/AVC-Intra50 には、対応していません。
- 再生モード以外では、VIDEO/SDI/1394 出力はモニター用途にご利用ください。映像 / 音声 / タイムコード (TC/UB) などが不正になることがあるので、記録用途には適していません。

AG-HPG20 出力フォーマット一覧 (再生時)

設定メニュー	再生	出力	設定メニュー	出力	設定メニュー	出力		
SYSTEM FREQ	P2 カードに記録されている信号	1394 信号 フォーマット AUDIO	SDI SEL	SDI 出力	SD SDI AUDIO	SDI AUDIO パケット*		
59.94Hz	1080/59.94i 1080/29.97p over 59.94i (2:2) 1080/23.98p over 59.94i (2:3) 1080/23.98pA over 59.94i (2:3:3:2) 1080/23.98pN 1080/29.97pN	1080/59.94i 8ch	AUTO	1080/59.94i	-	8ch		
			1080i	1080/59.94i				
			720P	720/59.94p				
			480i	480/59.94i			CH1-8	8ch
							CH1-4/ CH5-8	4ch
	720/59.94p 720/29.97p over 59.94p (2:2) 720/23.98p over 59.94p (2:3) 720/23.98pN 720/29.97pN	720/59.94p 8ch	AUTO	720/59.94p	-	8ch		
			1080i	1080/59.94i				
			720P	720/59.94p			CH1-8	8ch
			480i	480/59.94i			CH1-4/ CH5-8	4ch
50Hz	1080/50i 1080/25p over 50i (2:2) 1080/25pN	1080/50i 8ch	AUTO	1080/50i	-	8ch		
			1080i	1080/50i				
			720P	720/50p			CH1-8	8ch
			576i	576/50i			CH1-4/ CH5-8	4ch
	720/50p 720/25p over 50p (2:2) 720/25pN	720/50p 8ch	AUTO	720/50p	-	8ch		
			1080i	1080/50i				
			720P	720/50p			CH1-8	8ch
			576i	576/50i			CH1-4/ CH5-8	4ch
576/50i 576/25p over 50i (2:2)	576/50i 4ch (ch1-4)/ 2ch (ch1-2)	AUTO	576/50i	-	4ch (ch1-4)			
		1080i	1080/50i			8ch (ch5-8は 無音)		
		720P	720/50p			4ch (ch1-4)		
		576i	576/50i			4ch (ch1-4)		

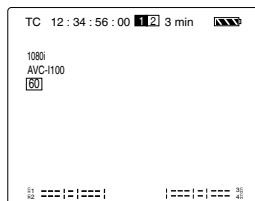
※「EMBEDDED AUDIO」が OFF のときは AUDIO パケットは重畳しません。

- 1394 出力フォーマットは、AUTO のみとなります。1394 入出力は、AVC-Intra100/AVC-Intra50 には、対応していません。

設定メニューの基本操作

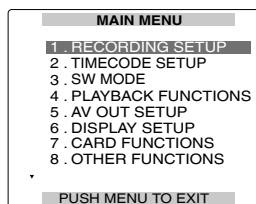
1 [POWER] を 1 秒以上押しで電源を ON にする

2 [THUMBNAİL/MODE] を押しで通常表示画面に切り替える



3 [MENU/MODE CHK] を押しでメニューを表示させる

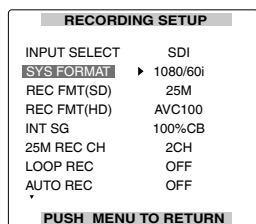
例：



4 ▽、△で設定する機能に反転表示している部分を移動する

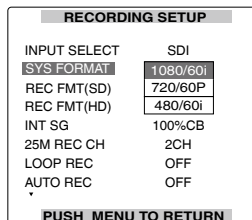
5 □を押しで設定項目を表示する

例：



6 ▽、△で、設定したい項目に移動する

7 □を押ししたあと、▽、△で変更する設定値を選んで□を押し



数値などを変更するときは、▶、◀で設定値を変更します。

8 他の項目を変更する場合は、6～7を繰り返す

設定を終了する場合は、[MENU/MODE CHK] を押しで、通常表示画面に戻ります。

9 他の機能を変更する場合は、3～7を繰り返す

設定を終了する場合は、[MENU/MODE CHK] を押しで、通常表示画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

設定メニューのユーザーファイルを、工場出荷時の状態に初期化することができます。

1 通常表示画面に切り替える

2 [MENU/MODE CHK] を押し

3 ▽、△、□で、「OTHER FUNCTIONS」 - 「USER FILE」 - 「INITIAL」を選んで□を押し

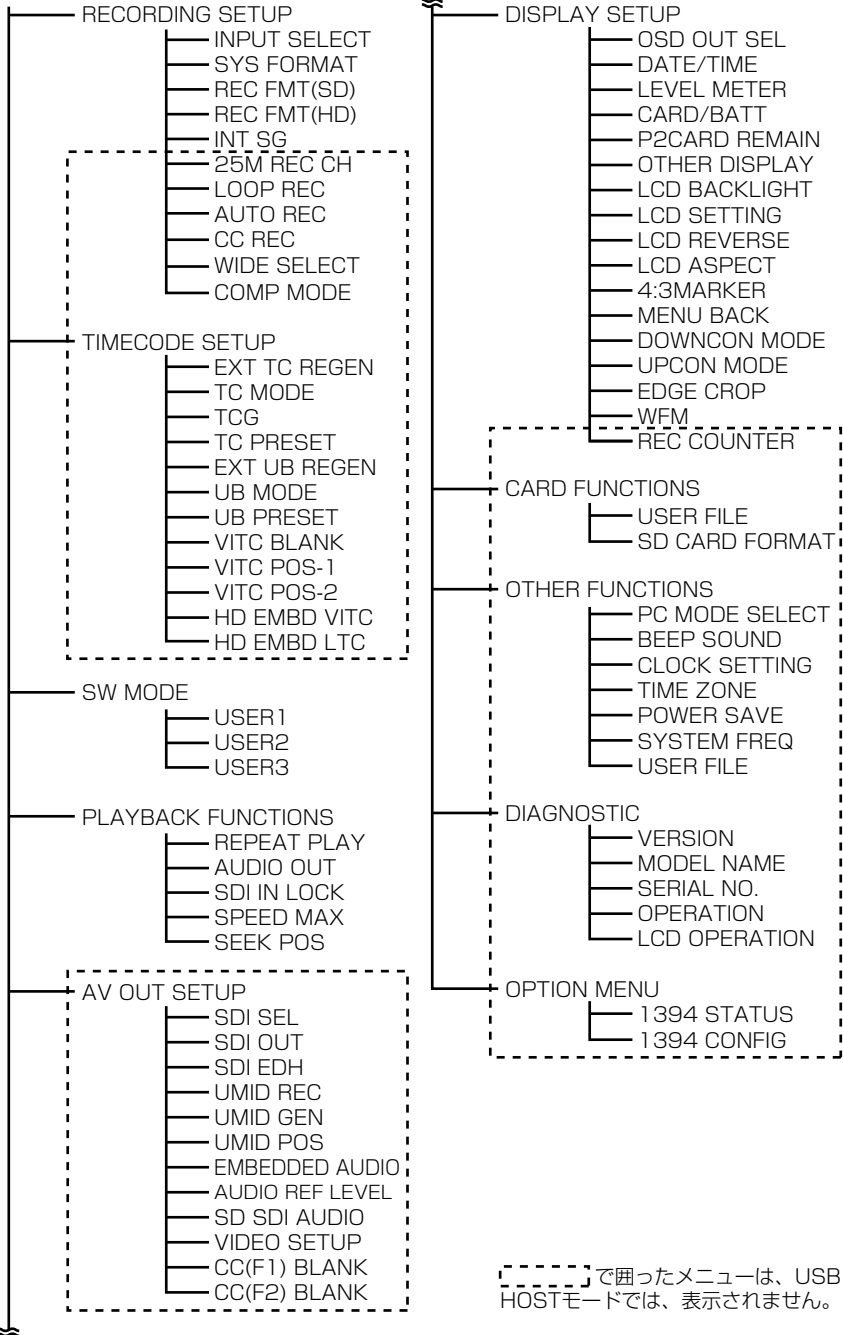
4 △、▽で「YES」を選んで□を押し

「TURN POWER OFF」が表示されたら、一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。

現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定が工場出荷時の状態に戻ります。

設定メニューの構成

MAIN MENU



----- で囲ったメニューは、USB HOSTモードでは、表示されません。

設定メニューの一覧

RECORDING SETUP 画面

項目	設定内容
INPUT SELECT	<p>ビデオとオーディオの入力信号を選択します。</p> <p>SDI: 入力信号を SDI に設定します。 <ノート> SDI 入力信号が記録システムフォーマットと異なる場合には、映像はブラックに、音声はミュートされます。また、TC は正規ではありません。 (設定メニュー「SYSTEM FREQ」を 59.94Hz に設定しているとき、60.00Hz (ジャスト) の信号を入力された場合は、出力映像はブラックではなく、ノイズとなります)</p> <p>1394: 入力信号を 1394 に設定します。 <ノート> <ul style="list-style-type: none"> 1394 に設定した場合、EE/記録時は、SDI/VIDEO 出力には TC 等の付加情報は出力されません。 設定メニュー「REC FMT(HD)」が AVC100 または AVC50 を選択している状態で、本項目で 1394 を選択した場合、機器としては設定メニュー「INT SG」の 100%CB の設定状態となります。 </p> <p>INT SG: 入力信号を内蔵信号に設定します。(→ 89 ページ) 音声は 1kHz の基準レベルになります。</p>
SYS FORMAT	<p>本機の記録システムフォーマットを設定します。 (59.94Hz 設定時)</p> <p>1080/60i: 記録システムフォーマットに 1080/60i を設定します。</p> <p>720/60P: 記録システムフォーマットに 720/60p を設定します。</p> <p>480/60i: 記録システムフォーマットに 480/60i を設定します。</p> <p>(50Hz 設定時)</p> <p>1080/50i: 記録システムフォーマットに 1080/50i を設定します。</p> <p>720/50P: 記録システムフォーマットに 720/50p を設定します。</p> <p>576/50i: 記録システムフォーマットに 576/50i を設定します。</p>
REC FMT(SD)	<p>設定メニュー「SYS FORMAT」が 480/60i または 576/50i に設定されているときの圧縮記録フォーマットを設定します。</p> <p>50M: 圧縮記録フォーマットに DVCPRO50 を設定します。</p> <p>25M: 圧縮記録フォーマットに DVCPRO を設定します。</p> <p>DV: 圧縮記録フォーマットに DV を設定します。</p>
REC FMT(HD)	<p>設定メニュー「SYS FORMAT」が 1080/60i または 720/60P、1080/50i または 720/50P に設定されているときの圧縮記録フォーマットを設定します。</p> <p>DVCPRO: 圧縮記録フォーマットに DVCPRO HD を設定します。</p> <p>AVC50: 圧縮記録フォーマットに AVC-Intra50 を設定します。</p> <p>AVC100: 圧縮記録フォーマットに AVC-Intra100 を設定します。</p>

____ は工場出荷時の設定です。

RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
INT SG	<p>内蔵信号の種類を設定します。SD モード時、SMPTE 信号および ARIB 信号はブラックになります。</p> <p>100%CB: 100% カラーバー</p> <p>75%CB: 75% カラーバー</p> <p>SMPTE: SMPTE カラーバー</p> <p>ARIB: ARIB カラーバー</p> <p>BLACK: ブラック</p>
25M REC CH	<p>DVCPRO (25M) または DV の圧縮記録フォーマットで記録するときのオーディオのチャンネル数を設定します。</p> <p>2CH: 2 チャンネル記録します。</p> <p>4CH: 4 チャンネル記録します。</p> <p><ノート> 1394 入力の場合、上記の設定に関係なく、記録開始時の 1394 入力信号のオーディオチャンネル数分が記録されます。</p>
LOOP REC	<p>LOOP REC を行うかどうかを選択します。</p> <p>ON: LOOP REC を行います。</p> <p>OFF: LOOP REC を行いません。</p> <p><ノート> 電源再起動時には OFF になります。</p>
AUTO REC	<p>カメラレコーダーからの HD-SDI 入力信号の記録/停止信号に従って、自動的に記録/停止を行うかどうかを選択します。</p> <p>OFF: 自動的に記録/停止を行いません。</p> <p>TYPE1: HD-SDI に付加されている LTC 情報内の Recording Mark に従って自動的に記録/停止を行います。</p> <p>TYPE2: HD-SDI に付加されている SVITC 情報内の Recording Mark に従って自動的に記録/停止を行います。</p> <p>TYPE3: 他社製カメラレコーダー使用時に設定します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> • TYPE1 または TYPE2 の選択は、90 ページの「弊社カメラレコーダー、記録フォーマットと Recording Mark」を参照してください。 • TYPE3 対応確認機器は、ソニー株式会社製 HDW-F900R、PDW-700 です。(2008 年 11 月 確認)

_____ は工場出荷時の設定です。

HDW-F900R、PDW-700 は、ソニー株式会社の登録商標です。

設定メニューの一覧 (つづき)

RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
CC REC	59.94Hzのみ SD-SDI入力信号に多重されているクローズドキャプション信号を記録するかどうかを選択します。 ON: クローズドキャプション信号の記録を行います。 OFF: クローズドキャプション信号の記録を行いません。 <ノート> 入力信号として1394が選択されているときは、本メニューの設定に関係なく、入力信号に多重されたクローズドキャプション信号が記録されます。

_____ は工場出荷時の設定です。

弊社カメラレコーダー、記録フォーマットと Recording Mark

機種	記録フォーマット	Recording Mark Type	備考
AJ-HDC27F, H	720/24p over 60p	TYPE1	—
AJ-HDX400, A	1080/59.94i	—*	TYPE1/TYPE2への切り替えが可能です。操作方法は、弊社カメラレコーダーの取説説明書を参照してください。
AJ-HDX400E	1080/50i	—*	
	1080/25p over 50i	—*	
AJ-HDX900	720/59.94p	TYPE1	—
	720/23.98p over 59.94p	TYPE1	
	720/29.97p over 59.94p	TYPE1	
	1080/59.94i	—*	
	1080/23.98p over 59.94i	TYPE2	
	1080/29.97p over 59.94i	—*	
	1080/50i	—*	
	1080/25p over 50i	—*	
	720/50p	TYPE1	
720/50p over 50p	TYPE1		
AG-HPX555 AJ-HPX2100 AJ-HPX3000 AJ-HPX2700 AJ-HPX3700 AG-HPX175 AG-HPX300	720p	TYPE1、2	—
	1080i	TYPE2	—

* 初期設定の状態では、HD-SDI信号にRecording Markは重畳されていません。

RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
WIDE SELECT	<p>設定メニュー「SYS FORMAT」が 480/60i または 576/50i に設定されているとき、WIDE 情報を記録するかどうかを設定します。</p> <p>WIDE: 記録します。</p> <p>NORMAL: 記録しません。</p> <p><ノート> 設定メニュー「INPUT SELECT」で 1394 を選択した場合は、入力信号の情報がそのまま記録されます。</p>
COMP MODE	<p>記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。</p> <p>DARK: 約 10 IRE (70 mV) 以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。</p> <p>NORMAL: 通常の圧縮処理で記録します。</p> <p><ノート> DARK 設定は、次に示す条件を同時に満たすとき有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニュー「SYS FORMAT」が、720/60P または 720/50P 設定メニュー「REC FMT(HD)」が、DVCPRO 設定メニュー「INPUT SELECT」が、SDI または INT SG

TIMECODE SETUP 画面

項目	設定内容
EXT TC REGEN	<p>記録するタイムコードを選択します。</p> <p>ON: 設定メニュー「INPUT SELECT」により選択された外部入力信号のタイムコードを記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> HD-SDI 入力時: SLTC SD-SDI 入力時: VITC 1394 入力時: 1394 入力タイムコード情報 <p>OFF: 設定メニュー「TC MODE」、「TCG」で設定したタイムコードで記録します。</p> <p><ノート> ON にした場合は、設定メニュー「TC MODE」、「TCG」より優先されます。</p>
TC MODE (59.94Hz 設定時のみ)	<p>内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録するときの、タイムコード補正モードを選択します。設定メニュー「EXT TC REGEN」を「OFF」にする必要があります。</p> <p>DF: ドロップフレームモードを使用します。</p> <p>NDF: ノンドロップフレームモードを使用します。</p>
TCG	<p>内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。設定メニュー「EXT TC REGEN」を OFF にする必要があります。</p> <p>FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させます。</p> <p>REC RUN: 記録中のときに歩進させます。</p>
TC PRESET	<p>記録するタイムコードの初期値を設定します。設定メニュー「EXT TC REGEN」を「OFF」にする必要があります。</p>

<ノート>

24pN、24PA 信号で記録されたクリップをコマ送りするとき、連続した TC 値ではなく、欠落した TC 値が出力されます。

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

TIMECODE SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
EXT UB REGEN	<p>記録するユーザーズビットを選択します。</p> <p>ON: 設定メニュー「INPUT SELECT」により選択された外部入力信号のユーザーズビットで記録します。</p> <p>OFF: 設定メニュー「UB MODE」で選択されているユーザーズビットで記録します。 <ノート> ONにした場合は、設定メニュー「UB MODE」より優先されます。</p>
UB MODE	<p>ユーザーズビットとして記録する内容を設定します。「EXT UB REGEN」を OFF にする必要があります。(→ 64 ページ)</p> <p>USER: ユーザーの情報を記録します。</p> <p>TIME: 記録した時刻を記録します。</p> <p>DATE: 記録した日付を記録します。</p> <p>TCG: タイムコードジェネレーターの値を記録します。</p> <p>FRM. RATE: フレーム変換のフレームレート情報を記録します。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> * * 0 * * * * * a b c d </pre> </div> <p>a: ユーザーズビット値の検算情報</p> <p>b: フレームシーケンス No.</p> <ul style="list-style-type: none"> 60i/30p または 50i/25p モードのときは、F を表示。 <p>c: フレームレート情報</p> <ul style="list-style-type: none"> フレームレート (60/30/24/50/25) I/P 識別情報 変換情報 フレームレート係数 <p>d: 記録管理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新フレーム情報 REC START/STOP 情報 <p><ノート> ネイティブ記録されたクリップを再生する場合 SDI または 1394 出力のユーザーズビットをフレームレート情報にする場合は、この設定を FRM.RATE にしてクリップを再生してください。</p>
UB PRESET	<p>ユーザーズビットを設定します。「EXIT UB REGEN」を OFF にし、「UB MODE」で「USER」を選択している必要があります。(→ 64 ページ)</p>

_____ は工場出荷時の設定です。

TIMECODE SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
VITC BLANK	<p>再生時、設定メニュー「VITC POS-1」、「VITC POS-2」で指定した位置に VITC 信号を出力するかどうかを設定します。</p> <p>BLANK: 出力しません。</p> <p>THRU: 出力します。</p> <p><ノート> 本設定は、VIDEO 出力および SD-SDI 出力にのみ有効です。</p>
VITC POS-1	<p>VITC 信号の挿入位置を設定します。</p> <p>(59.94Hz 設定時)</p> <p><u>10L</u> <u>16L</u> 20L</p> <p>(50Hz 設定時)</p> <p>7L <u>11L</u> 22L</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> • TIMECODE SETUP 画面の「VITC POS-2」、AV OUT SETUP 画面の「UMID POS」と同じラインは選択できません。 • この設定は、VIDEO 出力および SD-SDI 出力にのみ有効です。

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

TIMECODE SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
VITC POS-2	<p>VITC 信号の挿入位置を設定します。 (59.94Hz 設定時)</p> <p>10L 18L 20L</p> <p>(50Hz 設定時)</p> <p>7L 13L 22L</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> • TIMECODE SETUP 画面の「VITC POS-1」、AV OUT SETUP 画面の「UMID POS」と同じラインは選択できません。 • この設定は、VIDEO 出力および SD-SDI 出力にのみ有効です。
HD EMBD VITC	<p>HD-SDI 出力に VITC 情報を重畳するかしないかを設定します。</p> <p>ON: 重畳します。</p> <p>OFF: 重畳しません。</p>
HD EMBD LTC	<p>HD-SDI 出力に LTC 情報を重畳するかしないかを設定します。</p> <p>ON: 重畳します。</p> <p>OFF: 重畳しません。</p>

_____ は工場出荷時の設定です。

SW MODE 画面

項目	設定内容
USER1	<p>USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>INPUT SEL: 入力信号設定 (→ 88 ページ)</p> <p>SYS FORMAT: システムフォーマットを選択します。(→ 88 ページ)</p> <p>REC FMT/SD: SD 時の記録フォーマットを選択します。(→ 88 ページ)</p> <p>REC FMT/HD: HD 時の記録フォーマットを選択します。(→ 88 ページ)</p> <p>SHOT MARK: クリップにショットマークを記録します。(→ 52 ページ)</p> <p>TEXT MEMO: テキストメモを記録します。(→ 58 ページ)</p> <p>LCD BL: LCD バックライトを設定します。(→ 101 ページ)</p> <p>OSD OUTSEL: OSD/GUI/WFM 出力の出力先を設定します。(→ 101 ページ)</p> <p>AUDIO OUT: オーディオアウトを選択します。(→ 96 ページ)</p> <p>SLOT SEL: 記録対象の P2 カードスロットを切り換えます。(→ 62 ページ)</p> <p>LCD RVS: LCD リバースを設定します。(→ 102 ページ)</p> <p>WFM: ウェーブフォームモニター (→ 62 ページ)</p> <p>ONE CLIP: 単一クリップ再生を行います。(→ 56 ページ)</p>
USER2	<p>[EXIT/2] に割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目に加え、次の機能の割り当ても可能です。</p> <p>EXIT: EXIT 機能を行います。</p>
USER3	<p>[ALT/3] に割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目に加え、次の機能の割り当ても可能です。</p> <p>ALT: ALT 機能を行います。</p>

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

PLAYBACK FUNCTIONS 画面

項目	設定内容
REPEAT PLAY	<p>リピート再生を設定します。(→ 57 ページ)</p> <p>ON: 最終クリップを再生後に先頭のクリップから再生を続けます。</p> <p>OFF: 最終クリップを再生後に停止します。 <ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> • テキストメモ画面の下段からの再生時は、リピート再生を行いません。 • リピート再生中に P2 カードを取り出した場合は、取り出した P2 カードにあるクリップに到達すると停止します。 • リピート再生中に P2 カードを挿入した場合、挿入した P2 カードにあるクリップは、次回リピート再生を行うときに再生されます。
AUDIO OUT	<p>AUDIO OUT 端子 (ピンジャック)、スピーカー、ヘッドホン端子から出力する音声信号を設定します。</p> <p>CH1・CH2: CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH2 信号</p> <p>CH1: CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH1 信号</p> <p>CH2: CH1 端子 = CH2 信号、CH2 端子 = CH2 信号</p> <p>CH3・CH4: CH1 端子 = CH3 信号、CH2 端子 = CH4 信号</p> <p>CH3: CH1 端子 = CH3 信号、CH2 端子 = CH3 信号</p> <p>CH4: CH1 端子 = CH4 信号、CH2 端子 = CH4 信号</p> <p>CH5・CH6: CH1 端子 = CH5 信号、CH2 端子 = CH6 信号</p> <p>CH5: CH1 端子 = CH5 信号、CH2 端子 = CH5 信号</p> <p>CH6: CH1 端子 = CH6 信号、CH2 端子 = CH6 信号</p> <p>CH7・CH8: CH1 端子 = CH7 信号、CH2 端子 = CH8 信号</p> <p>CH7: CH1 端子 = CH7 信号、CH2 端子 = CH7 信号</p> <p>CH8: CH1 端子 = CH8 信号、CH2 端子 = CH8 信号</p>

____ は工場出荷時の設定です。

PLAYBACK FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目	設定内容
SDI IN LOCK	P2 再生出力信号が、SDI 入力信号にロック (同期) するかを選択します。 INT: ロック (同期) しません。 INPUT: SDI 入力信号があるときは、その入力信号にロック (同期) します。 入力信号がないときは、ロック (同期) しません。 <ノート> 設定メニュー「INPUT SELECT」が SDI 設定で、設定メニュー「SYS FORMAT」と同一の SDI 入力信号が入力されているとき、EE/ 記録状態の場合、設定メニュー「SDI IN LOCK」の設定にかかわらず、出力信号は SDI 入力信号にロック (同期) しています。
SPEED MAX	可変速再生および早送り/早戻し再生の最大速度を設定します。 X32: × 32 倍速 X60: × 60 倍速 X100: × 100 倍速
SEEK POS	クリップ送りで移動する位置を選択します。 CLIP: クリップの先頭 CLIP&TMEMO: クリップの先頭、およびテキストメモの設定点

AV OUT SETUP 画面

項目	設定内容
SDI SEL	HD/SD-SDI OUT 端子から出力される映像信号を設定します。 (59.94 Hz 設定時) AUTO: 再生時はクリップフォーマットに従って自動的に出力を切り替えます。再生時以外は、設定メニュー「SYS FORMAT」に従って自動的に出力を切り替えます。 1080i: 1080/59.94i 720P: 720/59.94p 480i: 480/59.94i (50 Hz 設定時) AUTO: 再生時はクリップフォーマットに従って自動的に出力を切り替えます。再生時以外は、設定メニュー「SYS FORMAT」に従って自動的に出力を切り替えます。 1080i: 1080/50i 720P: 720/50p 576i: 576/50i
SDI OUT	SDI 出力の設定をします。 ON: SDI 出力をします。 OFF: SDI 出力をしません。
SDI EDH	SD-SDI 出力時にエラーディテクションハンドリング (EDH) の重畳を設定します。 ON: EDH を重畳します。 OFF: EDH を重畳しません。

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

AV OUT SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
UMID REC	UMID 情報を記録するかどうかを設定します。 ON: 記録します。 OFF: 記録しません。
UMID GEN	設定メニュー「UMID REC」が ON 設定時、記録する UMID 情報の生成方法を設定します。 INT: 常に新規生成した UMID 情報を記録します。 EXT: 入力信号に多重された UMID 情報を記録します。入力信号に多重されていないときは、新規生成した UMID 情報を記録します。
UMID POS	UMID 情報を多重するラインを設定します。 BLANK 12L 17L 19L <ノート> <ul style="list-style-type: none">• TIMECODE SETUP 画面の「VITC POS-1」、「VITC POS-2」と同じラインは選択できません。• DVCPRO HD のネイティブクリップの再生時は UMID は NO-INFO となります。

_____ は工場出荷時の設定です。

AV OUT SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
EMBEDDED AUDIO	<p>HD-SDI 出力と SD-SDI 出力にオーディオデータを重畳するかどうかを設定します。</p> <p>ON: 重畳します。</p> <p>OFF: 重畳しません。</p>
AUDIO REF LEVEL	<p>基準レベルを設定します。</p> <p>FS-20: -20dB</p> <p>FS-18: -18dB</p> <p>FS-12: -12dB</p>
SD SDI AUDIO	<p>HD 信号をダウンコンバートして SD-SDI 信号出力するとき、SD-SDI 上に重畳する音声の CH を選択します。</p> <p>CH1-4: CH1-4 を CH1-4 に出力します。</p> <p>CH5-8: CH5-8 を CH1-4 に出力します。</p> <p>CH1-8: CH1-8 を CH1-8 に出力します。</p>
VIDEO SETUP (59.94Hz 設定時のみ 項目が表示されます)	<p>再生時の映像信号のセットアップレベルを設定します。</p> <p>0%: 出力セットアップ 0% になります。</p> <p>7.5%: 出力セットアップ 7.5% になります。</p>

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

AV OUT SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
CC(F1) BLANK	59.94Hzのみ SD-SDI 出力および VIDEO 出力から出力される第 1 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を設定します。 BLANK: 強制ブランキングします。 THRU: そのまま出力します。 <ノート> 記録/記録待機状態では、入力信号に多重されたクローズドキャプション信号がそのまま出力されます。
CC(F2) BLANK	59.94Hzのみ SD-SDI 出力および VIDEO 出力から出力される第 2 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を設定します。 BLANK: 強制ブランキングします。 THRU: そのまま出力します。 <ノート> 記録/記録待機状態では、入力信号に多重されたクローズドキャプション信号がそのまま出力されます。

_____ は工場出荷時の設定です。

DISPLAY SETUP 画面

項目	設定内容
OSD OUT SEL	<p>液晶モニターに表示している情報を、映像出力信号や SDI 出力信号にも出力選択します。</p> <p>LCD: 液晶モニターのみに表示します。</p> <p>LCD・VIDEO: 液晶モニターと VIDEO 出力に表示します。</p> <p>ALL: 液晶モニターと VIDEO 出力と SDI 出力のすべてに表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニュー「WFM」が OFF のとき、WFM は出力しません。 設定メニュー「SW MODE」(→ 95 ページ) で [USER] に OSD OUT SEL を設定する場合、本項目の設定値に応じて、情報の出力先が次に示すとおり循環します。 <p>LCD のとき: 液晶モニター→液晶モニター… (循環しません)</p> <p>LCD・VIDEO のとき: 液晶モニター→液晶モニターと VIDEO 出力→液晶モニター…</p> <p>ALL のとき: 液晶モニター→液晶モニターと VIDEO 出力→液晶モニターと VIDEO 出力と SDI 出力→液晶モニター…</p> <ul style="list-style-type: none"> [USER] で情報の出力先を切り替えた場合でも、設定メニュー「OSD OUT SEL」の設定値はそのままとなります。
DATE/TIME	<p>液晶モニターに、日付や時刻を表示する設定を行います。</p> <p>TIME: 時刻を表示します。</p> <p>DATE: 日付を表示します。</p> <p>TIME&DATE: 日付と時刻を表示します。</p> <p>OFF: 日付や時刻を表示しません。</p>
LEVEL METER	<p>オーディオレベルメーターの表示 ON/OFF を切り替えます。</p> <p>CH1-4: CH1 から CH4 のオーディオを表示します。</p> <p>CH5-8: CH5 から CH8 のオーディオを表示します。</p> <p>OFF: 表示しません。</p>
CARD/BATT	<p>カードとバッテリー残量の表示 ON/OFF を切り替えます。</p> <p>ON: 表示します。</p> <p>OFF: 表示しません。</p> <p><ノート></p> <p>OFF の場合でも、バッテリー残量が少なくなると、バッテリー残量を表示します。</p>
P2CARD REMAIN	<p>P2 カード残量計算のしかたを設定します。</p> <p>ONE-CARD: 選択中のスロットにある P2 カードの残量を計算します。</p> <p>TOTAL: すべてのスロットにある P2 カードの残量を合計します。</p>
OTHER DISPLAY	<p>液晶モニターに表示する情報を設定します。(→ 83 ページ)</p> <p>ON: すべて表示します。</p> <p>OFF: すべて表示しません。</p>
LCD BACKLIGHT	<p>液晶モニターのバックライトを調整します。HIGH に設定すると、通常より明るくなります。</p> <p>HIGH: 液晶モニターを明るい輝度にしします。</p> <p>NORMAL: 液晶モニターを通常の輝度にしします。</p>

____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

DISPLAY SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
LCD SETTING	<p>液晶モニター映像の表示レベルを調整します。(→ 24 ページ) RETURN: 調整を行いません。 CHANGE: 調整を行います。</p> <p>LCD COLOR LEVEL LCD BRIGHTNESS LCD CONTRAST <ノート> すべての液晶モニター調整値を最小にすると、メニュー画面が見えにくくなります。</p>
LCD REVERSE	<p>液晶モニターの表示を上下左右反転表示する機能の設定をします。 NORMAL: 通常表示 REVERSE: 上下左右反転表示 <ノート> REVERSE 設定時、設定メニューの反転表示が移動する方向や、サムネール表示画面のカーソルの移動する方向も上下左右反転します。</p>
LCD ASPECT	<p>SD フォーマットのクリップを表示するときの、液晶モニターのアスペクトを選択します。 AUTO: 入力信号や P2 カードに記録されている信号等の情報をもとに自動的に切り替えます。 4:3: 4:3 に固定します。 <ノート> 16:9 表示は、画面上下に黒帯が表示されます。映像は欠けません。</p>
4:3MARKER	<p>液晶モニターに 4:3 マーカーを表示するかどうか設定します。 ON: 表示します。 OFF: 表示しません。</p>
MENU BACK	<p>メニュー表示画面のバックグラウンドの透過率を下げて文字を見やすく設定します。 ON: バックグラウンド透過率を下げます。 ・ 設定メニュー「DISPLAY SETUP」 - 「LCD SETTING」の設定中は透過率は下がりません。 OFF: バックグラウンド透過率 100 %</p>
DOWNCON MODE	<p>SD-SDI 出力および VIDEO 出力へのダウンコンパート変換のアスペクト比を選択します。 SIDE CROP: 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します (アスペクト比は維持) LETTER BOX: 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します (アスペクト比は維持) SQUEEZE: 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します (アスペクト比は歪むおそれがあります)</p>
UPCON MODE	<p>HD-SDI 出力へのアップコンパート変換のアスペクト比を選択します。 S-PANEL: 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します (アスペクト比は維持) CROP: 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します (アスペクト比は維持) STRETCH: 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します (アスペクト比は歪むおそれがあります)</p>

____ は工場出荷時の設定です。

DISPLAY SETUP 画面 (つづき)

項目	設定内容
EDGE CROP	設定メニュー「DOWNCON MODE」が「SIDE CROP」のとき、ダウンコンバート変換の SD-SDI 出力および VIDEO 出力映像の切り出し位置を設定します。 - 120 ~ 0 ~ + 120 <ノート> 液晶モニターは、「LETTER BOX」のままです。
WFM	ウェーブフォームモニターの表示を切り替えます。 OFF: 表示しません。 WAVE: 波形表示します。 VECTOR: ベクトル表示します。 [USER] に WFM を割り当てるときは以下の通り設定値が循環します。 ・ WFM 設定値が OFF のとき： OFF → WAVE → VECTOR → OFF… ・ WFM 設定値が WAVE のとき： OFF → WAVE → OFF… ・ WFM 設定値が VECTOR のとき： OFF → VECTOR → OFF… <ノート> [USER] にて WFM 表示を切り替えた場合でも、設定メニュー「WFM」設定値はそのままとなります。
REC COUNTER	記録時のカウンターの動作を選択します。 TOTAL: [RESET] でリセットするまでカウントを継続します。 CLIP: 撮影開始時にカウンターをリセットし、撮影単位の時間をカウントします。 <ノート> 記録待機中および記録中のみ表示されます。

CARD FUNCTIONS 画面

項目	設定内容
USER FILE	設定メニューの設定値を4つまでSDカードへ保存できます。保存したファイルにはタイトルを付けることもできます。(→ 32 ページ)
SD CARD FORMAT	SDカードをフォーマットします。(→ 31 ページ)

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	設定内容																																																																																																												
PC MODE SELECT	データ転送モードを選択します。 USB HOST: USB 接続している外部 HDD を制御することができます。 USB DEVICE: USB 接続している PC から認識可能になります。																																																																																																												
BEEP SOUND	ビープ音の ON/OFF を切り替えます。(→ 107 ページ) ON: ビープ音を出力します。 OFF: ビープ音を出力しません。 <ノート> ビープ音を発信するときは出力端子からの音声をミュートします。																																																																																																												
CLOCK SETTING	本機の内蔵カレンダーを設定します。(→ 25 ページ)																																																																																																												
TIME ZONE	GMT に対して、- 12:00 から + 13:00 まで 30 分単位 (ただし +12:30 は設定なし、+12:45 はあり) で設定します。(下記参照) +9 : 00																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時差</th> <th>地域</th> <th>時差</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>00:00</td> <td>グリニッジ</td> <td>- 00:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 01:00</td> <td>アゾレス諸島</td> <td>- 01:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 02:00</td> <td>中部大西洋</td> <td>- 02:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 03:00</td> <td>ブレノスアイレス</td> <td>- 03:30</td> <td>ニューファンドランド島</td> </tr> <tr> <td>- 04:00</td> <td>ハリファックス</td> <td>- 04:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 05:00</td> <td>ニューヨーク</td> <td>- 05:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 06:00</td> <td>シカゴ</td> <td>- 06:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 07:00</td> <td>デンバー</td> <td>- 07:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 08:00</td> <td>ロサンゼルス</td> <td>- 08:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 09:00</td> <td>アラスカ</td> <td>- 09:30</td> <td>マルケサス諸島</td> </tr> <tr> <td>- 10:00</td> <td>ハワイ</td> <td>- 10:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 11:00</td> <td>ミッドウェイ諸島</td> <td>- 11:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>- 12:00</td> <td>クワジャリン</td> <td>+ 11:30</td> <td>ノーフォーク島</td> </tr> <tr> <td>+ 13:00</td> <td></td> <td>+ 10:30</td> <td>ロード・ハウ・アイランド*</td> </tr> <tr> <td>+ 12:00</td> <td>ニュージーランド</td> <td>+ 09:30</td> <td>ダーウィン諸島</td> </tr> <tr> <td>+ 11:00</td> <td>ソロモン諸島</td> <td>+ 08:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>+ 10:00</td> <td>グアム</td> <td>+ 07:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>+ 09:00</td> <td>東京</td> <td>+ 06:30</td> <td>ラングーン</td> </tr> <tr> <td>+ 08:00</td> <td>北京</td> <td>+ 05:30</td> <td>ボンベイ</td> </tr> <tr> <td>+ 07:00</td> <td>バンコク</td> <td>+ 04:30</td> <td>カブル</td> </tr> <tr> <td>+ 06:00</td> <td>ダッカ</td> <td>+ 03:30</td> <td>テヘラン</td> </tr> <tr> <td>+ 05:00</td> <td>イスラマバード</td> <td>+ 02:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>+ 04:00</td> <td>アブダビ</td> <td>+ 01:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>+ 03:00</td> <td>モスクワ</td> <td>+ 00:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>+ 02:00</td> <td>東ヨーロッパ</td> <td>+ 12:45</td> <td>チャタム諸島</td> </tr> <tr> <td>+ 01:00</td> <td>中央ヨーロッパ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	時差	地域	時差	地域	00:00	グリニッジ	- 00:30		- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30		- 02:00	中部大西洋	- 02:30		- 03:00	ブレノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島	- 04:00	ハリファックス	- 04:30		- 05:00	ニューヨーク	- 05:30		- 06:00	シカゴ	- 06:30		- 07:00	デンバー	- 07:30		- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30		- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島	- 10:00	ハワイ	- 10:30		- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30		- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島	+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド*	+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島	+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30		+ 10:00	グアム	+ 07:30		+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン	+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ	+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブル	+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン	+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30		+ 04:00	アブダビ	+ 01:30		+ 03:00	モスクワ	+ 00:30		+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島	+ 01:00	中央ヨーロッパ		
時差	地域	時差	地域																																																																																																										
00:00	グリニッジ	- 00:30																																																																																																											
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30																																																																																																											
- 02:00	中部大西洋	- 02:30																																																																																																											
- 03:00	ブレノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島																																																																																																										
- 04:00	ハリファックス	- 04:30																																																																																																											
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30																																																																																																											
- 06:00	シカゴ	- 06:30																																																																																																											
- 07:00	デンバー	- 07:30																																																																																																											
- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30																																																																																																											
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島																																																																																																										
- 10:00	ハワイ	- 10:30																																																																																																											
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30																																																																																																											
- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島																																																																																																										
+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド*																																																																																																										
+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島																																																																																																										
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30																																																																																																											
+ 10:00	グアム	+ 07:30																																																																																																											
+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン																																																																																																										
+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ																																																																																																										
+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブル																																																																																																										
+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン																																																																																																										
+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30																																																																																																											
+ 04:00	アブダビ	+ 01:30																																																																																																											
+ 03:00	モスクワ	+ 00:30																																																																																																											
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島																																																																																																										
+ 01:00	中央ヨーロッパ																																																																																																												

____ は工場出荷時の設定です。

OTHER FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目	設定内容
POWER SAVE	<p>約5分間、ボタンの操作がなかったときの省電力モードを選択します。</p> <p>ON: 本機の電源を OFF の状態にします。</p> <p>OFF: 本機の電源を OFF にせずに通電状態を保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IEEE1394 ケーブルおよび USB ケーブルで外部機器と接続して通信状態になっているときは、上記ボタンの操作がなかった場合でも電源 OFF にはなりません。 この設定が ON となっても、再生中 (可変速再生、早送り / 早戻し再生、一時停止含む) および記録中は、電源 OFF にはなりません。
SYSTEM FREQ	<p>システムの周波数を切り替えます。</p> <p>59.94 Hz、50 Hz <ノート> システム周波数の変更を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の電源を入れ直してください。</p>
USER FILE	<p>LOAD: 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。</p> <p>SAVE: 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。</p> <p>INITIAL: ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。</p> <p>LOAD や INITIAL を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の電源を入れ直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> INITIAL を実行しても、設定メニュー「TIME ZONE」(→ 104 ページ) の設定は変更されません。

DIAGNOSTIC 画面

項目	設定内容
VERSION	バージョンを表示します。 サブ画面でさらに詳細なバージョンを表示します。
MODEL NAME	モデル名を表示します。
SERIAL NO.	製造番号を表示します。
OPERATION	通電時間 (5 けた) を表示します。
LCD OPERATION	液晶モニターのバックライトの通電時間 (5 けた) を表示します。

_____ は工場出荷時の設定です。

設定メニューの一覧 (つづき)

OPTION MENU 画面

通常表示画面で  を押したまま [MENU/MODE CHK] を押すと、設定メニューに OPTION MENU が表示されます。

項目	設定内容
1394 STATUS	1394 状態表示サブ画面が表示されます。 FORMAT: 入力、もしくは出力されている信号フォーマット RATE: 入力、もしくは出力されている信号の転送レート 60/50: 入力、もしくは出力されている信号の方式 CH: 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 SPEED: 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 STATUS: IEEE1394 デジタルインターフェースで入力、もしくは出力されている信号の状態 VIDEO: 入力、もしくは出力されるビデオ信号の状態 AUDIO: 入力、もしくは出力されるオーディオ信号の状態
1394 CONFIG	1394 拡張用のメニューです。 DFLT: 通常はこのままでお使いください。 1-255

_____ は工場出荷時の設定です。

警告システム一覧表

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、電源表示 LED およびビープ音 (設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」-「BEEP SOUND」が ON に設定されているとき (→ 104 ページ)) に異常を知らせます。

優先	警告の種類	液晶モニター画面表示	電源表示 LED	ビープ音	警告の内容と記録再生動作	対策
1	システムエラー	SYSTEM ERROR 要因表示*1 赤く点滅	4回/秒で点滅	連続音	P2 マイコン、または制御の異常です。 動作は停止します。	要因表示 *1 を確認し、販売店にご相談ください。
2	P2 カード取り出し異常	TURN POWER OFF 赤く点滅	4回/秒で点滅	連続音	アクセス中の P2 カードを取り出したため、内部メモリーに異常が発生しています。 アクセス LED が 2 つとも橙点滅 (4Hz) します。	電源を OFF にしてください。 取り出した P2 カードのクリップに異常がある場合、修復を行ってください。
3	バッテリーエンド	LOW BATTERY 赤く点滅、バッテリー残量表示が空の状態 で点滅します。(設定メニューで表示を OFF に設定していても表示 します)	1回/秒で点滅	連続音	バッテリーの消耗です。 記録再生は停止します。 さらに電圧が下がると自動的に電源が OFF になります。	バッテリーを交換します。
4	P2 カード記録エンド	REC FULL 赤く点滅 (REC) を押したときは 3 秒間のみ表示)	記録終了後 4回/秒で点滅	記録終了後に連続音	P2 カードの記録容量がなくなりました。 記録を停止します。*3	不要なクリップを消去するか、新しいカードを入れます。
5	記録異常	REC WARNING 要因表示 *2 赤く点滅	4回/秒で点滅	4回/秒の断続音	記録の異常です。 記録を停止します。*4	一度電源 OFF にしたあと、再度 ON にしてから、記録/再生の確認を行ってください。 正常に記録できない場合は P2 カードを交換してください。
6	バッテリーニアエンド	バッテリー残量表示が 1 個点滅。(設定メニューで表示を OFF に設定していても表示 します)	1回/秒で点滅	無し	バッテリーの消耗間近です。 動作は継続されます。	必要に応じて、バッテリーを交換してください。
7	P2 カード記録ニアエンド	メディア残量表示が点滅	記録中に 1回/秒で点滅	無し	P2 カード残り 2 分未満 (残量表示が 1 分以下) になった。 記録中のみ警告します。	必要に応じて、P2 カードを交換するか、追加挿入してください。
8	記録時入力映像フレーム乱れ	IRREGULAR FRM SIG	記録中に 1回/秒で点滅	2回/秒の断続音	入力信号乱れのため記録を停止します。入力信号が安定すると自動的に記録を再開します。	入力信号を確認してください。

※1 P2 SYSTEM ERROR 要因表示

- P2 MICON ERROR : P2 マイコンが応答していません
- P2 CONTROL ERROR : P2 記録制御に異常が発生
- REC RAM OVERFLOW : 記録 RAM のオーバーフロー

※2 REC WARNING 要因表示

- CARD ERROR * : P2 カード異常 (*には異常カードのスロット番号を表示)
- REC RAM OVERFLOW : 記録 RAM のオーバーフロー
- ERROR : その他の記録異常

※3 以下の操作を行うと、警告は止まります。


- 再生系操作ボタン (STOP、PLAY、STILL、FF、REW) を押したとき
- [THUMBNAIL/MODE] を 2 秒以上押し続けたままにして、PC モードにしたとき
- P2 カードを取り出したり、別のカードを挿入したとき

※4 以下の操作を行うと、警告は止まります。

- 再生系操作ボタン (STOP、PLAY、STILL、FF、REW) を押したとき
- P2 カードを取り出したとき

故障？と思ったら (Q&A)

電源関係

電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。● 電源を入れるときは [POWER] を 1 秒以上押ししてください。	P 19 P 20
電源が勝手に切れる。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーの消耗を防ぐために、操作をしていない状態が 5 分以上つづくと、自動的に電源が切れます。設定メニュー「OTHER FUNCTIONS」－「POWER SAVE」を確認してください。	P 105
電源が入ってもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、 の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。	P 80

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none">● 十分に充電されていますか。AC アダプターの CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。● 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。● バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。	P 18 — —
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none">● DC コードが AC アダプターに接続されていると、充電できません。	P 19

記録

記録が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源が ON になっていますか。 • バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。 	P 20 —
P2 カードを正しく入れているのに記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> • P2 カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていませんか。「PROTECT」側になっていると記録できません。 • P2 カードのメモリー残量が極端に少なくなっていますか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。 • P2 カードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。本機でフォーマットしてください。 • 2 GB の P2 カードは使用できません。 	P 27 P 53 P 27 P 29
1 回の記録で作成したクリップが分割されている。	<ul style="list-style-type: none"> • 記録中に入力信号が乱れた場合、クリップが分割されて記録されることがあります。 	—

故障？と思ったら (Q&A) (つづき)

再生

早送り再生、早戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	• デジタル特有の現象です。故障ではありません。	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	• テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。	—
本機のスピーカーから再生音が出ない。	• 本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。PAGE/AUDIO MON/VAR ボタン+ を押して音量を調整してください。 • ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しているときは、スピーカーからの音声が聞こえません。	P 80 —
ホットスワップ再生ができない。	• 本機はホットスワップ再生に対応していません。つづけて再生する場合には一度停止し、P2 カードを入れ替えてください。	P 62

SD カード

SD カードが読めない。	• SD カードが正しくフォーマットされていますか。本機でフォーマットしてください。	P 31
--------------	--	------

本機搭載ドライバーのアップデート

ドライバーのアップデート方法には下記の 2 通りがあります。

1. 専用ツール P2 Status Logger で確認し、アップデートする方法

PASS (P2 Asset Support System) に会員登録を頂いたお客様のみ、ご利用することができます。

PASS にログインして専用ツール (P2_Status_Logger) を使用すると、お使いの機器のバージョン情報の確認や、必要なドライバーのページへリンクしてのダウンロードが可能になります。P2_Status_Logger のダウンロードおよび使い方については、PASS にログイン後のページを参照ください。

その他、会員登録をいただくといろいろな特典を受けることができます。詳細は PASS (P2 Asset Support System) のサイト (http://panasonic.biz/sav/pass_j/) をご確認ください。

2. ご使用機器本体でバージョンを確認しアップデートする方法

設定メニュー「DIAGNOSTIC」－「VERSION」で本機のバージョンを確認の上、下記 NOTE に記載されたサイトのドライバーに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてドライバーをダウンロードしてください。

◆ NOTE:

- アップデートはダウンロードしたファイルを、SD カードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>
- 本機で使用する SD カードは、SD または SDHC 規格に準拠したものをお使いください。また、SD カードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、本機が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、AC コードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布で本機をふいてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴（露）が付くのと同じ原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
- 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10 分程度放置したままお待ちください。

保管上のお願い

保管時は、本機からバッテリーを外してください。湿気が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨周囲温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

本機

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。
- 外装の劣化や液晶画面の損傷のおそれがありますので、直射日光が当たらない場所で保管してください。

バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- **バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れるとやけどをするおそれがあります。**
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使い切って再保管することをおすすめします。

P2カード・SDカード

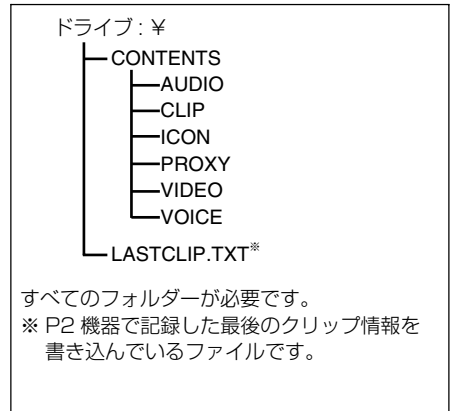
- P2カードを本機から取り出したときは、必ず専用キャップを取り付けて砂やほこりがコネクタ一部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- SDカードを本機から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿気の高い所やほこりが多い所には置かないでください。

P2 カード記録データの取り扱いについて

P2 カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「P2 シリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

■ P2 カードに記録するデータ（P2 データ）は、ファイル形式のため、PC との親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXF ファイル化される映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2 データとして認識できない、もしくはカードが P2 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



■ P2 カード内のデータを PC などに転送したり、PC に格納したデータを P2 カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2 ビューアー」または「P2 コンテンツマネジメントソフトウェア」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。（対応 OS についても、下記ウェブサイトをご参照ください）

<http://panasonic.biz/sav/>

■ Microsoft Windows Explorer や Apple Finder など、一般の IT ツールを使用して PC に転送する場合は、下記のように行ってください。
なお、P2 カードへ戻す場合は、必ず「P2 ビューアー」または「P2 コンテンツマネジメントソフトウェア」をご使用ください。

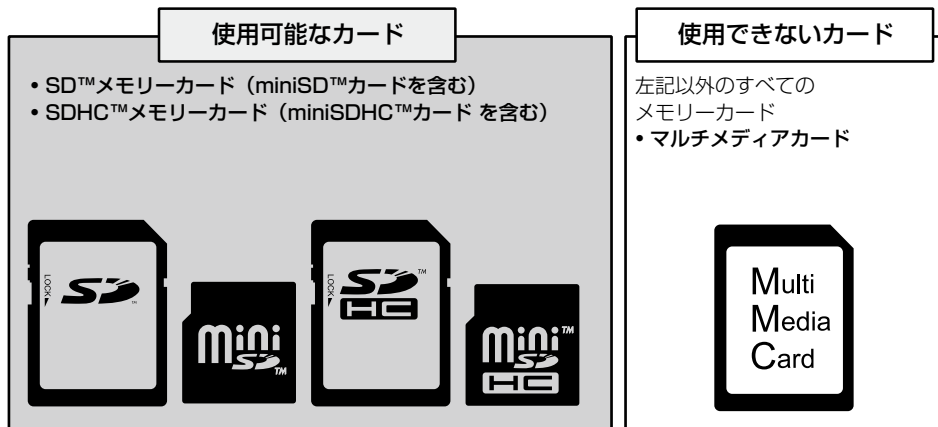
- CONTENTS フォルダと LASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。
CONTENTS フォルダ以下は、操作しないでください。
コピーする際は、CONTENTS フォルダと同時に LASTCLIP.TXT ファイルも行ってください。
- 複数の P2 カードを PC に転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2 カードごとにフォルダを作成してください。
- P2 カード内のデータ消去は行わないでください。
- P2 カードは必ず P2 機器でフォーマットしてご使用ください。

-
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Apple および Macintosh は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

SD / SDHC メモリーカードのご使用について

本機には、SD 規格 / SDHC 規格に準拠した SD カードを入れてご使用ください。

また、miniSD/miniSDHC カードを本機で使用する場合は、必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。(アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません)



本機では、以下の容量の SD カードが使用できます。

SD(8 MB ~ 2 GB まで):

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB	128 MB
256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	

SDHC(4 GB ~ 32 GB まで):

4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
------	------	-------	-------

当社製の SD/SDHC メモリーカードおよび miniSD/miniSDHC カードをご使用いただくことをおすすめします。

本機や、本機で使用可能なメモリーカードについての最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- SDHC カードは、2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SD カードロゴは、登録商標です。
- MMC (MultiMediaCard) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文 (英文) で記載しております) また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MIT の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文 (英文) で記載しております)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

■保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は「P2HD 5 Year(s) Warranty Repair Program」の対象商品です。お客様が本機を購入後 1 ヶ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 5 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の P2 Asset Support System ウェブサイトをご覧ください。

日本語：http://panasonic.biz/sav/pass_j/

英語：http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、この“メモリーカード ポータブルレコーダー”の補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカード ポータブルレコーダー
品番	AG-HPG20
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

[総合]

電源電圧	DC7.2 V/7.9 V
消費電力	12 W

は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～40℃

動作周囲湿度

10%～80% (結露なし)

保存周囲温度

-20℃～50℃

質量

1.1 kg (本体)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

104.0 mm × 83.0 mm × 227.0 mm

(セット足および端子キャップなど突起部を除く)

記録メディア

P2 カード

[ビデオ]

映像記録フォーマット

1080/59.94i, 1080/50i, 720/59.94p,
720/50p (AVC-Intra100/AVC-Intra50/
DVCPRO HD フォーマット切り替え)

480/59.94i, 576/50i (DVCPRO50/
DVCPRO/DV フォーマット切り替え)

・1394 入力時は、AVC-Intra100/AVC-
Intra50 には対応していません。

再生フォーマット

AVC-Intra100/AVC-Intra50

1080/59.94i

1080/50i

1080/29.97pN (ネイティブ記録)

1080/23.98pN (ネイティブ記録)

1080/25pN (ネイティブ記録)

720/59.94p

720/29.97pN (ネイティブ記録)

720/23.98pN (ネイティブ記録)

720/50p

720/25pN (ネイティブ記録)

DVCPRO HD

1080/59.94i (29.97p over 59.94i,
23.98p over 59.94i, 23.98pA over
59.94i)

1080/50i (25p over 50i)

720/59.94p (29.97p over 59.94p,
23.98p over 59.94p)

720/29.97pN (ネイティブ記録)

720/23.98pN (ネイティブ記録)

720/50p (25p over 50p)

720/25pN (ネイティブ記録)

DVCPRO50/DVCPRO/DV

480/59.94i (29.97p over 59.94i,
23.98p over 59.94i, 23.98pA over
59.94i)

576/50i (25p over 50i)

サンプリング周波数

AVC-Intra100/DVCPRO HD :

Y : 74.176MHz (59.94Hz)

74.25MHz (50Hz)

Pb/Pr : 37.088MHz (59.94Hz)

37.125MHz (50Hz)

DVCPRO50 :

Y : 13.5MHz

Pb/Pr : 6.75MHz

DVCPRO :

Y : 13.5MHz

Pb/Pr : 3.375MHz

量子化

AVC-Intra100/AVC-Intra50 : 10bits

DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/

DV : 8bits

ビデオ圧縮方式

AVC-Intra100/AVC-Intra50 :

MPEG-4 AVC/H.264 イントラプロファイル

DVCPRO HD :

DV ベース (SMPTE 370M)

DVCPRO50/DVCPRO :

DV ベース (SMPTE 314M)

DV :

DV (IEC 61834-2)

ビデオ入力

HD/SD-SDI 入力 : BNC x 1 selectable

HD : SMPTE 292M/296M/299M 規格
に準拠 (リターンロスは規格を満足し
ません)

SD : SMPTE 259M-C/272M-A/

ITU-R BT.656-4 規格に準拠

ビデオ出力

HD/SD-SDI 出力 : BNC x 1 selectable

HD : SMPTE 292M/296M/299M 規格
に準拠 (リターンロスは規格を満足し
ません)

SD : SMPTE 259M-C/272M-A/

ITU-R BT.656-4 規格に準拠

アナログコンポジット出力 :

BNC x 1、Video: 1.0 Vp-p、75 Ω

定格 (つづき)

[メモリーカード]

記録・再生時間

P2カード の容量	使用 枚数	フォーマット		
		DVCPRO/DV Audio 2CH/4CH	DVCPRO50 Audio 4CH AVC-Intra50 Audio 8CH	DVCPRO HD AVC-Intra 100 Audio 8CH
4GB	1枚	約16分	約8分	約4分
	2枚	約32分	約16分	約8分
8GB	1枚	約32分	約16分	約8分
	2枚	約64分	約32分	約16分
16GB	1枚	約64分	約32分	約16分
	2枚	約128分	約64分	約32分
32GB	1枚	約128分	約64分	約32分
	2枚	約256分	約128分	約64分
64GB	1枚	約256分	約128分	約64分
	2枚	約512分	約256分	約128分

[その他入出力]

IEEE 1394 デジタル入出力

IEEE 1394a 6pin × 1

USB 2.0

HOST × 1 (A タイプ、バスパワー対応)

DEVICE × 1 (B タイプ)

[P2 カードスロット]

P2 カードスロット × 2

[SD カードスロット]

SD/SDHC メモリーカードスロット × 1

(マルチメディアカード使用不可)

[液晶モニター]

3.5 型、液晶カラーモニター (21 万画素)

[オーディオ]

音声記録フォーマット

48kHz 16bits 8CH
(AVC-Intra100, AVC-Intra50, DVCPRO
HD*)

※ 1394 入力時は、48kHz 16bits 4CH

48kHz 16bits 4CH
(DVCPRO50)

48kHz 16bits 2CH または 4CH
(DVCPRO, DV)

・DV フォーマットの 32kHz、12bits、4CH
入力は、48kHz、16bits、4CH に変換して
記録

オーディオ入力

SDI 入力 BNC × 1

(HD : SMPTE 292M/296M/299M 規格
に準拠、SD : SMPTE 259M-C/272M-A/
ITU-R BT.656-4 規格に準拠)

オーディオ出力

SDI 出力 BNC × 1

(HD : SMPTE 292M/296M/299M 規格
に準拠、SD : SMPTE 259M-C/272M-A/
ITU-R BT.656-4 規格に準拠)

LINE 出力

ピンジャック × 2 (CH1、CH2)

ヘッドホン

ステレオミニジャック (3.5 mm 径) × 1

内蔵スピーカー

20 mm 丸形 × 1 (モノラル)

ヘッドルーム

12/18/20 dB (切り替え可能)

[AC アダプター]

定格入力

100 V - 240 V AC、50/60 Hz 24 W

定格出力

7.9 V DC、1.9 A (ビデオカメラ)

8.4 V DC、1.2 A (充電時)

は安全項目です。

質量

160 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70.0 mm × 44.5 mm × 116.0 mm

[付属品]

バッテリー

VW-VBD55 (5400 mAh : 付属のバッテリーと同等品)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2009

